VIDEO CASSETTE RECORDER

HR-X3

はじめに
設置
準備
再生・録画
タイマー予約
便利な使い方
編集
その他

VIDEO Plus+

取扱説明書

●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、
またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が
一致しているか、お確かめください。

もくじ

□内の数字が参照ページです。

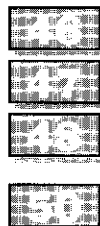
はじめに

ご使用前に…… 4
各部のなまえ…… 6

設置

アンテナ、ビデオ、テレビの接続…… 18
ＢＳアンテナの接続…… 22
ＢＳデコーダとの接続…… 26
ＭＵＳＥ－ＮＴＳＣコンバーターとの接続…… 28
受信チャンネル設定…… 30
ガイドチャンネル設定…… 38
時刻合わせ〔リモコン〕…… 42
時刻合わせ〔本体〕…… 44

準備

ビクター以外のテレビを操作する…… 46
２台のビデオを操作する…… 47
ビデオカセットについて…… 48
衛星放送を見る…… 50

再生・録画

テープを見る…… 54
テレビ番組を録画する…… 58
録画中に別の番組を見る…… 60

タイマー予約

タイマー予約（ビデオ・プラス）…… 62
タイマー予約（本体）…… 64
予約の確認…… 66
予約の取消し…… 68

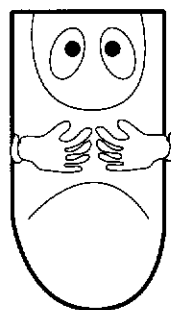
便利な使い方

番組の頭出し……70
テープ残量の確認……72
不要な場面を入れずに録画する……74
聞きたい音声を選ぶ……75
録音音声の調節……76
再生画面の調節……78
テープの特性に合わせて録画する……80

編集

編集の種類……82
テープのコピー〔ダビング〕……83
マルチダビング……86
プリロール編集……88
インサート編集……90
アフレコ編集……93
横長画面を楽しむ……94
関連システムとの接続……96

その他

保証とアフターサービス……99
使用上のご注意……100
故障かな？と思ったら……102
仕様……105
用語解説……106
索引……107

ご使用前に ［　］内の数字が参照ページです。

主な特長

3倍モードがより高画質に楽しめる
センダスト$\overset{スーパークリスタル}{\text{SC}}$ヘッド

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
ビデオ・プラス*
…… 62

チャンネル設定が簡単に素早くできる
オートチャンネルプリセット対応
…… 10

いつでもボタン1つで衛星放送が見られる
BSオレンジボタン
…… 50

番組の頭出しが手軽にできる
VISSスキャン
…… 70

テープ編集に便利な
ジョグダイヤル／シャトルリング
…… 87

最大8プログラムまでの自動編集が可能な
マルチダビング機能
…… 89

編集精度の高いコピー（ダビング）ができる
プリロール編集機能
…… 86

テープの特性に合わせて最適録画できる
オートキャリブレーション
…… 40

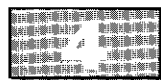
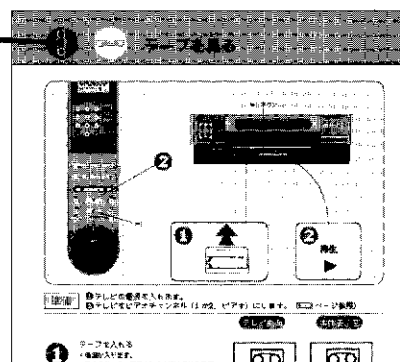
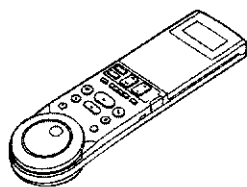
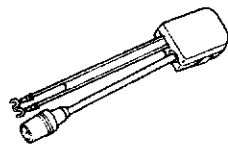
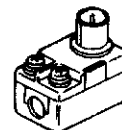
常にヘッドとドラムを最良の状態に保持する
オートヘッドクリーニング機構

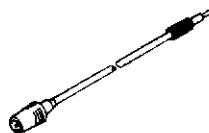
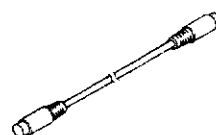
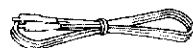
＊Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

取扱説明書の見かた

この説明書では、各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるか左上にイラストでお知らせしています。

リモコンで操作できます。

本体で操作できます。

付属品

リモコン

U/V分波器

アンテナ変換器

電源コード
（2m）

アンテナコード
（1.5m）

Sビデオコード
（1.5m）

ビデオコード
（1.5m）

オーディオコード
（1.5m）

単三乾電池
（×2）

ご自分で設置されるかたは

❶ アンテナとの接続 13 ページ

❷ テレビとの接続 16 ページ

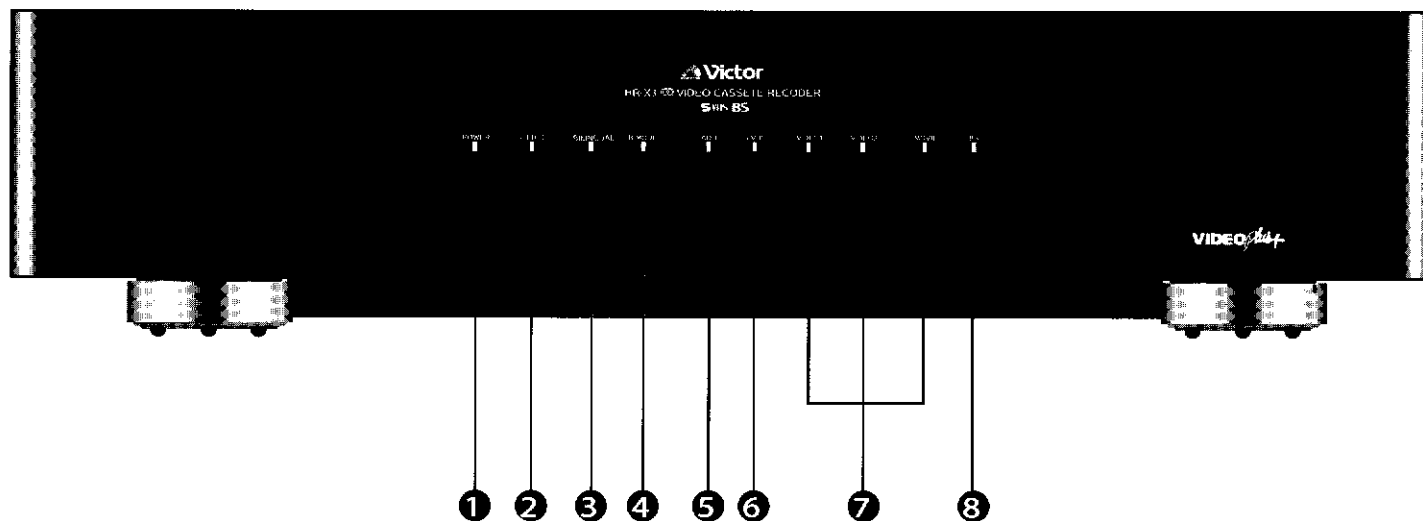
❸ ビデオチャンネルの設定 20 ページ

❹ 受信チャンネル設定 30 ページ

❺ 時刻合わせ 44 ページ

など必要な準備/設定をしてください。

各部のなまえ ［　］内の数字が参照ページです。

本体前面

①POWER(電源)ランプ

②STEREO(ステレオ)ランプ
ステレオ放送を受信すると点灯します。

③BILINGUAL(二重音声)ランプ
二重音声放送を受信すると点灯します。

④B-MODE(Bモード)ランプ
衛星放送の音声がBモードのときに点灯します。

⑤ADD(独立音声)ランプ
独立音声の放送があるときに点灯します。

⑥S-VHSランプ 49

⑦外部入力表示ランプ 83 ～ 93
VIDEO1:ビデオ1(背面入力端子)
VIDEO2:ビデオ2(背面入力端子)
MOVIE :ムービー(前面入力端子)

⑧BSランプ
衛星放送を受信すると点灯します。

本体前面

フタを開けた状態

❾ 電源ボタン

❿ 映像ポジションボタン 78
音声出力切換ボタン 75
H i-F i 音声切換ボタン 75

⓫ 各種ランプ類(左ページ参照)

⓬ ゼロリターンボタン 56
カウンター/残量/時計表示切換ボタン 17 72
カウンターリセットボタン 56
入力切換ボタン 83～93
BSオレンジボタン 50

⓭ オートキャリブレーションボタン 80

⓮ ジョグダイヤル/シャトルリング 57

⓯ 画質調整つまみ 79

⓰ バランスつまみ 77
H i-F i録音レベルつまみ 77

⓱ テレビ/ビデオ切換ボタン 60
カセット取出しボタン 48

⓲ VISS書込み/消去ボタン 71
VISSスキャンボタン 70

⓳ 基本操作ボタン

⓴ インサートボタン 90 92
アフレコボタン 93
録画/ワンタッチタイマーボタン 59

㉑ プリロール編集操作ボタン 88

㉒ マルチダビング操作ボタン 86

本体前面

フタを開けた状態

❶ リモートポーズ端子 85

❷ ヘッドホン端子
ヘッドホン音量調節つまみ

❸ BS音声スイッチ 52

❹ カセット出し入れ口

❺ タイマー予約設定ボタン 64

❻ ビデオムービー入力端子 85
S1映像入力端子と映像入力端子に同時に接続した場合、S1映像入力端子が優先します。

❼ Hi-Fi自動録音スイッチ 77
3倍専用ヘッドスイッチ 78

❽ リモコンコード切換スイッチ 41
フルモードスイッチ 94

❾ 本体表示窓 10

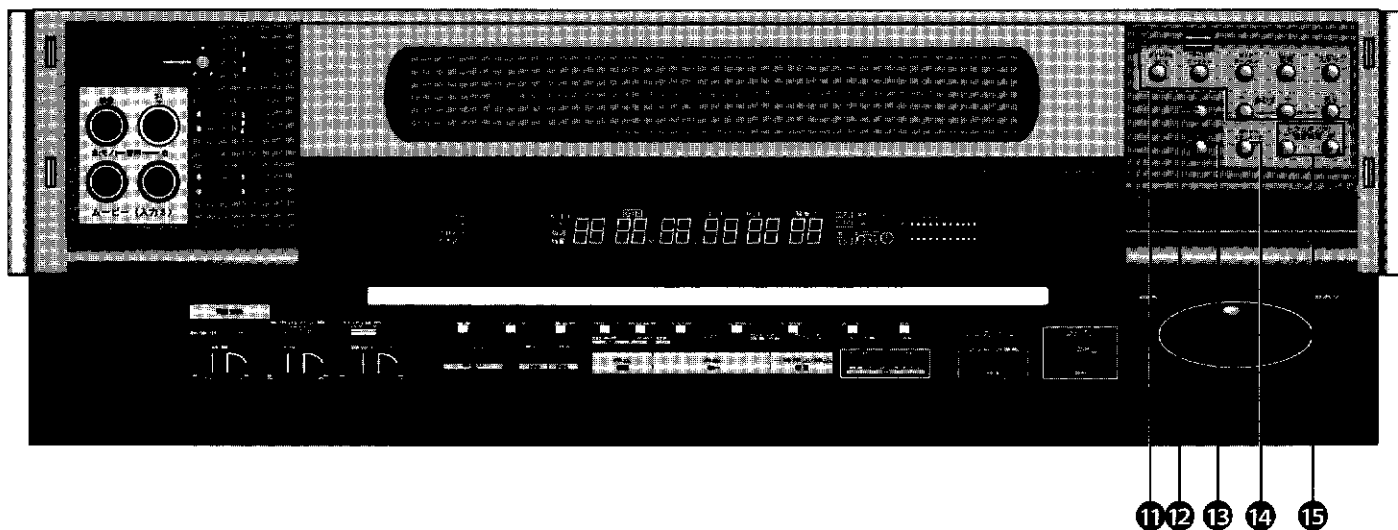
❿ タイマー予約の確認・取消しボタン 66 68

フタの開け方

手前に引きます。

本体前面

右側の内フタを開けた状態

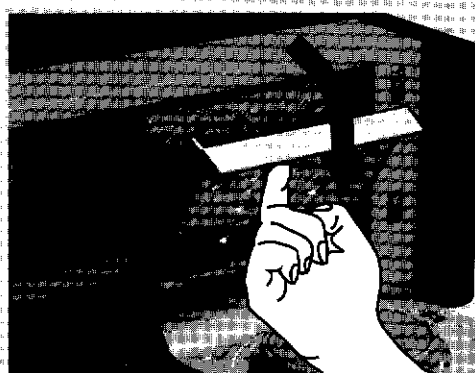
右側のフタは二重構造になっています。時刻合わせ、チャンネル合わせなどをするときは、内フタを開けてください。

⑪ チャンネル設定 30
ガイドチャンネル設定 38

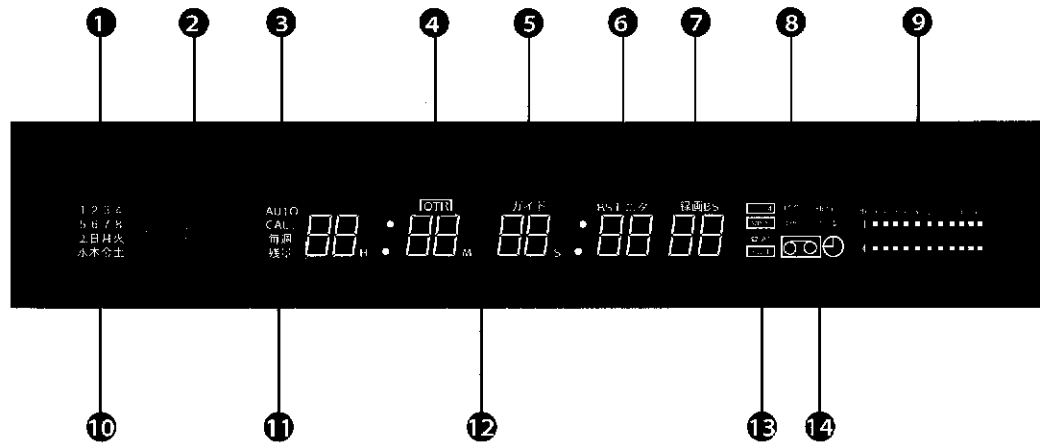
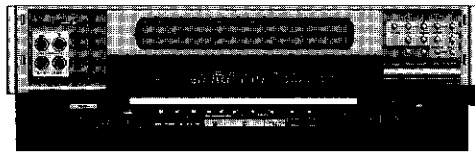
⑫ 時刻合わせボタン 44

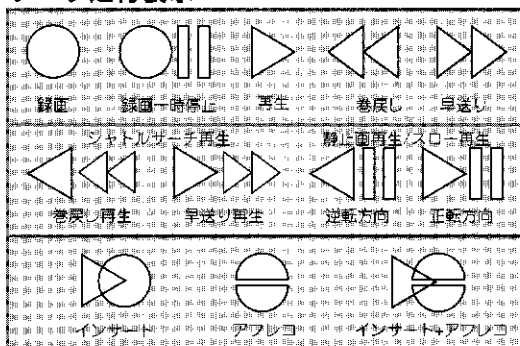
⑬ カウンター/残量/時計表示切換ボタン 17 72

⑭ オートトラッキングボタン 79

⑮ トラッキング調節ボタン 79
垂直同期調節ボタン 79

内フタの開け方

手前に引きます。

本体表示窓

❶ **タイマー予約番号表示** 64

❷ **テープ走行表示**

❸ **オートキャリブレーション表示** 80
(AUTO CAL.:Auto Calibration(オートキャリブレーション)の略)

❹ **ワンタッチタイマー録画表示** 59
(OTR:One-toch Timer Recording(ワンタッチタイマーレコーディング)の略)

❺ **ガイドチャンネル表示** 40

❻ **BSモニター表示** 56

❼ **録画・受信チャンネル表示**
ガイドチャンネル設定のチャンネル表示 40

❽ **録画・再生スピード表示**

❾ **音声出力表示** 75
音声レベルメーター表示 77

❿ **タイマー予約の曜日表示** 63

⓫ **タイマー予約の毎週表示** 63
テープ残量表示 72

⓬ **時計表示**
タイマー予約の開始・終了時刻表示 63 65
カウンター表示

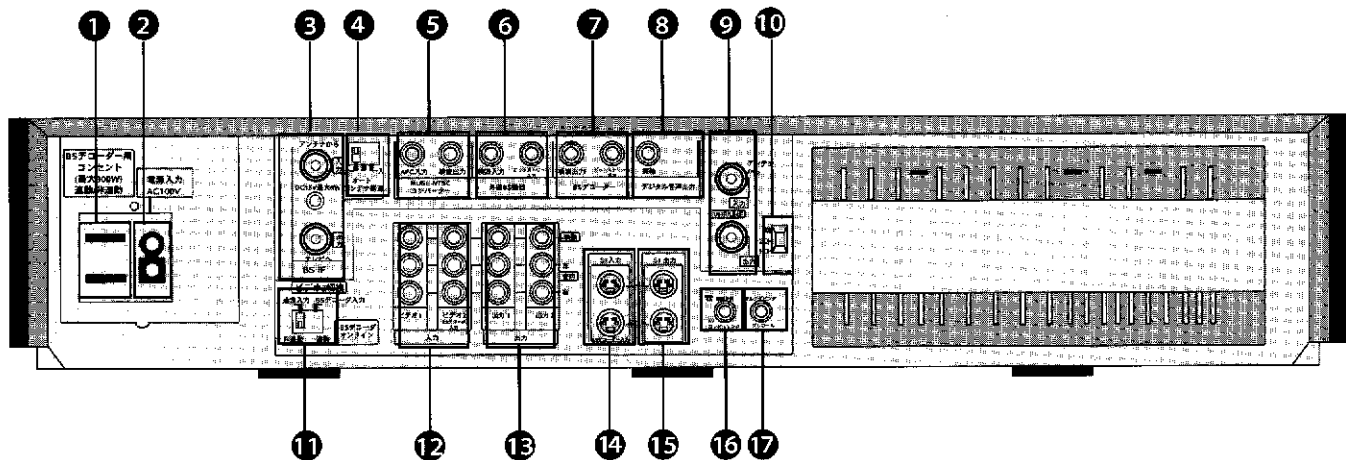
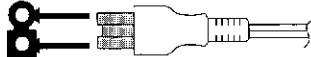
早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。

⓭ **ビデオ表示** 50
インデックス(VISS)表示 70
電話予約(☎)表示
オートトラッキング(AT)表示 78
フルモード(FULL)表示 95

⓮ **カセット(テープ)表示**
タイマー(時計)表示 63 65

本体表示窓の明るさを自動的に変える
〔ミッドナイトディマー〕

夜10:00～翌朝4:59の時間でビデオの電源「切」のときに、本体表示窓を自動的に暗くします。
タイマー録画中も暗くなります。
ただし、次のようなときは明るくなります。
・衛星放送を見ているとき(BSモニター中)
・リモコンから本体へ予約を転送したとき
・予約の確認をしたとき
・テープ残量の確認をしたとき　など

本体背面

❶ **BSデコーダ用電源コンセント** 25 28

❷ **電源ソケット**

・付属の電源コードを電源ソケットの形状に合わせて接続してください。
・灰色部分が挿入部です。まっすぐに、止まるところまで確実に差し込んでください。

❸ **BSアンテナ接続端子** 22
・**BS**アンテナ入力端子
・**BS-IF**出力端子

❹ **BSアンテナ電源切換スイッチ** 22

❺ **MUSE-NTSCコンバーターとの接続** 28
・**AFC**入力端子
・検波出力端子

❻ **他のBS機器との接続** 26 29
・検波入力端子
・ビットストリーム入力端子

❼ **BSデコーダとの接続** 26
・検波出力端子
・ビットストリーム出力端子

❽ **デジタル音声出力端子**
別売の映像用ケーブル（黄色）で、デジタルオーディオ機器と接続します。
・おすすめケーブル
VX-110HG　**VX-710PRO**
VX-120HG　**VX-720PRO**

❾ **アンテナ接続端子** 18

❿ **ビデオチャンネルスイッチ** 20

⓫ **ビデオ2切換スイッチ** 51 52
BSデコーダオンラインスイッチ 51 52

⓬ **映像・音声入力端子(2系統)** 26 28
・ビデオ2入力端子は、**BS**デコーダ接続端子と兼用です。

⓭ **映像・音声出力端子(2系統)**

⓮ **S1映像入力端子(2系統)** 29
・**S**1映像入力2端子は、**BS**デコーダ接続端子と兼用です。
・**S**1映像入力端子と映像入力端子に同時に接続した場合、**S**1映像入力端子が優先します。

⓯ **S1映像出力端子(2系統)**

⓰ **電話予約端子** 97
AVコンピュリンク端子 98

⓱ **マルチダビング端子** 86
プリロール端子 88

・S映像信号とは
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。2つの信号が互いに影響を受けないため、鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

・S1映像信号とは
S映像信号に、MUSE-NTSCコンバーターなどのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

リモコン

フタを開けた状態

リモコン表示窓
(右ページ参照)

ビデオ・プラス 62
・数字ボタンでビデオのチャンネル切り換えができます。本体のBSランプが点灯しているときは、BSチャンネルの切り換えができます。

時刻合わせボタン 43
Hi-Fi音声切換ボタン 75
入力切換ボタン 83～93

モード選択・設定ボタン 14

テレビ操作ボタン 46
・電源の入/切
・入力切換
・チャンネル切換
・音量調節
(テレビ/ビデオ切換スイッチを「テレビ」側にします。)

ビデオ操作ボタン
・電源の入/切
・テレビ/ビデオ切換
・チャンネル切換
(テレビ/ビデオ切換スイッチを「ビデオ」側にします。)

テレビ/ビデオ操作の切換スイッチ 46

リモコンコード切換スイッチ 47

基本操作ボタン
録画のしかたが本体と異なります。録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押します。

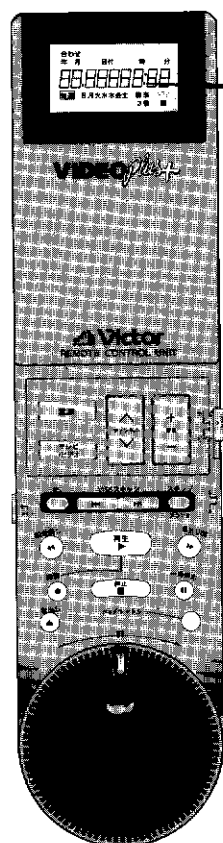
ジョグ/シャトルボタン 57

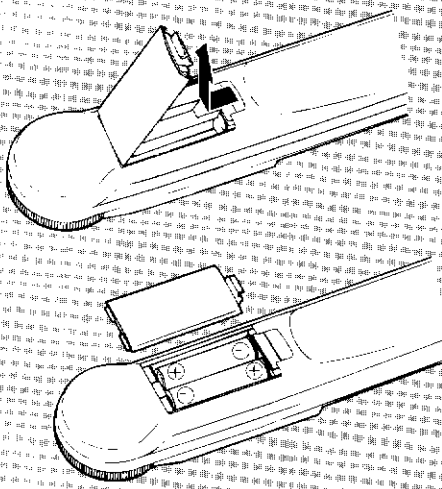
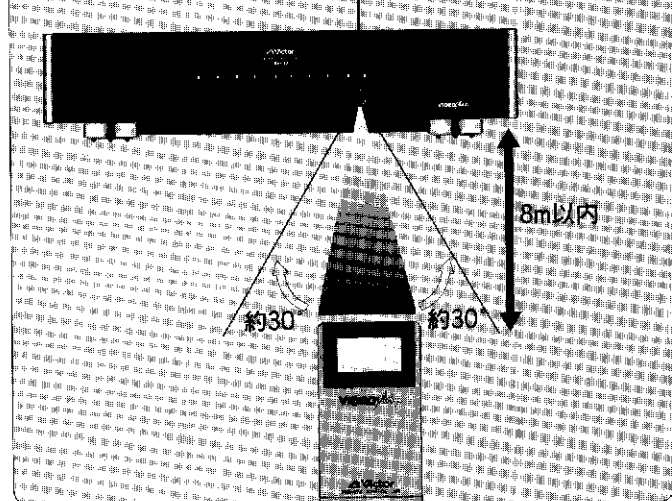
カセット取出しボタン

ジョグダイヤル/シャトルリング 57

ライトボタン
押すと、基本操作ボタンと取出しボタンが約4秒間点灯します。
ライトボタンを押したまま他のボタンは操作できません。

BSオレンジボタン 50
VISSスキャンボタン 70
スキップボタン 55
ブランクボタン 59

リモコン表示窓

乾電池の入れかた

・乾電池(単3)を2本入れます。

リモコンの向けかた

・乾電池は2本とも新しいものと交換してください。使用した乾電池と混ぜて使用しないでください。
・単3乾電池(UM-3型)をご使用ください。
・乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
・長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
・乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
・リモコン操作ができる距離が短くなったり、リモコン表示窓がうすくなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

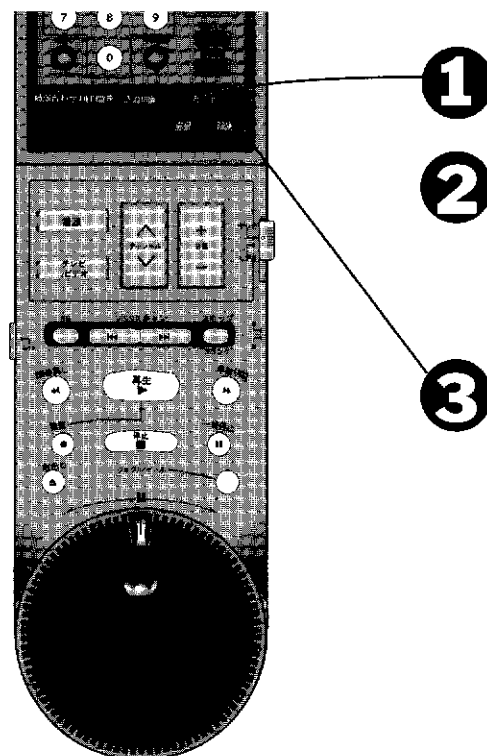
テレビ画面表示

モード選択画面

モード選択ボタンで選ぶ	モード設定ボタンで選ぶ	各項目の内容	ページ
❶オンスクリーン	オート	テレビ画面に文字を表示します。	—
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように**切**にします。	
❷ブルーバック	入	放送のないチャンネルを青い画面にします。	—
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは**切**にします。	
❸オーディオ	HIFI	ハイファイ音声が聞こえます。	75
	ノーマル	ノーマル音声が聞こえます。	
	ミックス	ハイファイ音声とノーマル音声が同時に聞こえます。	
❹S-VHS記録	オート	S-VHSカセットのときはS-VHS記録、VHSカセットのときはVHS記録します。	49
	切	S-VHSカセットにVHS記録するときは**切**にします。	
❺二ヶ国語音声録音	主	二ヶ国語放送で主音声（日本語など）だけを録音します。	76
	主＊副	二ヶ国語放送で主音声と副音声の両方を録音します。 外国語を録音するときは**主＊副**にします。 再生・録画時に、Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	
❻テープ選択	オート	使用テープに応じてテープの残り時間を表示します。	72
	～T120/T140～	テープの残り時間を早く知りたいときは、使用するテープの長さに合わせてください。 ～T120……120分以下のテープを使用するとき T140～……140分以上のテープを使用するとき	

・30分以上の停電があり、本体表示窓が0：00で点滅しているときは、ご購入時の設定に戻りますので、再度設定し直してください。

モード選択画面を表示して設定する

テレビ画面にでる表示項目を見ながら、操作に必要な設定を行います。

（例）**S-VHS**記録を切にする

準備　テレビの準備
❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20ページ参照）

テレビ画面

モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

❷ モード選択ボタンで、変更する項目を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、
下の項目へ進みます。

＊ モード選択 ＊
オンスクリーン　オート　切
ブルーバック　入　切
オーディオ　HIFI　ノーマル　ミックス
☞S-VHS記録　オート　切
二ヶ国語音声録音　主　主＊副
テープ選択　オート　～T120　T140～

❸ モード設定ボタンで選ぶ

＊ モード選択 ＊
オンスクリーン　オート　切
ブルーバック　入　切
オーディオ　HIFI　ノーマル　ミックス
☞S-VHS記録　オート　切
二ヶ国語音声録音　主　主＊副
テープ選択　オート　～T120　T140～

■ テレビ画面に戻すには、モード選択画面が消えるまでモード選択ボタンを押します。

各部のなまえ(つづき)

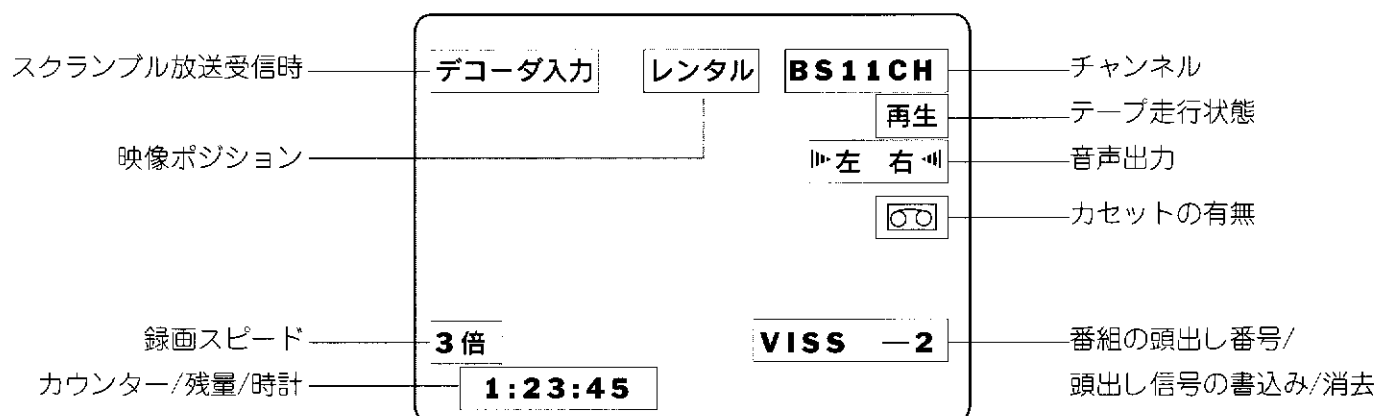
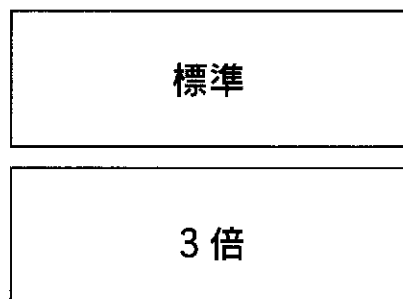
テレビ画面表示

●操作内容の画面表示

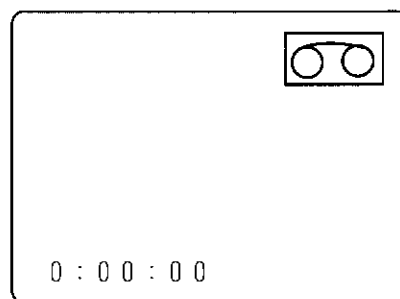
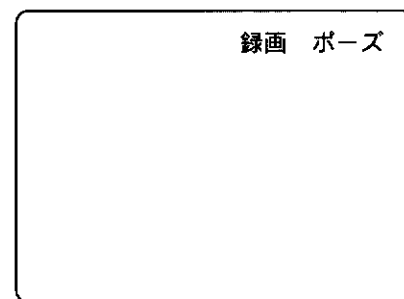
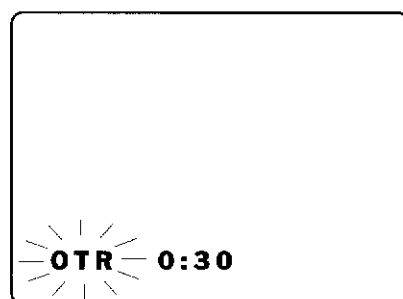
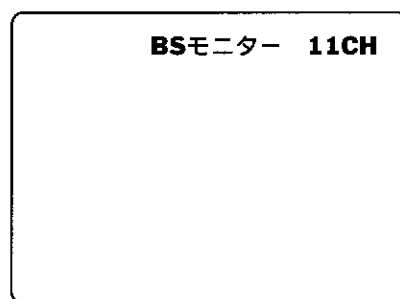
各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に5秒間表示します。

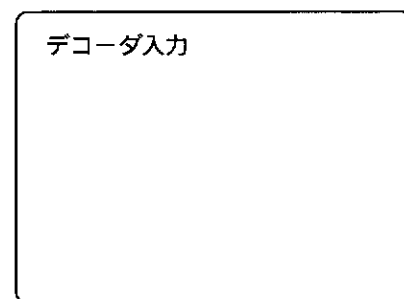
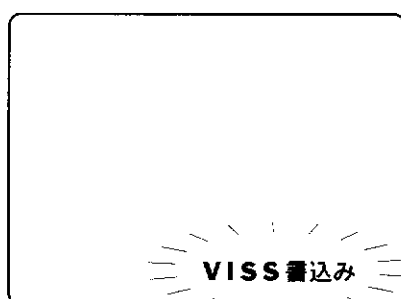
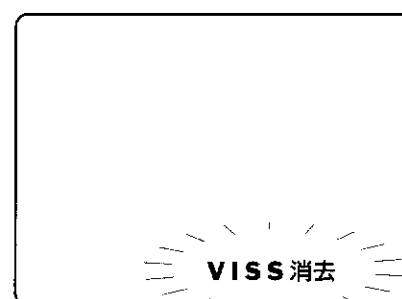
●標準/3倍ボタンを押すと

標準

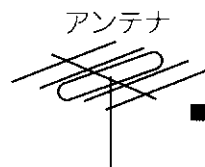
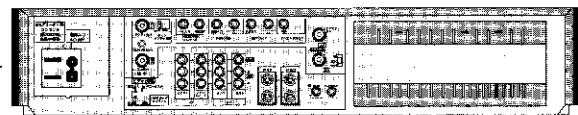
3倍

●カセットを入れると、カウンターが0：00：00になります。

●録画を一時停止にすると

録画　ポーズ

●ワンタッチタイマー録画中は

●ウラ番組としてBS番組を見るときに、BSオレンジボタンを押すと

●スクランブル放送またはハイビジョン放送を受信すると

デコーダ入力

●VISSスキャンボタンを押すと
VISS　−2
●頭出し信号を書込むと
VISS書込み
●頭出し信号を消去すると
VISS消去
●カウンター/残量/時計ボタンを押すごとに
カウンター
1:23:45
残量
3倍
残量　1:35
時計
木曜　15:35
●Hi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶと
主音声
左
副音声
右
主＋副音声
左　右
●音声出力切換ボタンで聞きたい音声を選ぶと
Hi-Fi音声
左　右
ノーマル音声
ノーマル
Hi-Fi音声＋ノーマル音声
ミックス
●インサート編集
インサート
インサート　ポーズ
●アフレコ編集
アフレコ
アフレコ　ポーズ
●映像ポジションボタンを押すごとに
レンタル
ダビング
スタンダード

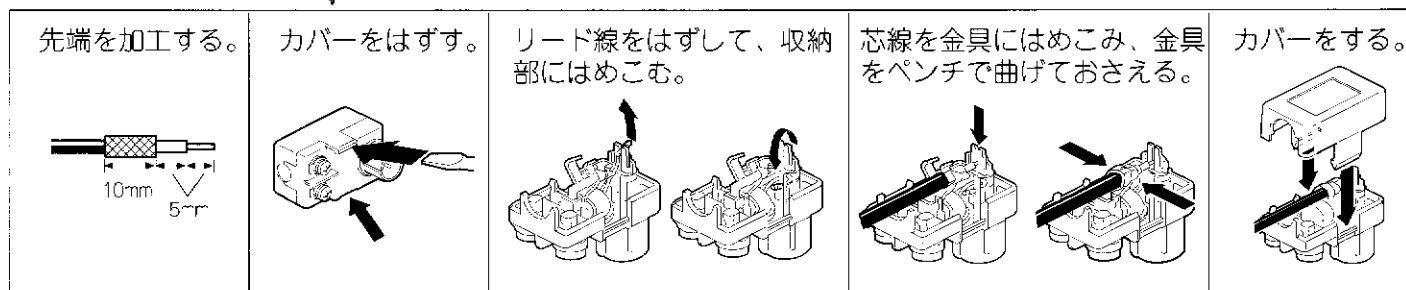
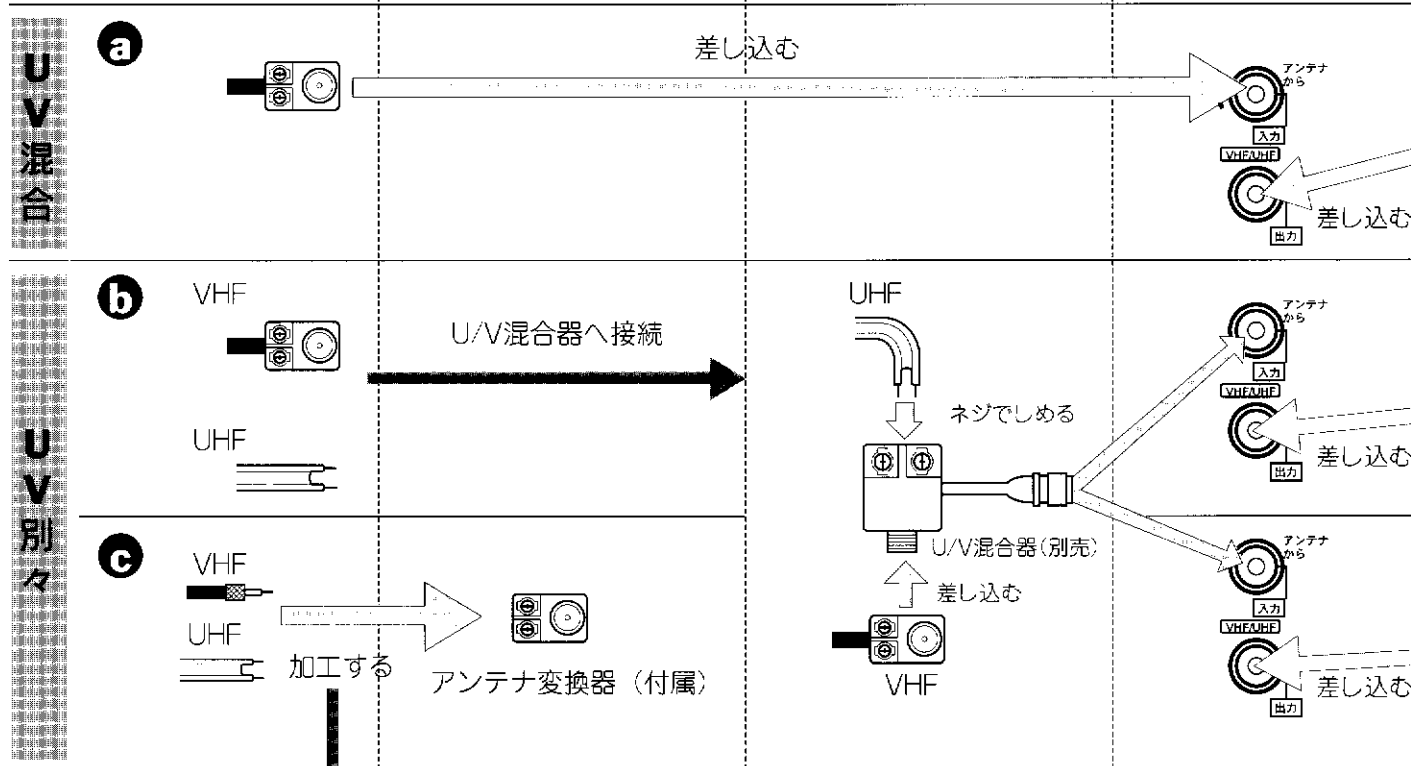
アンテナ、ビデオ、テレビの接続

アンテナ←→ビデオの接続

❶ テレビからアンテナ線をはずす
アンテナ線の形を確認します。

❷ ⓒ の場合アンテナ変換器と接続する。

❸ ⓑ ⓒ の場合U/V混合器と接続する。

❹ ビデオ背面のアンテナ入力端子に接続する

先端を加工する。	カバーをはずす。	リード線をはずして、収納部にはめこむ。	芯線を金具にはめこみ、金具をペンチで曲げておさえる。	カバーをする。
10mm 5mm				

・アンテナがUV別々の場合は、別売のU/V混合器(VZ-84)が必要です。
くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

AVテレビをお持ちのかたへ
AV接続も合わせて行います。
21 ページをご覧ください。

ビデオ⟷テレビの接続

アンテナ、ビデオ、テレビの接続（つづき）

映像/音声入力端子のないテレビと接続する　RF接続

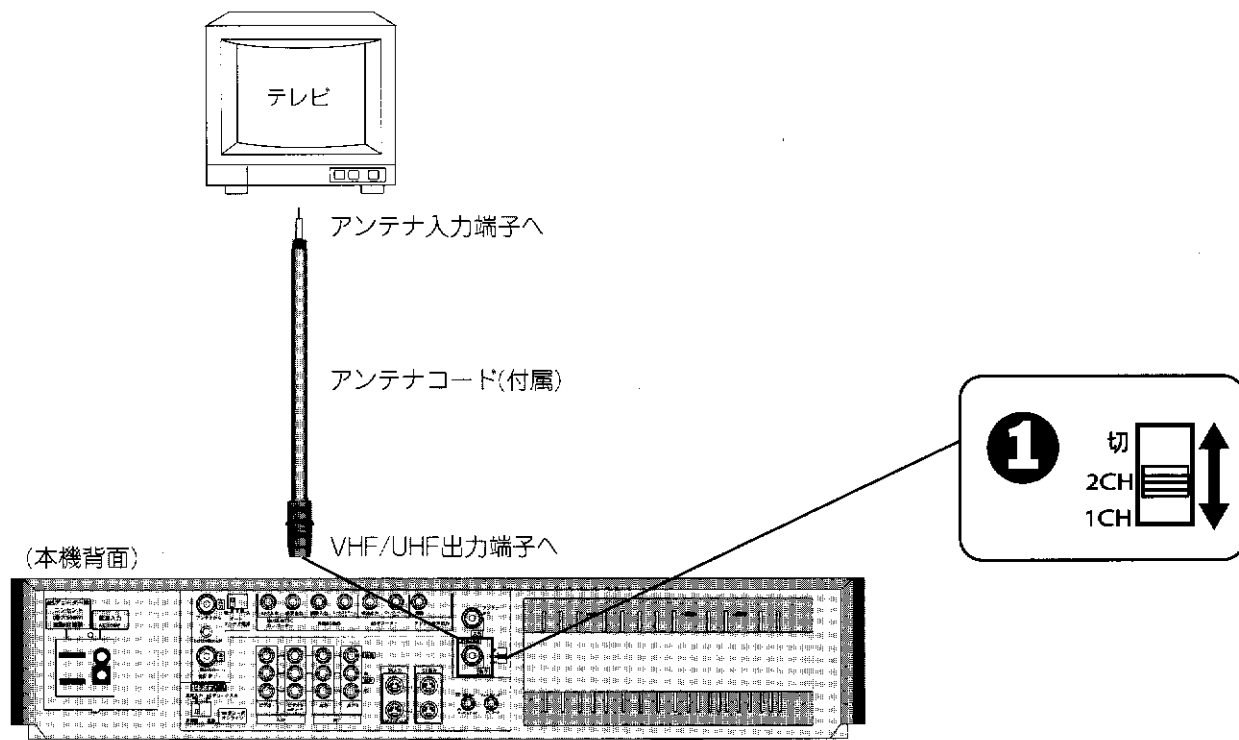
テレビ

アンテナ入力端子へ

アンテナコード(付属)

VHF/UHF出力端子へ

（本機背面）

❶ 切 2CH 1CH

RF接続後の確認

❶ ビデオチャンネルスイッチを放送のない空きチャンネル（1CHか2CH）に合わせる

（例）【大阪地区】　【東京地区】

切 2CH 1CH

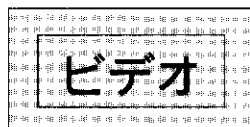
❷ ビデオの電源を入れる

・リモコンで操作するときは、テレビ／ビデオ切換スイッチを**ビデオ**にします。

❸ テレビ/ビデオボタンで本体表示窓に ビデオ 表示を点灯させる

本体表示窓

❹ テレビの電源を入れ、チャンネルを1か2にする

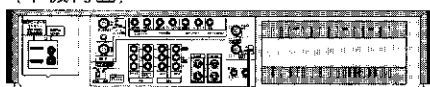
本機のビデオチャンネルスイッチ	テレビのチャンネル
1CH	1チャンネルにする
2CH	2チャンネルにする

❺ ビデオのチャンネルを変えて映ることを確認する

・ビデオソフトまたは録画済みカセットがある場合は、再生して映ることを確認します。

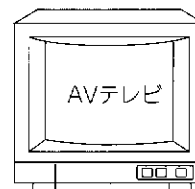
・ビデオチャンネルとは
ビデオから出力される信号（映像と音声）をテレビに映して見るとき、テレビのチャンネルを何も放送されていないチャンネルに合わせて見ます。

映像/音声入力端子のあるテレビと接続する　AV接続

AVテレビにS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

(本機背面)

S1出力端子へ　Sビデオコード(付属)　S映像入力端子へ

音声出力端子へ　オーディオコード(付属)　音声入力端子へ

アンテナコード(付属)

AVテレビ

❶ 切 2CH 1CH

AV接続後の確認

❶ ビデオチャンネルスイッチを**切**にする

❷ ビデオの電源を入れる

・リモコンで操作するときは、テレビ／ビデオ切換スイッチを**ビデオ**にします。

❸ テレビの電源を入れ、チャンネルを「ビデオ」にする

ビデオのチャンネルを変えて映ることを確認する

・ビデオソフトまたは録画済みカセットがある場合は、再生して映ることを確認します。

・AVテレビとは
アンテナ入力端子の他にオーディオ（音声）、ビデオ（映像）入力端子のあるテレビをいいます。
・AV接続とは
付属のビデオ、オーディオコードを使って、テレビとビデオを接続する方法です。
・AV接続の場合、テレビ/ビデオボタンの操作が必要ありません。

BSアンテナの接続

BSアンテナの接続とアンテナ電源スイッチの設定

BSアンテナを接続するときは、アンテナ電源スイッチを切にしてから始めてください。

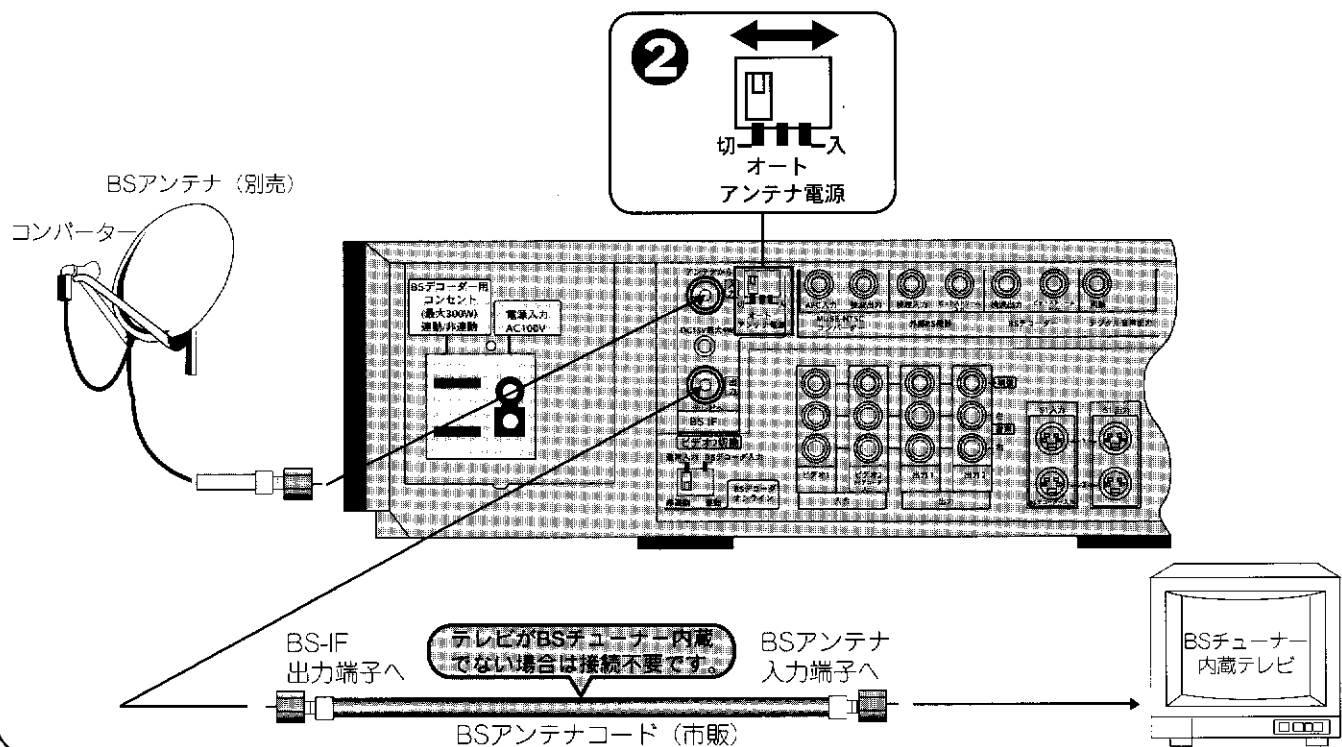
❷
切 入
オート
アンテナ電源

BSアンテナ（別売）
コンバーター

BS-IF
出力端子へ

テレビがBSチューナー内蔵
でない場合は接続不要です。

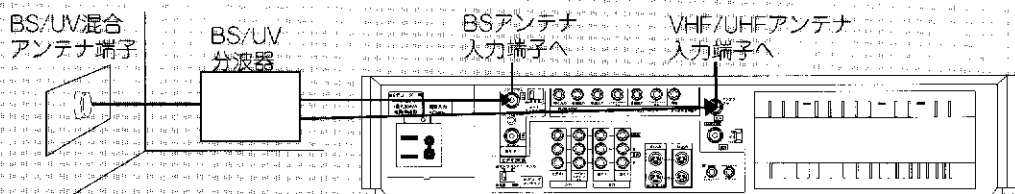
BSアンテナ
入力端子へ

BSチューナー
内蔵テレビ

BSアンテナコード（市販）

❶ ＢＳチューナー内蔵テレビをお持ちのかたは、ＢＳアンテナコードでビデオの**ＢＳ－ＩＦ出力端子**とテレビの**ＢＳアンテナ入力端子**を接続する

❷ **アンテナ電源スイッチ**を設定する

切	本機からＢＳアンテナへ電源を供給しません。
オート	本機の電源が「入」のとき、または本機の電源が「切」でも他のＢＳ機器の電源を入れると、自動的にＢＳアンテナに電源を供給します。
入	本機の電源プラグをコンセントに差し込んでいれば、常にBSアンテナに電源を供給します。

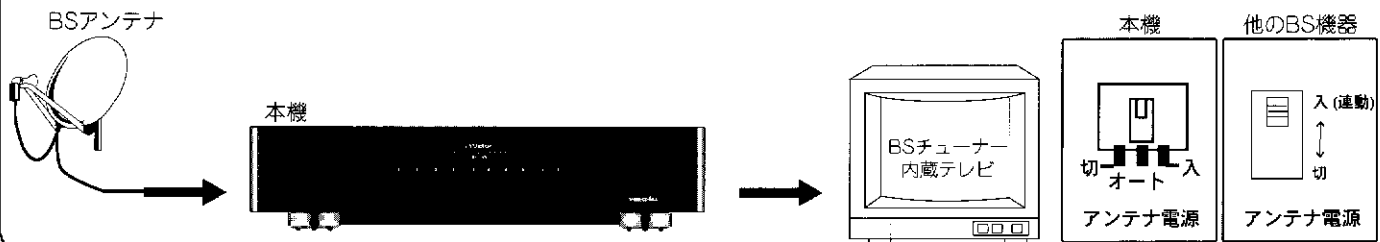
・詳しくは、右ページをご覧ください。

アンテナ電源スイッチの設定

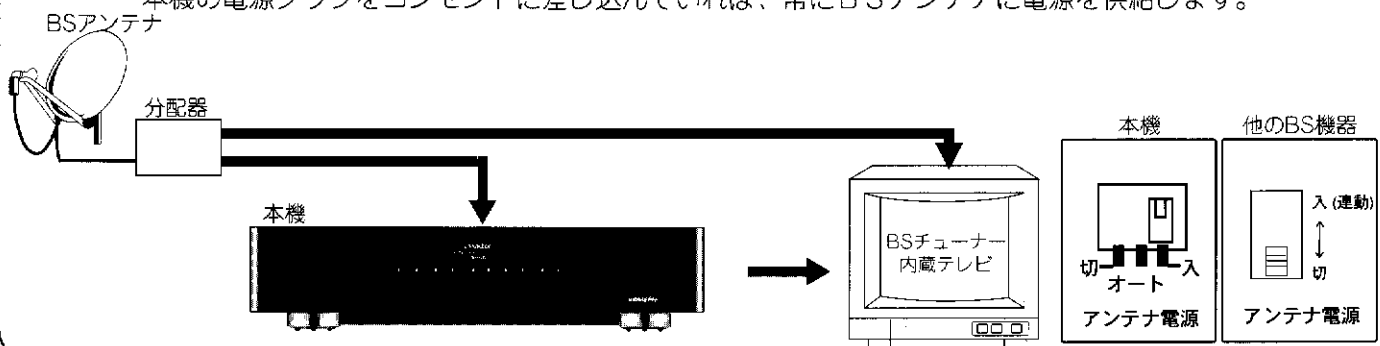
他のBS機器との接続により、アンテナ電源スイッチの位置が変わります。

■本機以外にＢＳ機器がない場合

本機の電源が「入」のとき、ＢＳアンテナに電源を供給します。

■他のＢＳ機器のＢＳアンテナ電源に「入(連動)または電源連動」がある場合

本機の電源が「入」のとき、または本機の電源が「切」でも他のＢＳ機器の電源を入れると、自動的にＢＳアンテナに電源を供給します。

■・本機以外にもＢＳ機器があり、分配器を使用している場合
・他のＢＳ機器のＢＳアンテナ電源に「入(連動)または電源連動」がない場合

本機の電源プラグをコンセントに差し込んでいれば、常にＢＳアンテナに電源を供給します。

■共同受信している場合（マンションなど）は、ＢＳアンテナ電源をすべて「切」にしてください。

・ＢＳアンテナ電源の「入(連動)または電源連動」の名称は、他のＢＳ機器により異なりますので、他のＢＳ機器の取扱説明書をご覧ください。

BSアンテナの接続（つづき）

BSアンテナの方向調節

内フタを開けます。

❺❻

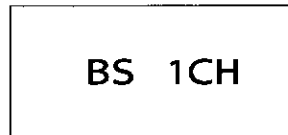
❶ BS

❷❼ チャンネル合わせ

❸ － 合わせ ＋

❹ 送り

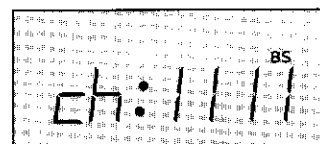
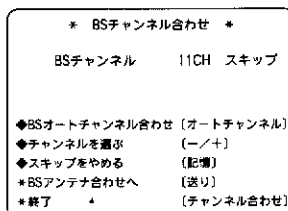
準備
❶テレビとビデオの電源を入れます。
❷テレビをビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20ページ参照）
❸本機の**BS**アンテナ電源スイッチを確認します。（前ページ参照）

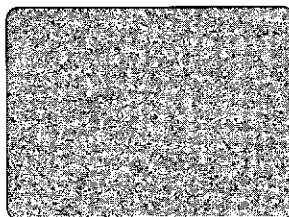
❶ BSオレンジボタンを押す

❷ チャンネル合わせボタンを押す
・ＢＳチャンネル合わせ画面を表示します。

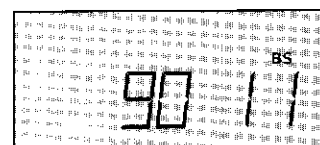
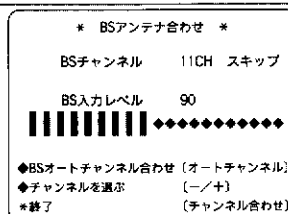
・雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。
これは気象条件によるもので、ＢＳアンテナやビデオの故障ではありません。

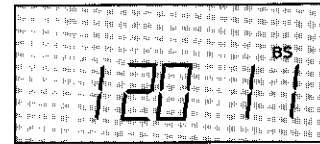
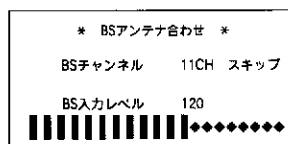
・また、春分と秋分の前後は、食（放送衛星が地球や月の影に入り、電波が途切れる）ため、放送が一時的に休止する場合があります。

合わせボタンで放送があるチャンネルを選ぶ

・ＢＳ番組を受信していないと、ブルーバック画面になります。

送りボタンを押す

・ＢＳ番組を受信していないと、ノイズ画面になります。

BSアンテナを動かして、BS番組が映るようにする

・ＢＳアンテナ合わせ画面を表示します。

BS入力レベルの数値が最大になるように、BSアンテナを動かして微調整する

・数値が小さくても、画面がきれいに映っていれば大丈夫です。

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す〔設置完了〕

■設置完了後、[illegible]ページのBSオートチャンネル設定を行ってください。

・ＢＳ入力レベルは雨、雪、温度、アンテナコードの長さなどの影響を受け、時間によって数値が増えたり、減ったりすることがあります。この数値はアンテナ設置のために目安にするものであり、画質や音質のレベルとは関係ありません。
・ＢＳアンテナの設置についてはＢＳアンテナの取扱説明書をご覧ください。

BSデコーダとの接続

BSチューナー内蔵テレビと接続する

WOWOW(ワウワウ)、**St.GIGA**(セント ギガ)を視聴するには**BS**デコーダが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。

WOWOWの見かたは、[illegible] ページをご覧ください。

St、GIGAの聞きかたは、42 ページをご覧ください。

・BSデコーダの電源は、本機の電源ボタン、BSオレンジボタン、タイマー録画に連動します。
・電源出力端子に他の機器は接続しないでください。
・消費電力は、最大300Wまでです。

AVテレビと接続する

AVテレビ

➡ 信号の流れ

音声入力1
端子へ

S映像入力1
端子へ

テレビにS端子がない場合は、付属のビデオコードをご使用ください。

音声出力
端子へ

S1出力
端子へ

本機背面

映像入力
ビデオ2端子へ

音声入力
ビデオ2端子へ

検波出力
端子へ

ビットストリーム
出力端子へ

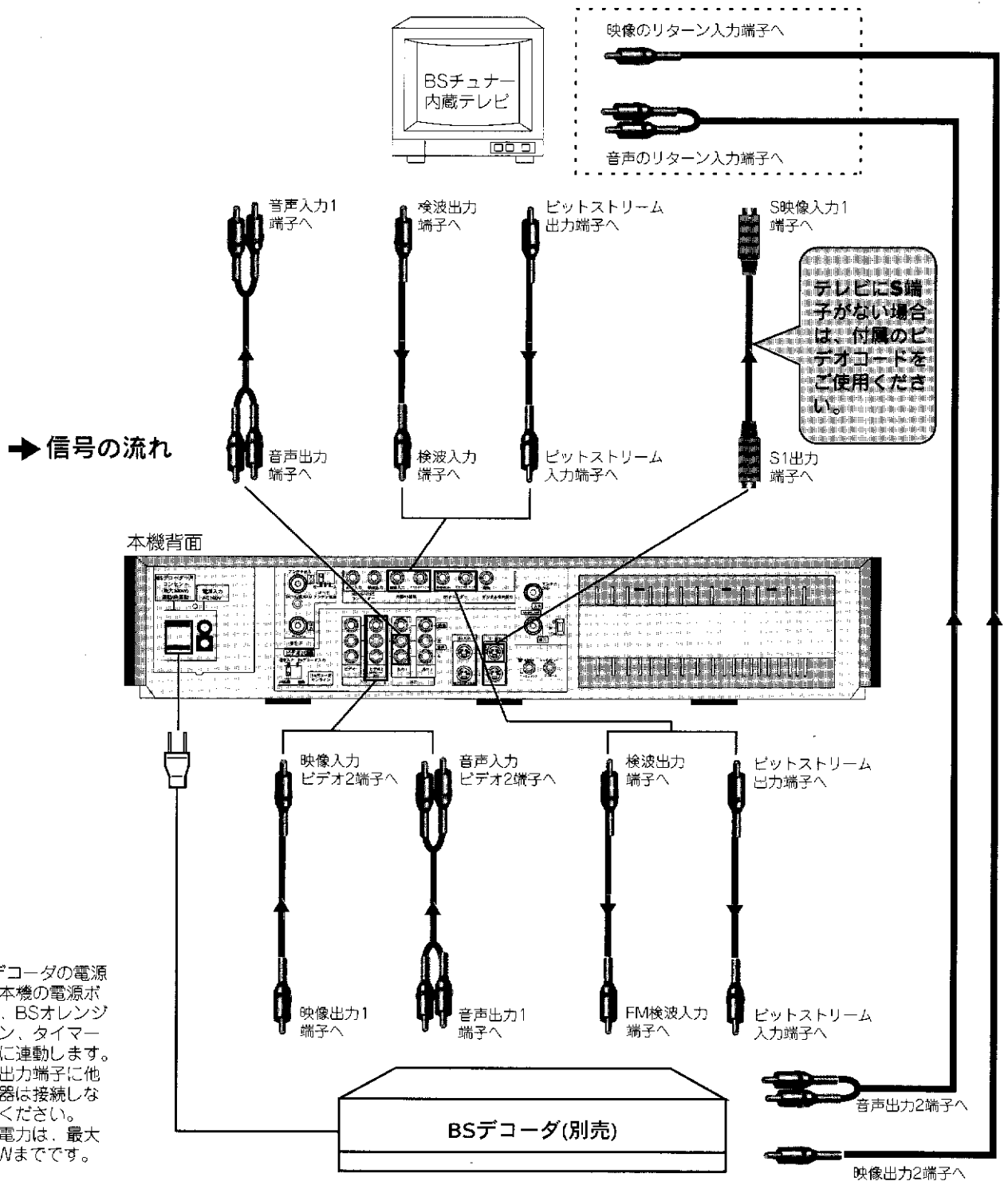
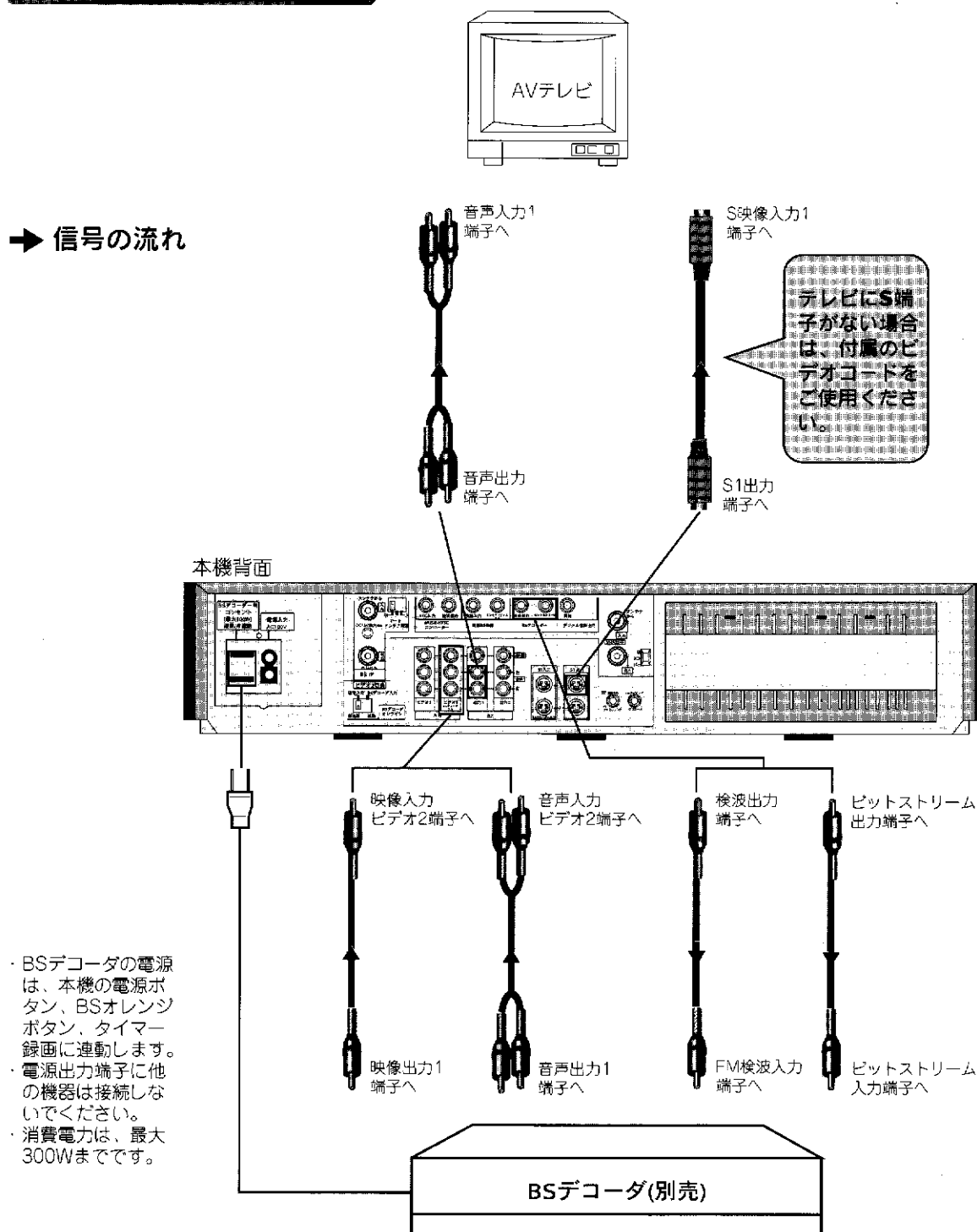
映像出力1
端子へ

音声出力1
端子へ

FM検波入力
端子へ

ビットストリーム
入力端子へ

BSデコーダ(別売)

・BSデコーダの電源は、本機の電源ボタン、BSオレンジボタン、タイマー録画に連動します。
・電源出力端子に他の機器は接続しないでください。
・消費電力は、最大300Wまでです。

■**BSチューナー内蔵テレビでNHKのBS番組を見ているときに、BSデコーダの電源が入っているかたへ**

左ページの点線部分の接続を次のように変更してください。
映像・音声のリターン入力端子からコードを抜き、映像・音声入力端子に接続してください。

・ビデオで**WOWOW／St.GIGA**を録画しながらテレビで**NHK**の**BS**番組を見るときは
❶テレビ側で見たい**BS**番組を選びます。

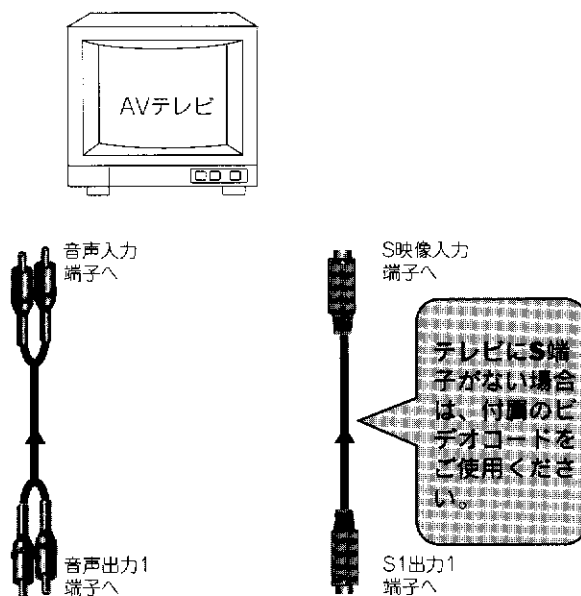
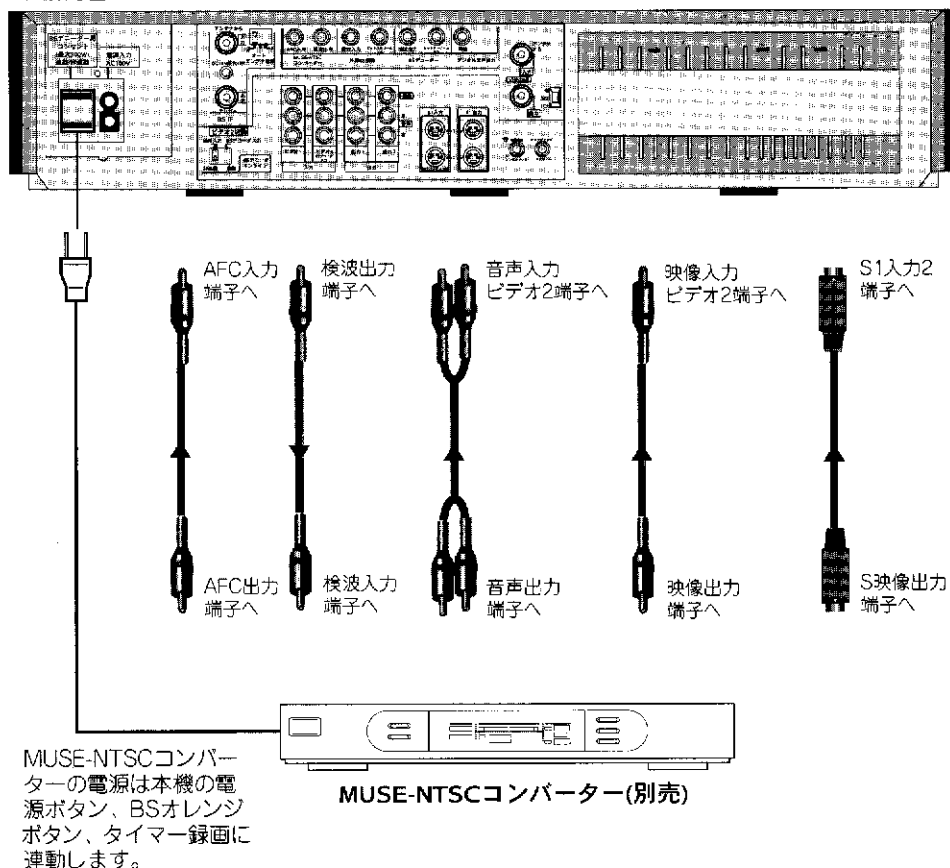
・ビデオ電源「切」の状態でテレビの**WOWOW／St.GIGA**を見るときは
❶テレビ側で見たい**BS**番組を選びます。
❷テレビの入力切換をビデオにします。

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

MUSE-NTSCコンバーターと接続する

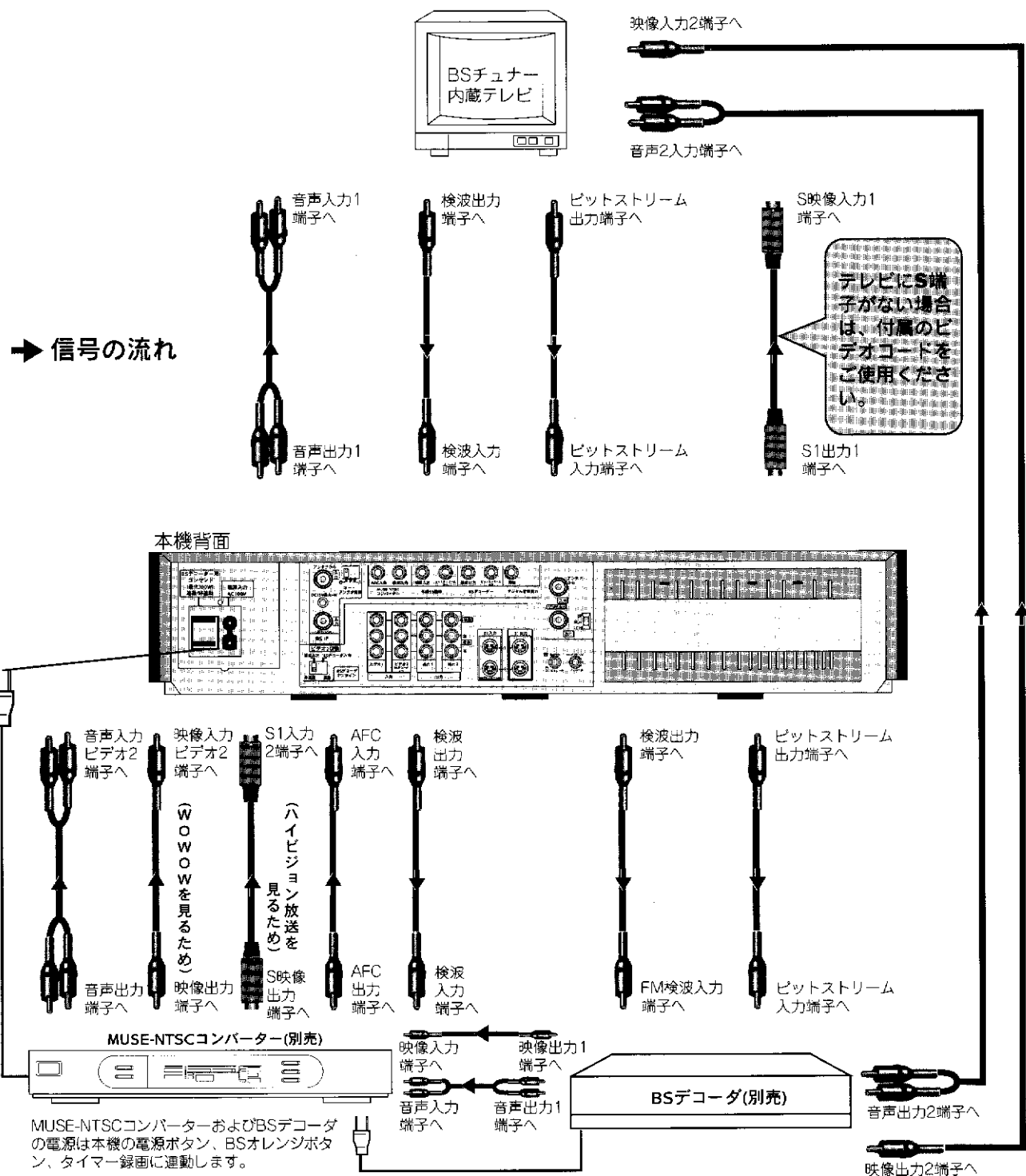
ハイビジョン放送の見かたは、[icon] ページをご覧ください。

→ 信号の流れ

MUSE-NTSCコンバーターの電源は本機の電源ボタン、BSオレンジボタン、タイマー録画に連動します。

MUSE-NTSCコンバーター(別売)

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダと接続する

テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、青色（━━）部分の接続は不要です。

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダの電源は本機の電源ボタン、BSオレンジボタン、タイマー録画に運動します。

・本機背面の電源出力端子には、ＢＳデコーダまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源プラグを接続します。
他の機器は接続しないでください。
また、消費電力は最大300Wまでです。

受信チャンネル設定

オートチャンネル設定

オートチャンネルボタンで、チャンネルを自動選局します。**BS**アンテナを接続していれば、**BS**番組も自動的に選局します。あとから**BS**アンテナを接続した方は右ページの**BS**オートチャンネル設定を行います。
また、本機は**CATV**チャンネルも受信できます。**VHF**、**UHF**，**BS**放送を**CATV**でご覧になっている方もチャンネルを自動選局できます。**CATV**をご覧になるときは、**CATV**会社と受信契約が必要です。
本機は、**C13（63）～ C41（91）**の**CATV**チャンネルが受信できます。

内フタを開けます。

準備　**テレビの準備**
❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル（1か2、ビデオ）にします。（20ページ参照）

テレビ画面　本体表示窓

チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

オートチャンネルボタンを押す

・選局が始まり、放送のあるチャンネルを自動的に記憶します。
・終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。

＊ オートチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示　1CH
受信チャンネル　1
オートチャンネル合わせ実行中

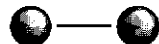
❸ 合わせボタンで、選局されたチャンネルを確認する。

・不要なチャンネルを飛ばすときは、32ページをご覧ください。
・チャンネル表示を変更するときは、34ページをご覧ください。
・きれいに映らないときは、36ページをご覧ください。

・ＣＡＴＶについては、ＣＡＴＶ関係各社にお問い合わせください。

・ＣＡＴＶチャンネルのＣ36(86)～Ｃ41(91)は、多少映りが悪いことがあります。
・モード選択画面(14ページ参照)のブルーバックが**切**のときに放送のないチャンネルを受信すると、テレビ画面にチャンネルを表示しません。

BSオートチャンネル設定

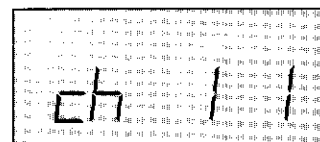
あとからBSアンテナを購入し接続した方は、BS番組のチャンネル設定を行います。
オートチャンネルボタンでBSチャンネルを自動選局します。

テレビ画面　本体表示窓

1 チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊　チャンネル合わせ　＊

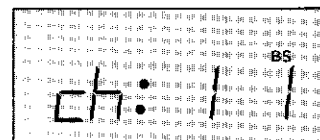
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1

◆オートチャンネル合わせ　〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
◆選局をとばす　〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ　〔送り〕

2 BSオレンジボタンを押す

・ＢＳチャンネル合わせ画面を表示します。

＊　BSチャンネル合わせ　＊

BSチャンネル　1CH　スキップ

◆BSオートチャンネル合わせ〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
◆スキップをやめる　〔記憶〕
＊BSアンテナ合わせへ　〔送り〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

3 オートチャンネルボタンを押す

・放送されているＢＳチャンネルを自動的に記憶します。
・終了すると、一番小さい数字のＢＳチャンネルが映ります。

＊　オートチャンネル合わせ　＊

チャンネル表示　BS　1CH
受信チャンネル　BS　1

合わせボタンで、選局されたチャンネルを確認する

・不要なチャンネルを飛ばすときは、次ページをご覧ください。

不要なチャンネルを飛ばす　チャンネルスキップ

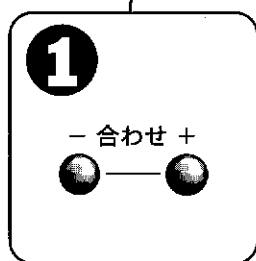
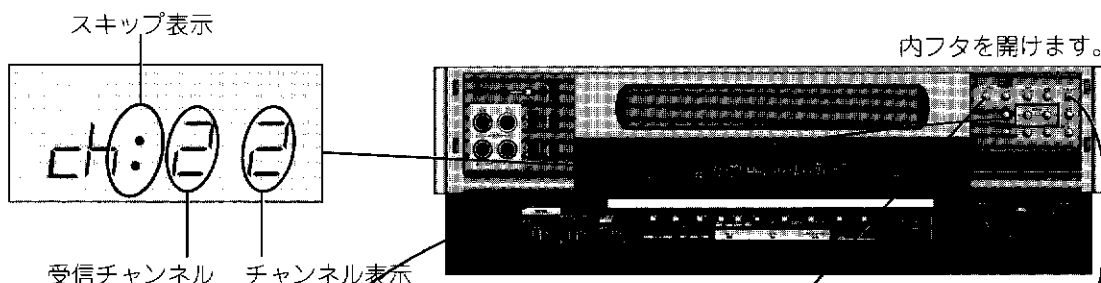
スキップ表示

受信チャンネル　チャンネル表示

内フタを開けます。

❶ －合わせ＋

❷❹ チャンネル合わせ

❸ スキップ

テレビ画面　本体表示窓

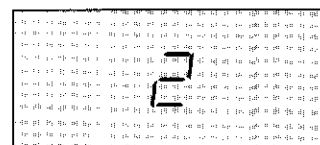
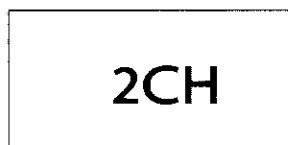
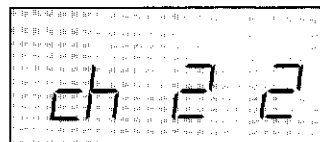
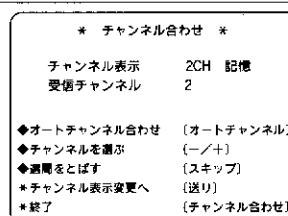
❶ テレビ画面を見ながら、合わせボタンで、飛ばしたいチャンネルに合わせる

2CH

❷ チャンネル合わせボタンを押す

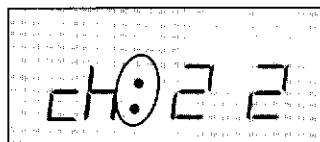
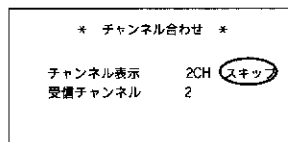
・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示	2CH 記憶
受信チャンネル	2
◆オートチャンネル合わせ	〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ	〔－／＋〕
◆選局をとばす	〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ	〔送り〕
＊終了	〔チャンネル合わせ〕

❸ スキップボタンを押す

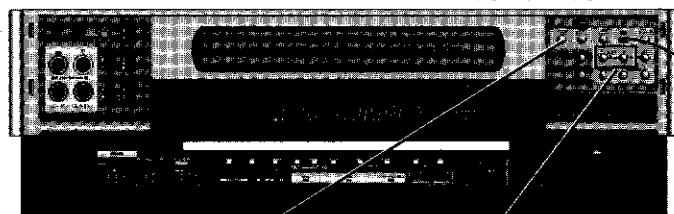
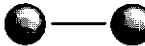
・スキップを表示します。
・本体表示窓では、：を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示	2CH スキップ
受信チャンネル	2

❹ チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

・他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、❶～❹をくり返します。

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶する

内フタを開けます。

❶❹ チャンネル合わせ

❷ − 合わせ ＋

❸ 記憶

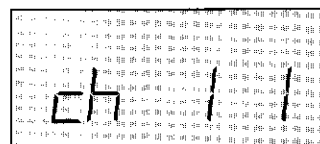
テレビ画面　本体表示窓

❶ **チャンネル合わせボタンを押す**

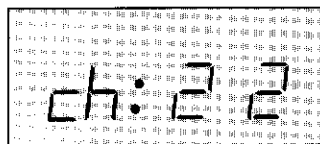
・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　1CH 記憶
受信チャンネル　1

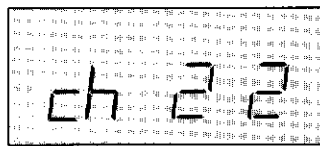
◆オートチャンネル合わせ　〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
◆選局をとばす　〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ　〔送り〕

❷ **合わせボタンで、記憶したい チャンネルに合わせる**

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　2CH スキップ
受信チャンネル　2

❸ **記憶ボタンを押す**

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、：が消えます。
・他にも記憶したいチャンネルがあるときは、❷〜❸をくり返します。

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　2CH 記憶
受信チャンネル　2

 チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

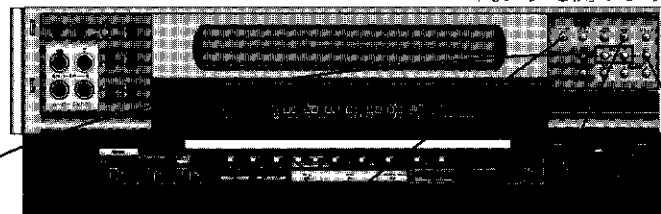
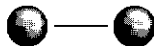
受信チャンネル設定（つづき）

チャンネル表示を変更する

内フタを開けます。

❶❹ − 合わせ ＋

❷❻ チャンネル合わせ

❺ 記憶

❸ 送り

（例）テレビ神奈川（**42**チャンネル）のチャンネル表示を**5**にする

テレビ画面　本体表示窓

❶ 合わせボタンで、変更したいチャンネルにする

42CH

❷ チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊

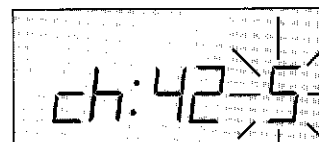
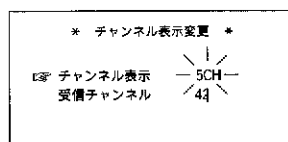
チャンネル表示	42CH 記憶
受信チャンネル	42
◆オートチャンネル合わせ	〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ	〔−／＋〕
◆選局をとばす	〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ	〔送り〕
＊終了	〔チャンネル合わせ〕

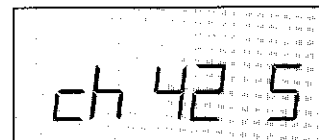
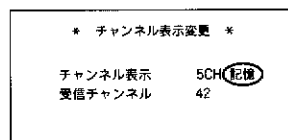
❸ 送りボタンを押す

・チャンネル表示変更画面を表示します。

＊ チャンネル表示変更 ＊

☞ チャンネル表示	42CH
受信チャンネル	42

合わせボタンで、チャンネル表示を変更する

記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、：表示が消えます。

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

・タイマー予約をするときは、チャンネル表示の数字で予約します。
・他にも変更したいチャンネルがあるときは、❶～❻をくり返します。

・チャンネル表示の変更をまちがえたときは、[ ]ページのオートチャンネル設定をやり直してください。
ただし、チャンネル表示の変更や微調整したチャンネルも前の状態に戻りますので注意してください。

受信チャンネル設定（つづき）

チャンネルの微調整をする

受信したチャンネルが白黒画面のときや、しま模様の画面になっているときは微調整が必要です。

テレビ画面　本体表示窓

❶ 合わせボタンで、微調整したいチャンネルにする

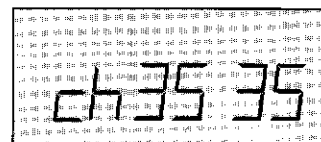
35CH

❷ チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊　チャンネル合わせ　＊

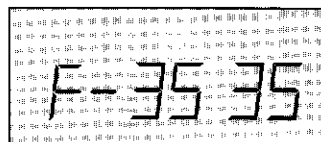
チャンネル表示　35CH　記憶
受信チャンネル　35

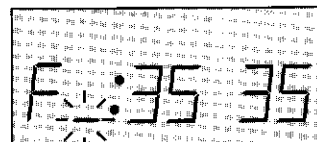
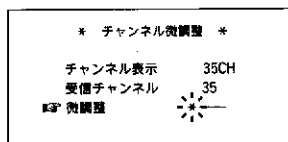
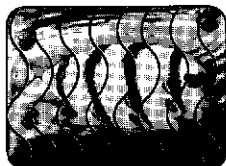
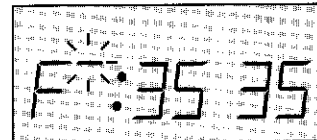
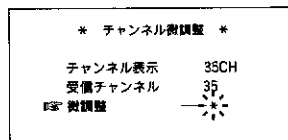
◆オートチャンネル合わせ　〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
◆選局をとばす　〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ　〔送り〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

❸ 送りボタンを3回押す

・チャンネル微調整画面を表示します。

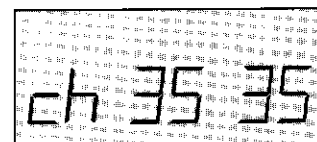
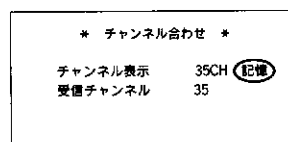
＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　35CH
受信チャンネル　35
☞ 微調整　—＊—

◆微調整をする　〔－／＋〕
◆変えた内容を記憶する　〔記憶〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

合わせボタンで、微調整する

●しま模様の画面のときは、
合わせ（－）ボタンを押します。

●白黒画面のときは、合わせ（＋）
ボタンを押します。

・調整前の状態に戻したいときは、合わせ（－）と（＋）ボタンを同時に押します。

記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、：表示が消えます。

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

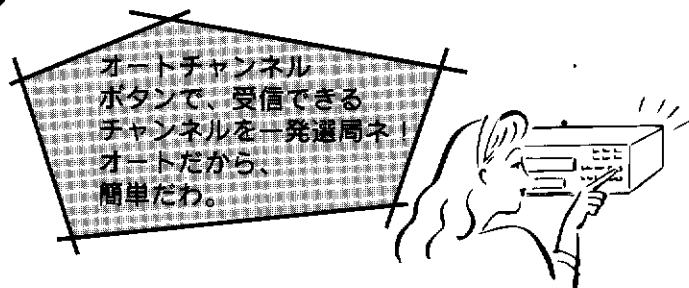
・他にも微調整したいチャンネルがあるときは、❶～❻をくり返します。

ガイドチャンネル設定

ビデオ・プラス

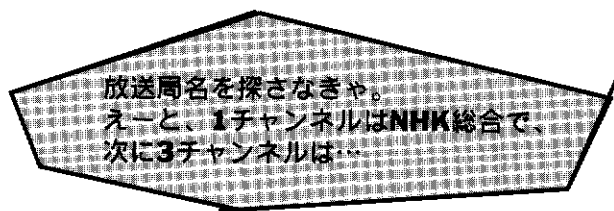
Gコードを使ってタイマー予約する前の準備

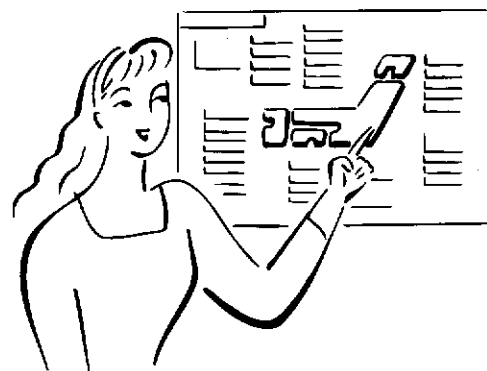
30 ページのオートチャンネル設定終了後

❶ あなたのお住まいの地区で受信できるチャンネルをチャンネルボタンで調べて、❹の表に記入する

例えば横浜市なら、本体で受信できるチャンネルは**9**つだ！

1	3	4	6	8
10	12	16	42	

❷ 受信できた放送局名を調べる

・テレビ画面を見て、この番組の放送局名を番組欄で調べて、❹ の表に記入します。

❸ 自分の住んでいる地域のガイドチャンネルを一覧表で調べる（42 ページ参照）

・❹ の表にガイドチャンネルを記入します。

・引っ越しした場合は、必要に応じて設定し直してください。

ＮＨＫ総合とＮＨＫ教育テレビは、どの地域にお住まいの方でもガイドチャンネル設定が必要です。

❹ あなたのお住まいの地区に合わせて表を作成しましょう。

本体で受信したチャンネルを記入する

新聞や雑誌の番組欄を見て放送局名を記入する

42 ページのガイドチャンネル一覧表を見て記入する

チャンネル表示	放送局名	ガイドチャンネル
	NHK総合	80
	NHK教育	90

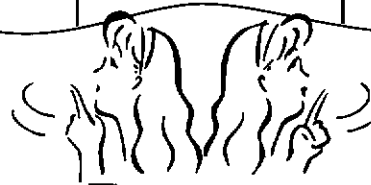
❺ 上の表より、チャンネル表示とガイドチャンネルを見比べて数字が違っている放送局を本体に記憶する（次ページ参照）

・違っているところに✓印を入れます。

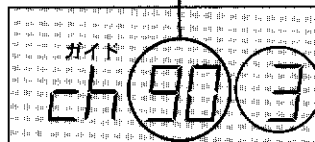
（例）横浜市の場合

	チャンネル表示	放送局名	ガイドチャンネル
✓	1	NHK総合	80
✓	3	NHK教育	90
	4	日本テレビ	4

例えばこの場合・日本テレビは数字が同じなのでガイドチャンネル設定の必要はありません。

・衛星放送のチャンネルはすでにメモリーしてありますので、ガイドチャンネル設定の必要はありません。
・ＣＡＴＶなどで衛星放送を受信しているときは、ガイドチャンネル設定が必要です。

ガイドチャンネルを本体に記憶する

ガイドチャンネル

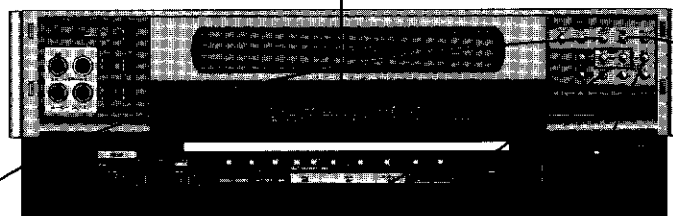
ガイド ch 90 3

チャンネル表示

内フタを開けます。

入力切換ボタン

❶❻ ガイドチャンネル

❷❹ − 合わせ ＋

❸ 送り

❺ 記憶

（例） ＮＨＫ教育テレビのガイドチャンネル（**90**）を記憶する場合（横浜市）

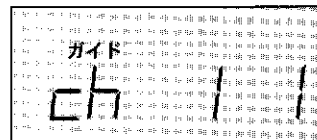
準備 ❶リモコンの時刻合わせをします。（43 ページ参照）
❷ 38 ～ 39 ページの❶～❹を行い、表を作成します。

テレビ画面　　**本体表示窓**

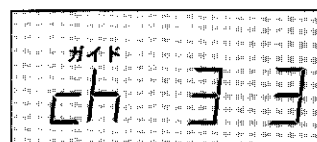
❶ ガイドチャンネルボタンを押す

・ガイドチャンネル合わせ画面を表示します。

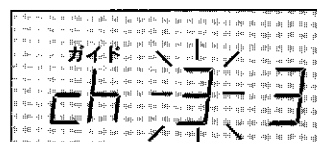
＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示　1CH
ガイドチャンネル　1
◆チャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

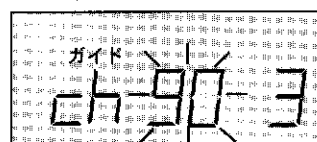
ガイド ch 1 1

❷ 合わせボタンで記憶するチャンネルを選ぶ

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示　3CH
ガイドチャンネル　3
◆チャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

ガイド ch 3 3

❸ 送りボタンを押す

・ガイドチャンネル変更画面を表示します。

＊ ガイドチャンネル変更 ＊
チャンネル表示　3CH
☞ ガイドチャンネル　3
◆ガイドチャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
◆変えた内容を記憶する　〔記憶〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

❹ 合わせボタンで記憶するガイドチャンネルに合わせる

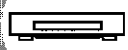
＊ ガイドチャンネル変更 ＊
チャンネル表示　3CH
☞ ガイドチャンネル　90
◆ガイドチャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
◆変えた内容を記憶する　〔記憶〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

❺ 記憶ボタンを押す

・他にも記憶するチャンネルがあるときは、❷～❺をくり返します。

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示　3CH
ガイドチャンネル　90
◆チャンネルを選ぶ　〔－／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

❻ ガイドチャンネルボタンで表示を戻す〔設定完了〕

・衛星チャンネルのチャンネル表示について
衛星チャンネルをビデオで録画するときのチャンネルをチャンネル表示とします。
例えば、外部入力（Ｌ１、Ｌ２、Ｌ３）で録画するときは、操作❷で入力切換ボタンを押して、チャンネル表示をビデオ１（またはビデオ２、ムービー）にします。

・ガイドチャンネルボタンを2秒以上押すと、別のガイドチャンネル合わせ画面を表示します。
このＶＴＲは、現在掲載されているＧコード及び将来このコードを応用したサービスにも対応しています。将来のシステムに対応するもので、Ｇコードを応用したサービスが始まるまで使用できません。

ガイドチャンネル一覧表

	放送局名	ガイドチャンネル
全国共通	ＮＨＫ総合	80
	ＮＨＫ教育	90
	ＢＳ１	71
	ＢＳ３	72
	ＢＳ５　ＷＯＷＯＷ	73
	ＢＳ７　ＮＨＫ衛星第２	74
	ＢＳ９	75
	ＢＳ11　ＮＨＫ衛星第２	76
	ＢＳ13	77
	ＢＳ15	78
	ＣＳ　衛星チャンネル	99

●北海道・東北

	放送局名	ガイドチャンネル
北海道	北海道放送（ＨＢＣ）	1
	札幌テレビ（ＳＴＶ）	5
	テレビ北海道（ＴＶＨ）	17
	北海道文化（ＵＨＢ）	27
	北海道テレビ（ＨＴＢ）	35
青森	青森放送（ＲＡＢ）	1
	青森朝日（ＡＢＡ）	34
	青森テレビ（ＡＴＶ）	38
岩手	岩手放送（ＩＢＣ）	6
	めんこい（ＭＩＴ）	33
	テレビ岩手（ＴＶＩ）	35
秋田	秋田放送（ＡＢＳ）	11
	秋田朝日（ＡＡＢ）	31
	秋田テレビ（ＡＫＴ）	37
宮城	東北放送（ＴＢＣ）	1
	仙台放送（ＯＸ）	12
	東日本放送（ＫＨＢ）	32
	宮城テレビ（ＭＭＴ）	34
山形	山形放送（ＹＢＣ）	10
	テレビユー山形（ＴＵＹ）	36
	山形テレビ（ＹＴＳ）	38
福島	福島テレビ（ＦＴＶ）	11
	テレビユー福島（ＴＵＦ）	31
	福島中央（ＦＣＴ）	33
	福島放送（ＫＦＢ）	35

●関東・甲信越

	放送局名	ガイドチャンネル
関東	日本テレビ（ＮＴＶ）	4
	東京放送（ＴＢＳ）	6
	フジテレビ（ＣＸ）	8
	テレビ朝日（ＡＮＢ）	10
	テレビ東京（ＴＸ）	12
	放送大学	16
	テレビ埼玉（ＴＶＳ）	38
	テレビ神奈川（ＴＶＫ）	42
	千葉テレビ（ＣＴＣ）	46
	群馬テレビ（ＧＴＶ）	48
新潟	新潟放送（ＢＳＮ）	5
	新潟テレビ21（ＮＴ21）	21
	テレビ新潟（ＴＮＮ）	29
	新潟総合（ＮＳＴ）	35
長野	信越放送（ＳＢＣ）	11
	長野朝日（ＡＢＮ）	20
	テレビ信州（ＴＳＢ）	30
	長野放送（ＮＢＳ）	38
山梨	山梨放送（ＹＢＳ）	5
	テレビ山梨（ＵＴＹ）	37

●中部

	放送局名	ガイドチャンネル
静岡	静岡放送（ＳＢＳ）	11
	静岡第一（ＳＤＴ）	31
	静岡県民（ＳＫＴ）	33
	テレビ静岡（ＳＵＴ）	35
中京	東海テレビ（ＴＨＫ）	1
	中部日本放送（ＣＢＣ）	5
	名古屋テレビ（ＮＢＮ）	11
	テレビ愛知（ＴＶＡ）	25
	三重テレビ（ＭＴＶ）	33
	中京テレビ（ＣＴＶ）	35
	岐阜放送（ＧＢＳ）	37
富山	北日本放送（ＫＮＢ）	1
	テレビユー富山（チューリップ）	32
	富山テレビ（Ｔ34）	34
石川	北陸放送（ＭＲＯ）	6
	北陸朝日（ＨＡＢ）	25
	テレビ金沢（ＫＴＫ）	33
	石川テレビ（ＩＴＣ）	37
福井	福井放送（ＦＢＣ）	11
	福井テレビ（ＦＴＢ）	39

●関西・中国

	放送局名	ガイドチャンネル
関西	毎日放送（ＭＢＳ）	4
	朝日放送（ＡＢＣ）	6
	関西テレビ（ＫＴＶ）	8
	読売テレビ（ＹＴＶ）	10
	テレビ大阪（ＴＶＯ）	19
	テレビ和歌山（ＷＴＶ）	30
	びわ湖放送（ＢＢＣ）	30
	近畿放送〔京都テレビ〕（ＫＢＳ）	34
	サンテレビ（ＳＵＮ）	36
	奈良テレビ（ＴＶＮ）	55
岡山	西日本放送（ＲＮＣ）	9
	山陽放送（ＲＳＫ）	11
	テレビせとうち（ＴＳＣ）	23
	瀬戸内海放送（ＫＳＢ）	33
	岡山放送（ＯＨＫ）	35
広島	中国放送（ＲＣＣ）	4
	広島テレビ（ＨＴＶ）	12
	テレビ新広島（ＴＳＳ）	31
	広島ホーム（ＨＯＭＥ）	35
鳥取・島根	日本海テレビ（ＮＫＴ）	1
	山陰放送（ＢＳＳ）	10
	山陰中央（ＴＳＫ）	34
山口	山口放送（ＫＲＹ）	11
	テレビ山口（ＴＹＳ）	38

●四国

	放送局名	ガイドチャンネル
香川	西日本放送（ＲＮＣ）	9
	山陽放送（ＲＳＫ）	11
	テレビせとうち（ＴＳＣ）	23
	瀬戸内海放送（ＫＳＢ）	33
	岡山放送（ＯＨＫ）	35
愛媛	南海放送（ＲＮＢ）	10
	伊予テレビ（ＩＴＶ）	29
	愛媛放送（ＥＢＣ）	37
徳島	四国放送（ＪＲＴ）	1
高知	高知放送（ＲＫＣ）	8
	テレビ高知（ＫＵＴＶ）	38

●九州

	放送局名	ガイドチャンネル
福岡	九州朝日放送（ＫＢＣ）	1
	ＲＫＢ毎日（ＲＫＢ）	4
	テレビ西日本（ＴＮＣ）	9
	ＴＸＮ九州（ＴＶＱ）	19
	福岡放送（ＦＢＳ）	37
大分	大分放送（ＯＢＳ）	5
	テレビ大分（ＴＯＳ）	36
佐賀	サガテレビ（ＳＴＳ）	36
長崎	長崎放送（ＮＢＣ）	5
	長崎国際（ＮＩＢ）	25
	長崎文化（ＮＣＣ）	27
	テレビ長崎（ＫＴＮ）	37
熊本	熊本放送（ＲＫＫ）	11
	熊本朝日（ＫＡＢ）	16
	熊本県民（ＫＫＴ）	22
	テレビ熊本（ＴＫＵ）	34
宮崎	宮崎放送（ＭＲＴ）	10
	テレビ宮崎（ＵＭＫ）	35
鹿児島	南日本放送（ＭＢＣ）	1
	鹿児島放送（ＫＫＢ）	32
	鹿児島テレビ（ＫＴＳ）	38
沖縄	沖縄テレビ（ＯＴＶ）	8
	琉球放送（ＲＢＣ）	10

時刻合わせ〔リモコン〕

（例）**1993年12月24日**　午後**3**時**35**分（**15:35**）に合わせる

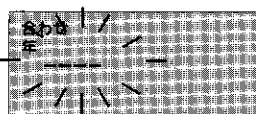
時刻合わせボタンを押す

リモコン表示窓

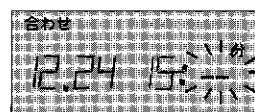
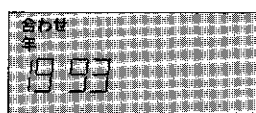
数字ボタンで年を入力する

数字ボタンで月を入力する

・1ケタの場合は0を先に押します。

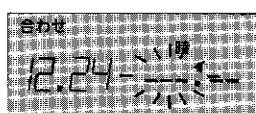
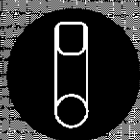
数字ボタンで日を入力する

・1ケタの場合は0を先に押します。

数字ボタンで時を入力する

・1ケタの場合は0を先に押します。

数字ボタンで分を入力する

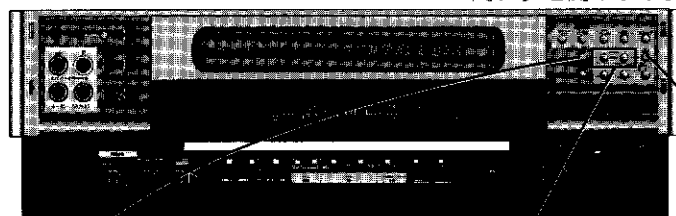
・1ケタの場合は0を先に押します。

時刻合わせボタンを押す

・時計が動き始めます。

・時刻を正確に合わせたいときは、❼の操作で時報（☎117）に合わせて時刻合わせボタンを押してください。
・設定中にまちがえて入力したときは、取消しボタンを押し、もう一度、数字ボタンで入力してください。
・時刻の分を合わせ直すときは、時刻合わせボタンを押したあと数字ボタンで入力してください。

タイマー録画を正しく行うために、時刻を正確に合わせましょう。

内フタを開けます。

❶❾ 時刻合わせ

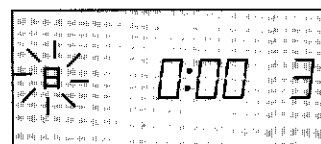
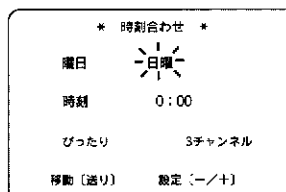
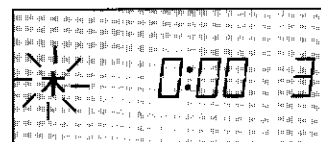
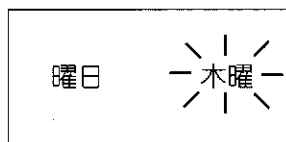
❷❹❻❽ − 合わせ ＋

❸❺❼ 送り

（例）木曜日　午後**3**時**35**分（**15：35**）、ぴったりクロックのチャンネルを12（関西地区）に合わせるとき

準備 テレビの準備
❶電源を入れます。
❷ビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20ページ参照）

本体表示窓

❶ 時刻合わせボタンで時刻合わせ画面を表示する

約**10**秒以内

❷ 合わせボタンで曜日を合わせる

・ぴったりクロックとは
自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。
ＮＨＫ教育テレビの時報で１日３回（７、１２、１９時）時計を修正します。ただし、ビデオ使用中は動作しません。

※ＮＨＫ教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認のうえチャンネルを設定してください。

送りボタンを押す

時刻　0：00

❹ 合わせボタンで時を合わせる

時刻　15：00

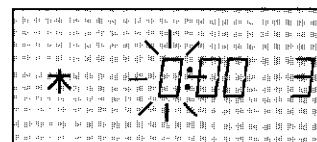
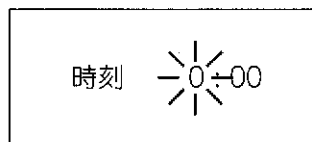
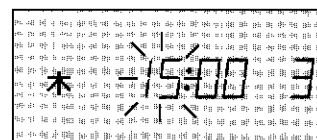
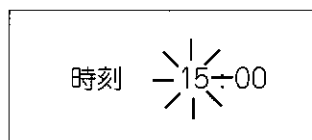
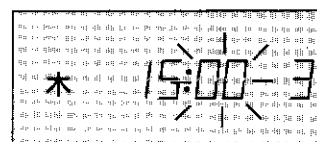
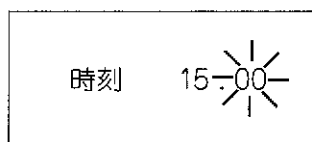
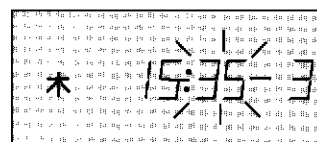
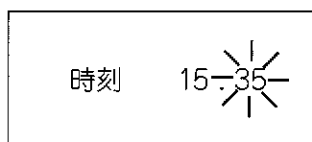
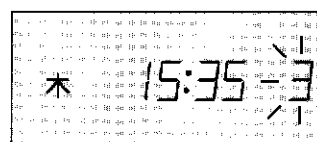
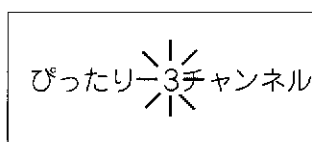
❺ 送りボタンを押す

時刻　15：00

❻ 合わせボタンで分を合わせる

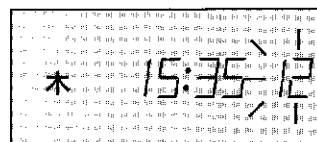
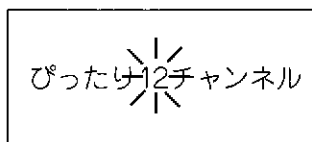
時刻　15：35

❼ 送りボタンを押す

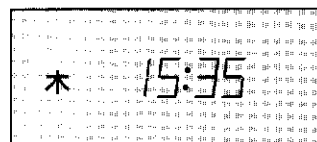
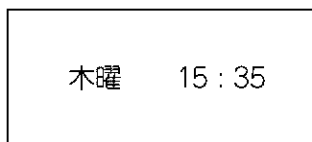
ぴったり 3チャンネル

❽ 合わせボタンでぴったりクロックのチャンネルを設定する

・ＮＨＫ教育テレビのチャンネルに合わせます。

ＮＨＫ教育テレビが３チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

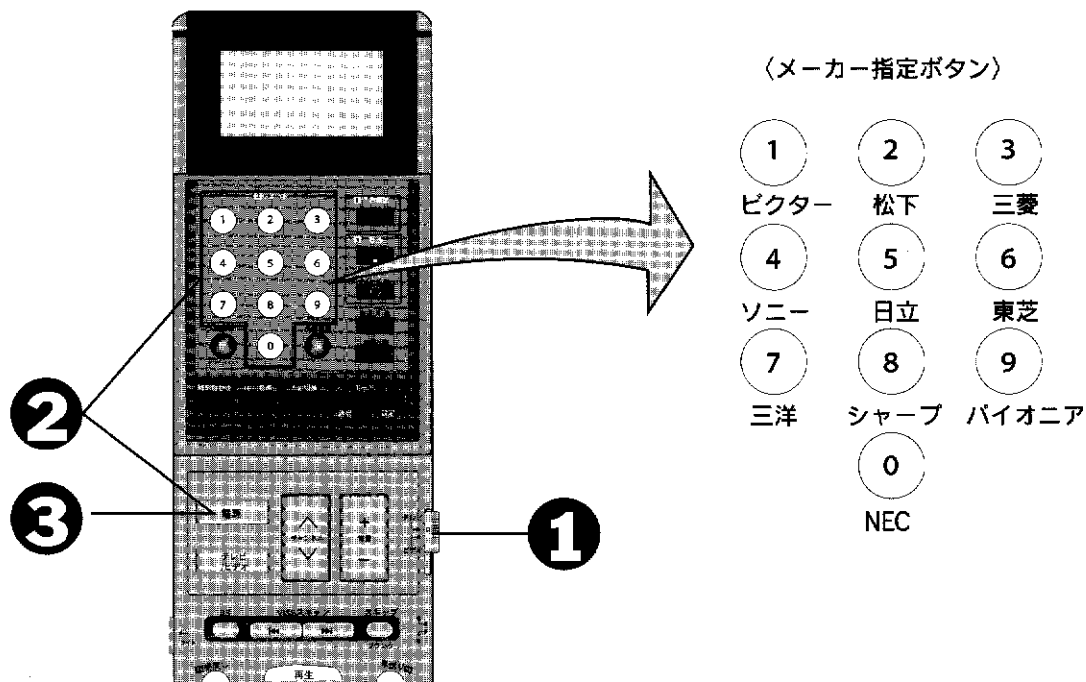
ぴったり 12チャンネル

時刻合わせボタンを押す

・時計が動き始めます。
・正確に合わせたいときは、時報（☎117）に合わせて時刻合わせボタンを押してください。

木曜　15：35

・途中で修正するときは送りボタンで点滅部分を移動させ、合わせボタンで修正します。
・現在時刻とのずれが±３分以上あるときは、ぴったりクロックは働きません。
・音楽入りの時報では機能しないことがあります。
・30分以上の停電があると、本体表示窓が０：００で点滅します。
再度、時刻合わせをしてください。

ビクター以外のテレビを操作する

TVマルチブランドリモコン

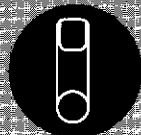
国内メーカー**10**社のテレビ操作（電源の入・切、チャンネル、音量、入力切換）ができます。
ご購入時は、ビクター製テレビの指定になっています。

テレビ/ビデオ切換スイッチをテレビにする

電源ボタンを押しながら、メーカー指定ボタンを押す

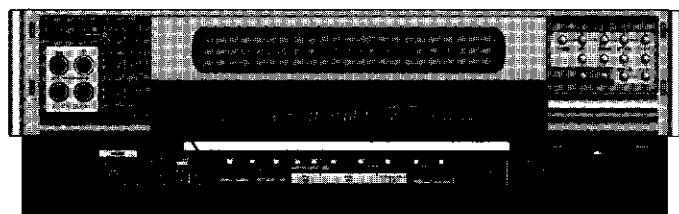
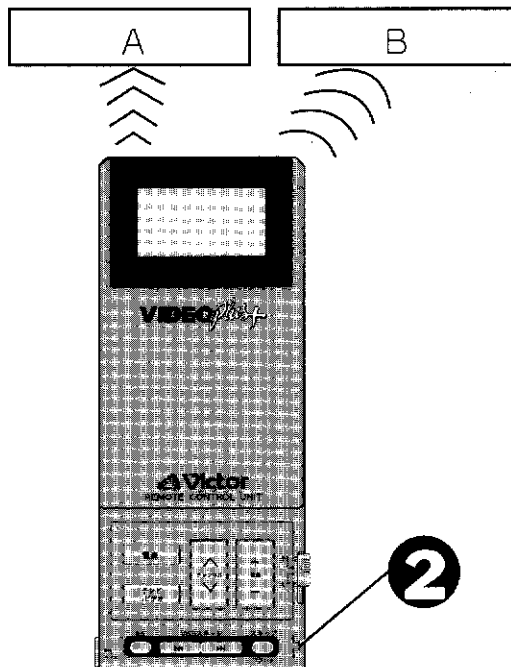
テレビの電源が入/切するか確認する

・チャンネル、音量、入力切換もできるか確認します。

・まちがえたときは、もう一度設定し直してください。
・電池交換後、時計表示が０：００で点滅するときは、テレビのメーカー指定をやり直してください。

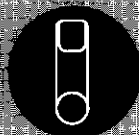
・テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

2台のビデオを操作する

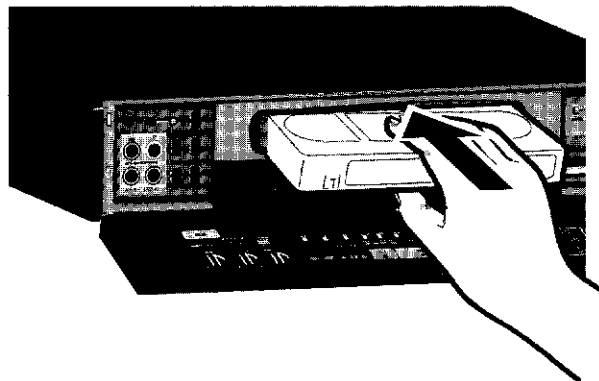
本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する　リモコンコード切換

リモコン操作すると、**2**台が同時に同じ動きをしてしまい、ビデオ操作がうまくいかないことがあります。
本機は、リモコンコードを別に設定し、**1**つのリモコンで２台のビデオを別々に操作することができます。

❶ ビデオ側のリモコンコード切換スイッチが**A**の場合

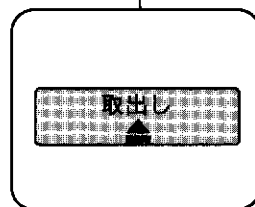
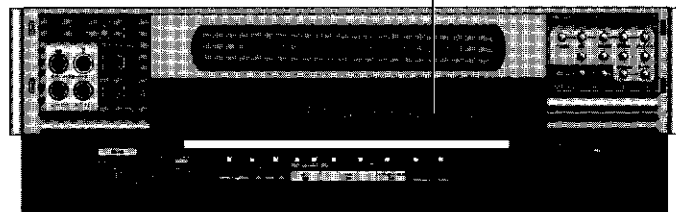
❷ リモコンの**A/B**コード切換スイッチも**A**にする

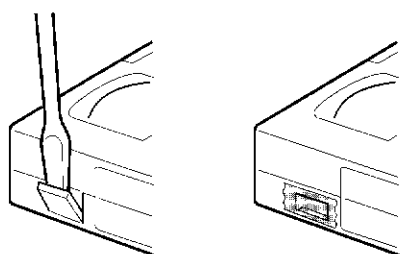
■**B**コードにする場合は、本体もリモコンも**B**コードにします。

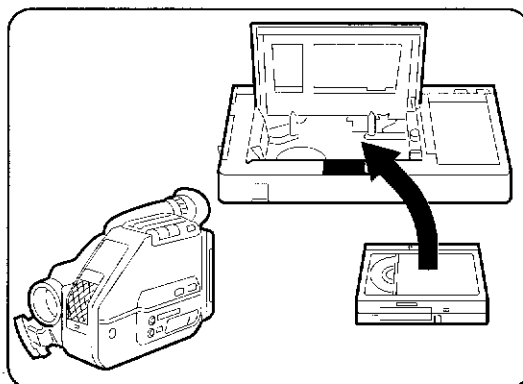
・リモコンで操作させたくないときは、本体のリモコンコード切換スイッチを**切**にします。

カセットの出し入れ

入れかた

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押す

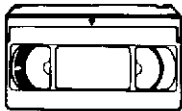
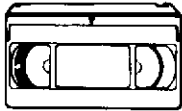
- 電源が入ります。
- カウンターが、0H00M00Sになります。
- つめのないカセットを入れると、再生を始めます。

出しかた

取出しボタンを押す

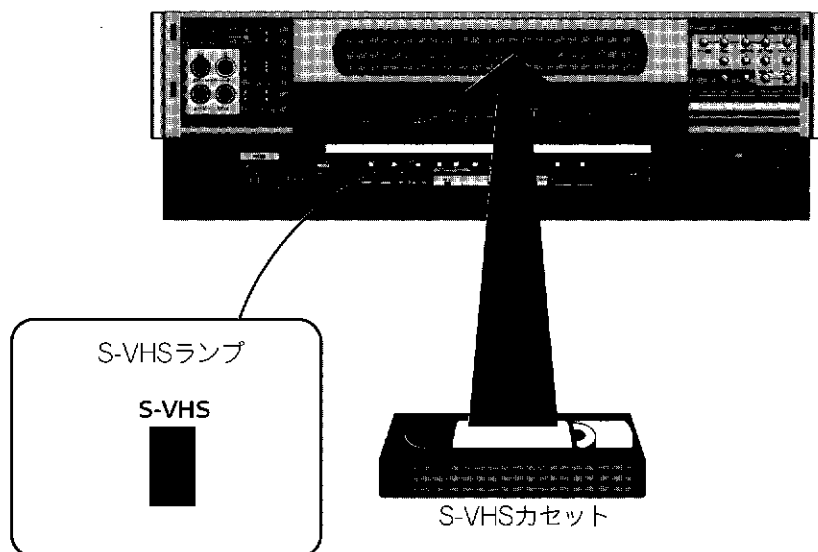
- タイマースタンバイ中は、テープを取り出すことはできません。
タイマーボタンで 表示を消してから、取り出してください。

大切なテープを消さないために

つめ（誤消去防止用）を折って、取りのぞいてください。
ふたたび録画したいときは、セロハンテープを2重に貼ってください。

ビデオムービーで録画したVHS Cテープを見るには

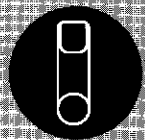
別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。

- カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

- テープを入れたらつまってしまい、数秒後にテープが自動的に出てきたときは
テープを斜めに入れるなど、入れかたによっては内部の保護回路が働き、テープが自動的に出てきます。このようなときは、数秒待ち、もう一度正しく入れ直してください。

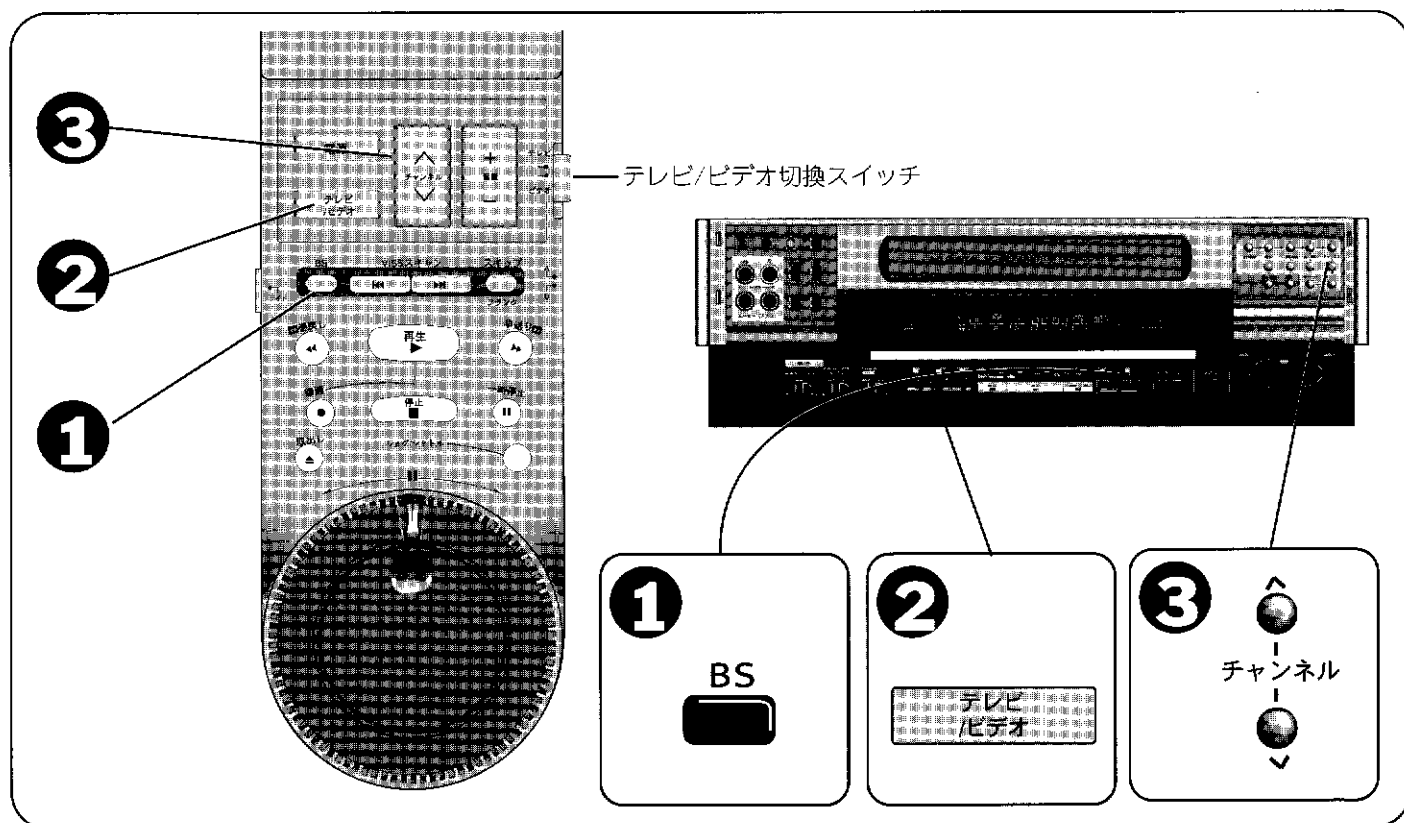
S-VHS録画する

S-VHSカセットを入れると、自動的に**S-VHS**録画をします。
S-VHSランプが点灯していることを確認してください。

●使用カセットと録画方式

使用カセット	録画方式	S-VHSランプ
S-VHS	**S-VHS**	S-VHS ■ 点灯 **S-VHS**カセットを入れると点灯します。
	VHS	S-VHS □ 消灯 モード選択画面で**S-VHS**記録を切にします。(15 ページ参照)
VHS	**VHS**	S-VHS □ 消灯 **S-VHS**録画できません。

・S－VHS録画したテープは、他のVHSビデオでは正常に再生できません。
S－VHS対応ビデオまたはSQPB（S－VHS簡易再生機能）付ビデオで再生してください。

衛星放送を見る

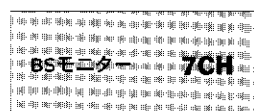
テレビ/ビデオ切換スイッチ

BS

テレビ/ビデオ

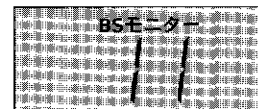
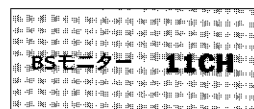
チャンネル

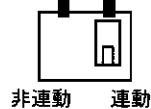
準備
❶ テレビの電源を入れます。
❷ テレビをビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20ページ参照）
❸ リモコンのテレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにします。

テレビ画面 / 本体表示窓

❶ **BSオレンジボタンを押す**
・ビデオ電源切でも見ることができます。

❷ **テレビのビデオチャンネルが1か2のかたは テレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を点灯させる**

❸ **チャンネルボタンで見たい衛星放送を選ぶ**

MEMO

・録画、再生やタイマースタンバイ中でも、ＢＳオレンジボタンを押すと衛星放送を受信できます。(BSモニター)
もう一度ＢＳオレンジボタンを押すと前の状態に戻ります。
・テレビがＢＳチューナー内蔵でない場合は、衛星放送を録画中に別の衛星放送の番組を見ることはできません。

・BSモニター中は、主音声(日本語など)/副音声(外国語)の切り換えはできません。
切り換えたいときは、ビデオ電源を入れてから、Hi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。(ページ参照)

WOWOW(ワウワウ)を見る

BS音声スイッチ

❶ ビデオ2切換スイッチを BSデコーダ入力にする

・自動的にBSデコーダオンラインスイッチは**連動**になります。

❷ 本機の電源を入れたあとに、BSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、BSデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

❸ チャンネルボタンで BS5チャンネルを選ぶ

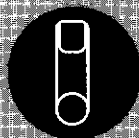
・本体のジョグダイヤルでも選べます。

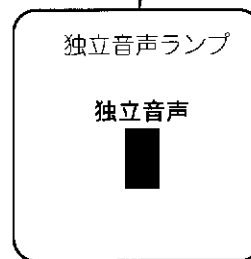
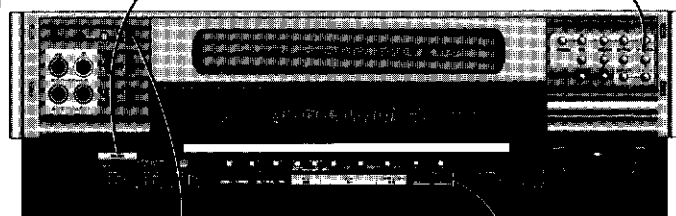
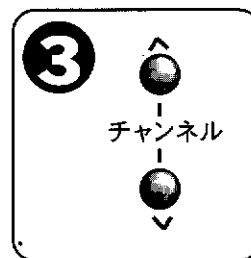
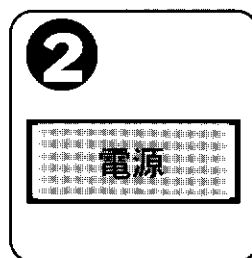
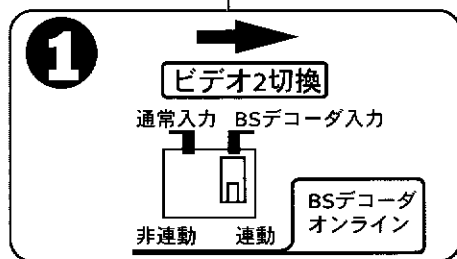
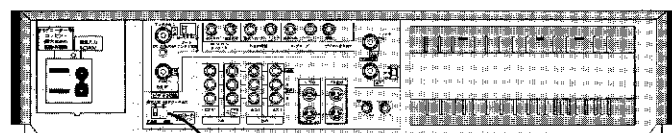
■**チャンネル切換時、スクランブル放送を受信すると、テレビ画面にデコーダ入力を5秒間表示します。**

テレビ画面

■**本機とBSデコーダのBS音声スイッチを両方ともテレビにしてください。**

・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
・ビデオ2切換スイッチを通常入力にすると、ビデオ2は通常の外部入力になります。

・WOWOWのタイマー録画で、録画開始時にBSデコーダの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、BSデコーダの電源が入であることを確認してください。

St. GIGAを聞く

1 ビデオ2切換 通常入力 BSデコーダ入力 BSデコーダ オンライン 非連動 連動
2 電源
3 チャンネル
4 BS音声 独立 テレビ
独立音声ランプ 独立音声

❶ ビデオ2切換スイッチを BSデコーダ入力にする

・自動的にＢＳデコーダオンラインスイッチは**連動**になります。

❷ 本機の電源を入れたあとに、BSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、ＢＳデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

❸ チャンネルボタンで BS5チャンネルを選ぶ

・本体のジョグダイヤルでも選べます。
・独立音声が放送されていると、独立音声ランプが点灯します。

❹ BS音声スイッチで独立を選ぶ

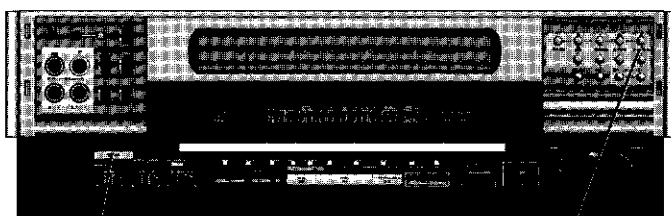
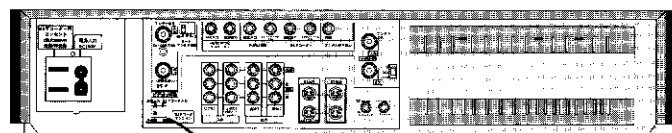
・独立音声が聞こえます。

❺ 独立音声が聞こえないときは、BSデコーダの音声選択ボタンで独立を選ぶ

・スクランブル放送で二ヶ国語放送を聞く場合は、ＢＳデコーダの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

■チャンネル切換時、スクランブル放送を受信すると、テレビ画面にデコーダ入力を5秒間表示します。

・Ｓｔ．ＧＩＧＡ放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
・ＢＳデコーダの取扱説明書もお読みください。
・独立音声放送がないときに独立の位置にすると、音声は出ません。
・WOWOWの画面が乱れていても、独立音声は正常に録音できます。
・Ｓｔ．ＧＩＧＡをタイマー録画する場合、本機とＢＳデコーダのＢＳ音声スイッチを両方とも独立にしてください。
・スクランブル放送時、デジタル音声出力端子から出力される音声は、スクランブル信号のため無音声になります。
ＢＳデコーダのデジタル音声出力端子からデジタルアンプなどへ接続してください。
・Ｓｔ．ＧＩＧＡのタイマー録画で、録画開始時にＢＳデコーダの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、ＢＳデコーダの電源が入であることを確認してください。

ハイビジョン放送を見る

❶ ビデオ2切換スイッチを BSデコーダ入力にする

・自動的にＢＳデコーダオンラインスイッチは**連動**になります。

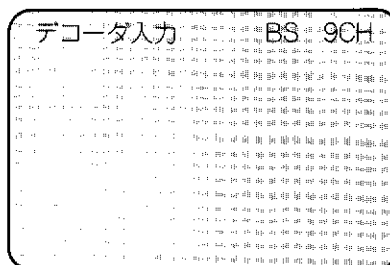
❷ 本機の電源を入れたあとに、MUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる

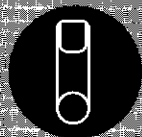
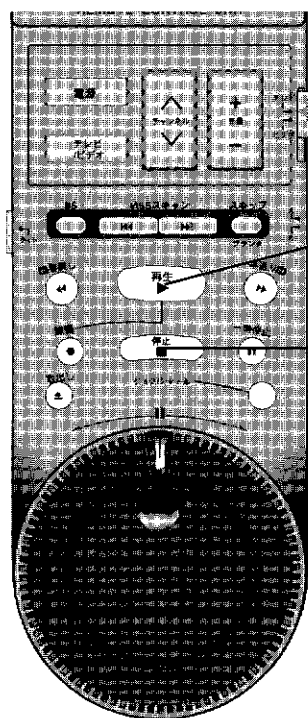
・本機の電源を入・切すると、ＭＵＳＥ-ＮＴＳＣコンバーターの電源も連動して入・切することを確認します。

❸ チャンネルボタンで BS9チャンネルを選ぶ

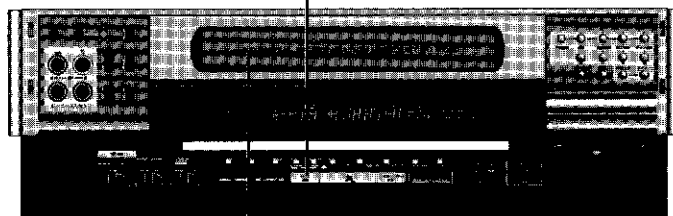
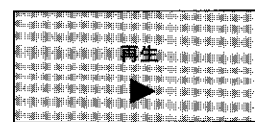
・本体のジョグダイヤルでも選べます。

■チャンネル切換時、ハイビジョン放送を受信すると、テレビ画面にデコーダ入力を5秒間表示します。

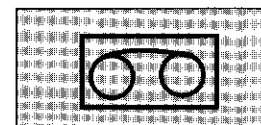
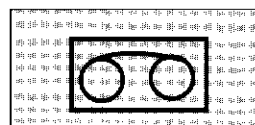
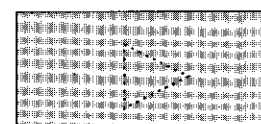
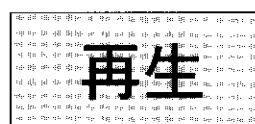
テレビ画面

・ＭＵＳＥ-ＮＴＳＣコンバーターの取扱説明書もお読みください。
・ビデオ２切換スイッチを通常入力にすると、ビデオ２は通常の外部入力になります。

・ハイビジョン放送のタイマー録画で、録画開始時にＭＵＳＥ-ＮＴＳＣコンバーターの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、ＭＵＳＥ-ＮＴＳＣコンバーターの電源が入であることを確認してください。

テープを見る

停止ボタン

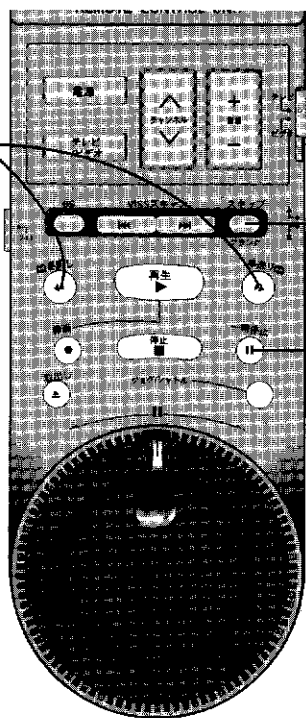
停止ボタン

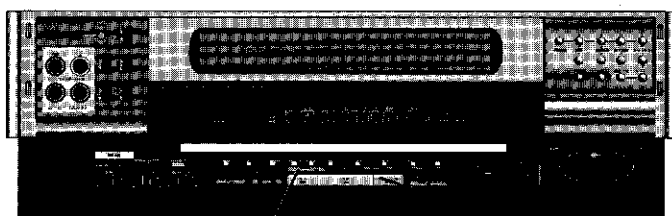
再生

準備 ❶テレビの電源を入れます。
❷テレビをビデオチャンネル（1か2、ビデオ）にします。（ページ参照）

テレビ画面　本体表示窓

❶ **テープを入れる**
・電源が入ります。
・つめのないテープを入れると再生を始めます。

❷ **再生ボタンを押す**
・再生が始まります。

■再生をやめるには、停止ボタンを押します。

・再生を始めると、トラッキングを自動的に調節します。
・早送り/巻戻しするには、停止中に早送りまたは巻戻しボタンを押します。
・テープがなくなると、自動的に巻き戻します。
・一時停止するには一時停止ボタンを押します。再生ボタンで戻します。
一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります。

早送り/
巻戻しボタン

スキップ
ボタン

一時停止
ボタン

巻戻し　早送り

一時停止/静止

画面を見ながら早送り/巻戻し再生をする　シャトルサーチ再生

早送り/巻戻しボタンの操作方法＼テープの録画スピード	標　準	3　倍
一度ポンと押す（ラッチ*）	7倍速で再生します	21倍速で再生します
押し続ける	7倍速で再生します	13倍速で再生します

●再生ボタンで通常再生に戻ります。
●指をはなすと通常再生に戻ります。

*ラッチ……手をはなしても飛ばし見再生を続けます。

CMを飛ばす　スキップサーチ

・再生中に、スキップボタンを1回押すと30秒ぶんを早送り再生します。
・押すたびに30秒刻みで最大2分（4回押す）まで飛ばし見できます。
・再生ボタンで通常再生に戻ります。

番組	CM	番組
	←早送り再生→	

スロー再生するには　スロー再生

・一時停止ボタンを2秒以上押します。
・再生ボタンで通常再生に戻ります。

・シャトルサーチ再生、スキップサーチ、スロー再生中は音声が出ません。
・静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときはトラッキング調節をしてください。
（74ページ参照）

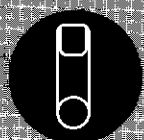
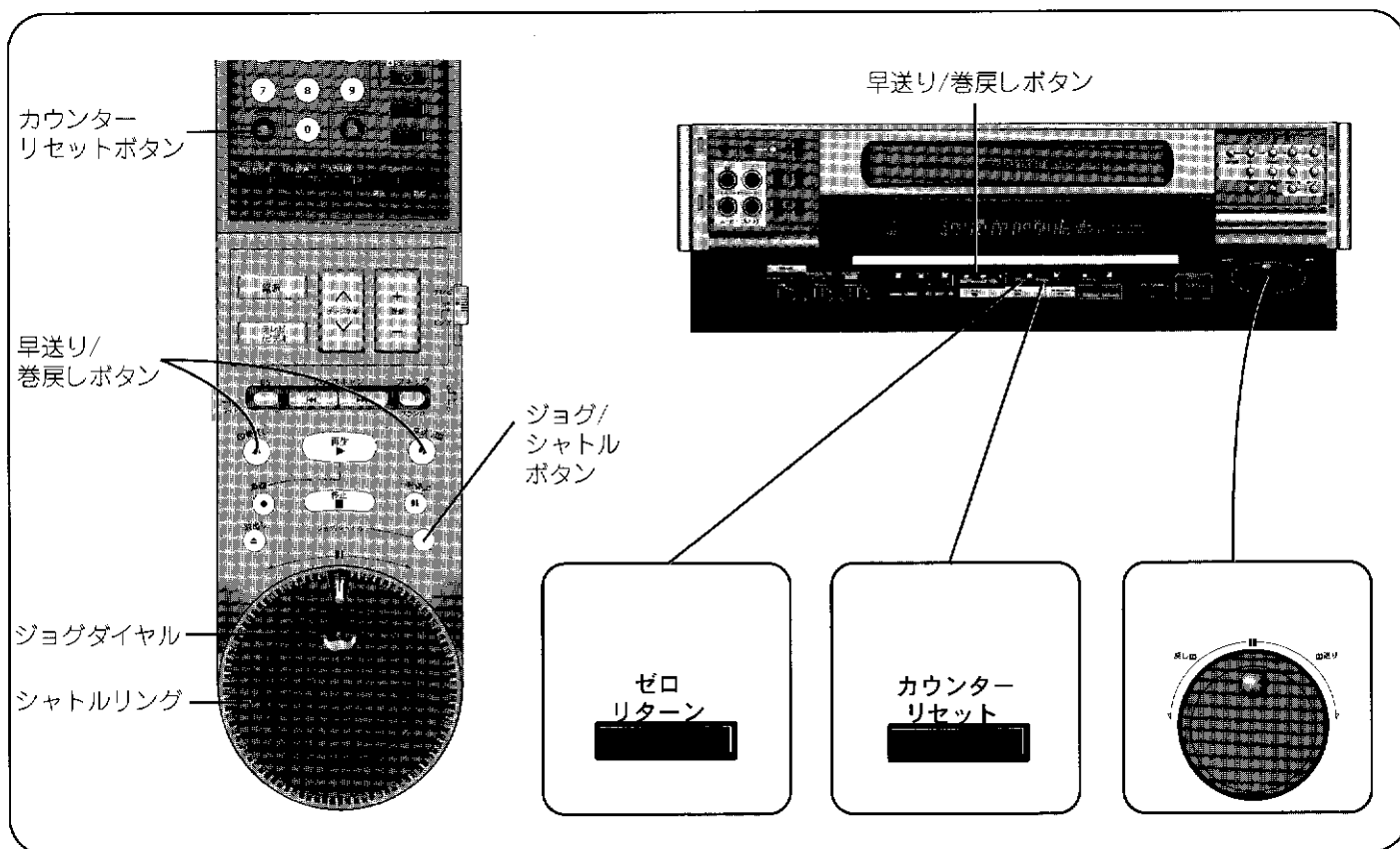
カウンターリセットボタン

早送り/巻戻しボタン

ジョグ/シャトルボタン

ジョグダイヤル

シャトルリング

早送り/巻戻しボタン

ゼロリターン

カウンターリセット

カウンター$0_H00_M00_S$の位置を呼び出す　ゼロリターン

停止または再生中に、ゼロリターンボタンを押します。
- 自動的に$0_H00_M00_S$の位置まで巻戻し（または早送り）して停止します。
- カウンターを$0_H00_M00_S$にするときは、カウンターリセットボタンを押します。

巻戻し/早送り中の画像をのぞき見する　オープンサーチ

巻戻し中のときは
巻戻しボタンを押し続ける

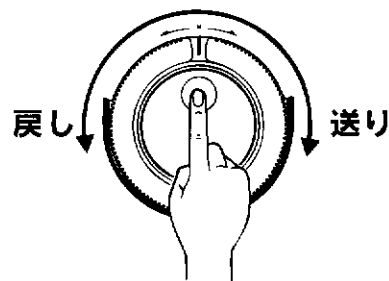
早送り中のときは
早送りボタンを押し続ける

- 押している間、のぞき見できます。
- 指を離すと、もとの巻戻し/早送りに戻ります。
- オープンサーチ中の再生スピードは7倍速（標準）または13倍速（3倍）です。

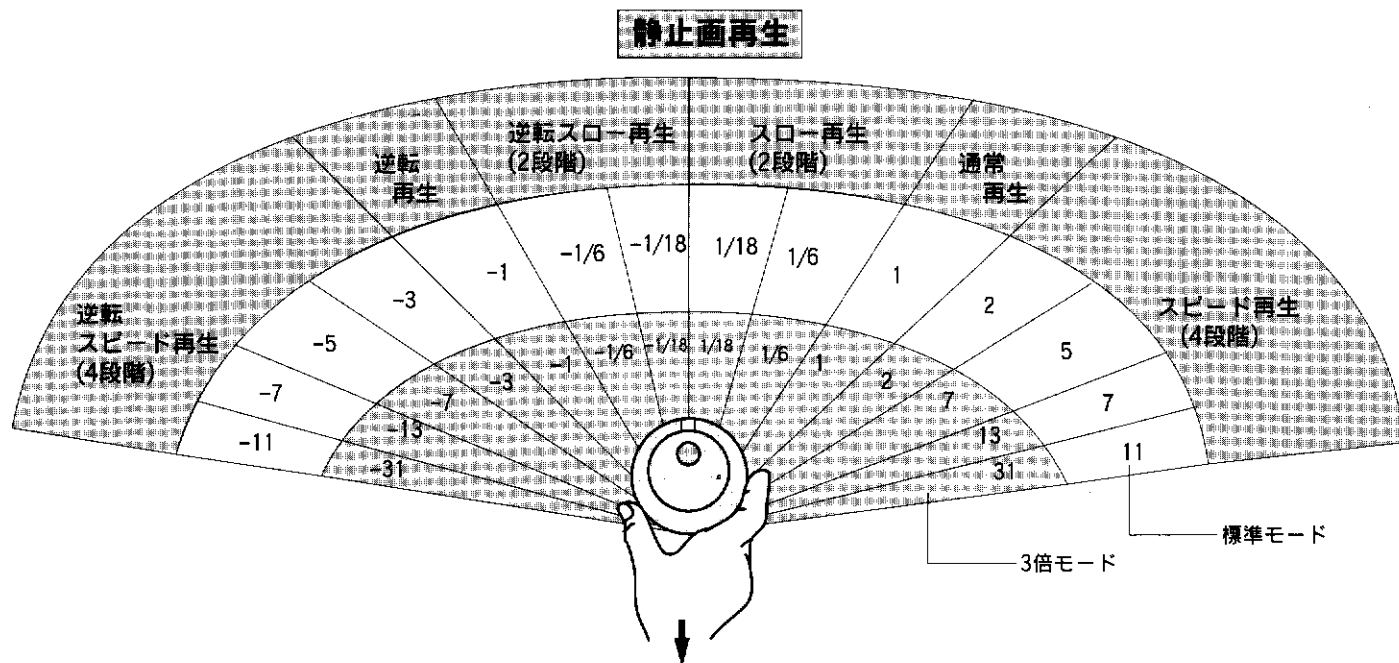
- 早送り中にテープがなくなると、自動的に巻戻します。

ジョグダイヤルを使ってコマ送り再生する

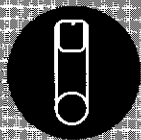
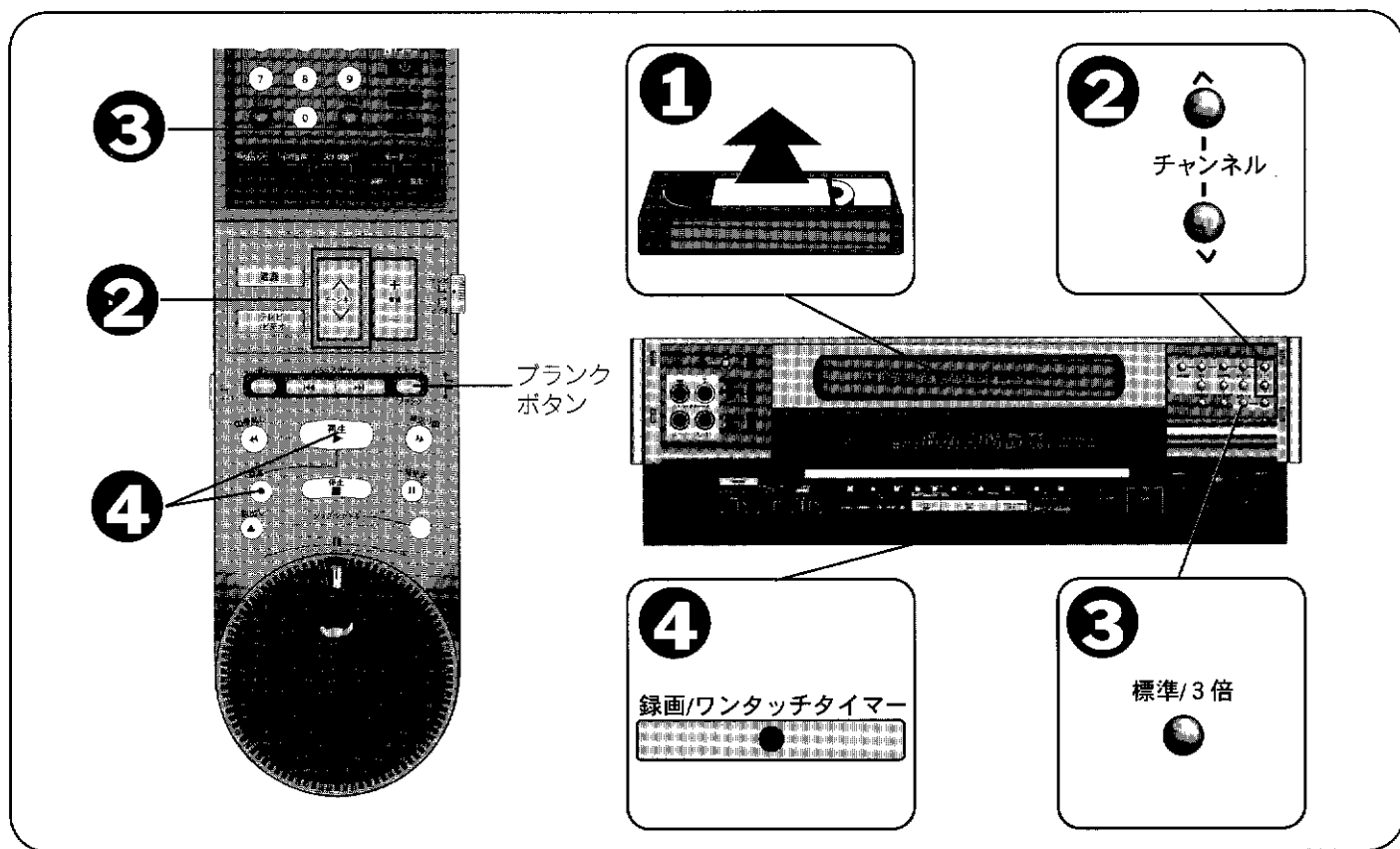
❶ リモコンで操作するときは、ジョグ/シャトルボタンを押してランプを点灯させます。
・本体で操作するときは必要ありません。
❷ 再生または静止画再生中に、ジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。

停止中に本体のジョグダイヤルを回すと、ビデオのチャンネル切り換えができます。

● ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

シャトルリングを使って可変速再生する

❶ リモコンで操作するときは、ジョグ/シャトルボタンを押してランプを点灯させます。
・本体で操作するときは必要ありません。
❷ 再生または静止画再生中に、シャトルリングを回すと可変速再生ができます。

シャトルリングから手を離すと、静止画再生になります。

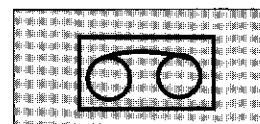
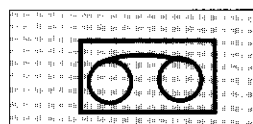
・ジョグ/シャトルボタンについて
リモコンのジョグダイヤル/シャトルリングを操作するときは、ジョグ/シャトルボタンを押してランプを点灯させます。
もう一度押すとランプは消えます。
約1分以内に次の操作をしないとランプは自動的に消えます。

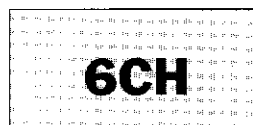
・コマ送り再生、可変速再生中は音声が出ません。
・静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。

❶ ❷ チャンネル ❸ 標準/3倍 ❹ 録画/ワンタッチタイマー

ブランク ボタン

準備
❶ テレビの電源を入れます。
❷ テレビをビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20ページ参照）
❸ リモコンのテレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにします。

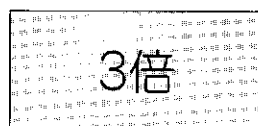
❶ テープを入れる

・つめがあることを確認します。
（45ページ参照）

チャンネルボタンでチャンネルを選ぶ

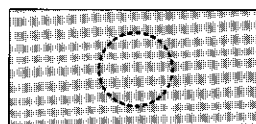
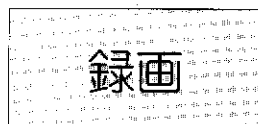
・衛星放送も選べます。
・リモコンの場合は、数字ボタンでも選べます。
・本体の場合は、ジョグダイヤルでも選べます。

MEMO

・録画を始めるとインデックス（頭出し信号）を書き込みます。番組の頭出しに使用します。（70ページ参照）
・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・テープがなくなると自動的に巻き戻します。
・ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にカセットが出て電源が切れます。
・テープの巻き終わり付近でカセットを入れると、自動的に巻き戻します。
・録画時間を設定していない場合は電源が切れません。

標準/3倍ボタンで
録画スピードを選ぶ

3倍

録画ボタンで録画を始める
・リモコンの場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

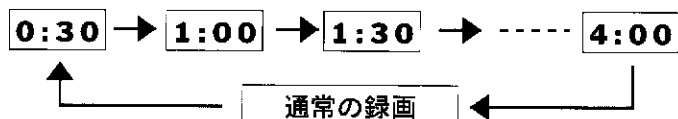
つめのないテープには録画できません。

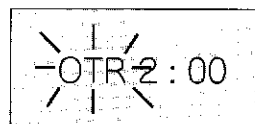
録画

■**録画をやめるには、停止ボタンを押します。**

■**録画を一時的にやめるには、一時停止ボタンを押します。**
・**再生ボタンで、また録画を始めます。**

録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切るには　ワンタッチタイマー録画

録画を始めた後、もう一度録画ボタンを押します。

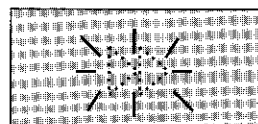
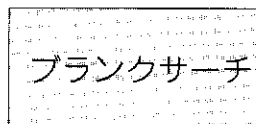
・**録画ボタンを押すたびに、30分刻みで4時間まで設定できます。**

・**設定した時間だけ録画したあと、自動的に電源が切れます。**
・**ワンタッチタイマー録画中に録画ボタンを押すと、録画時間を変更できます。**

OTR 2 : 00

リモコンの録画ボタンでは操作できません。

■**ワンタッチタイマー録画を途中でやめるには、停止ボタンを押します。**

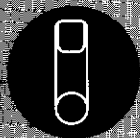
録画していない部分をさがす　ブランクサーチ

停止状態でブランクボタンを押す
・未録画部分をさがし、停止します。
・テープ残量を表示します。
・表示を戻すときは、本体のカウンター/残量/時計表示切換ボタンを押します。

テレビ画面　本体表示窓

ブランクサーチ

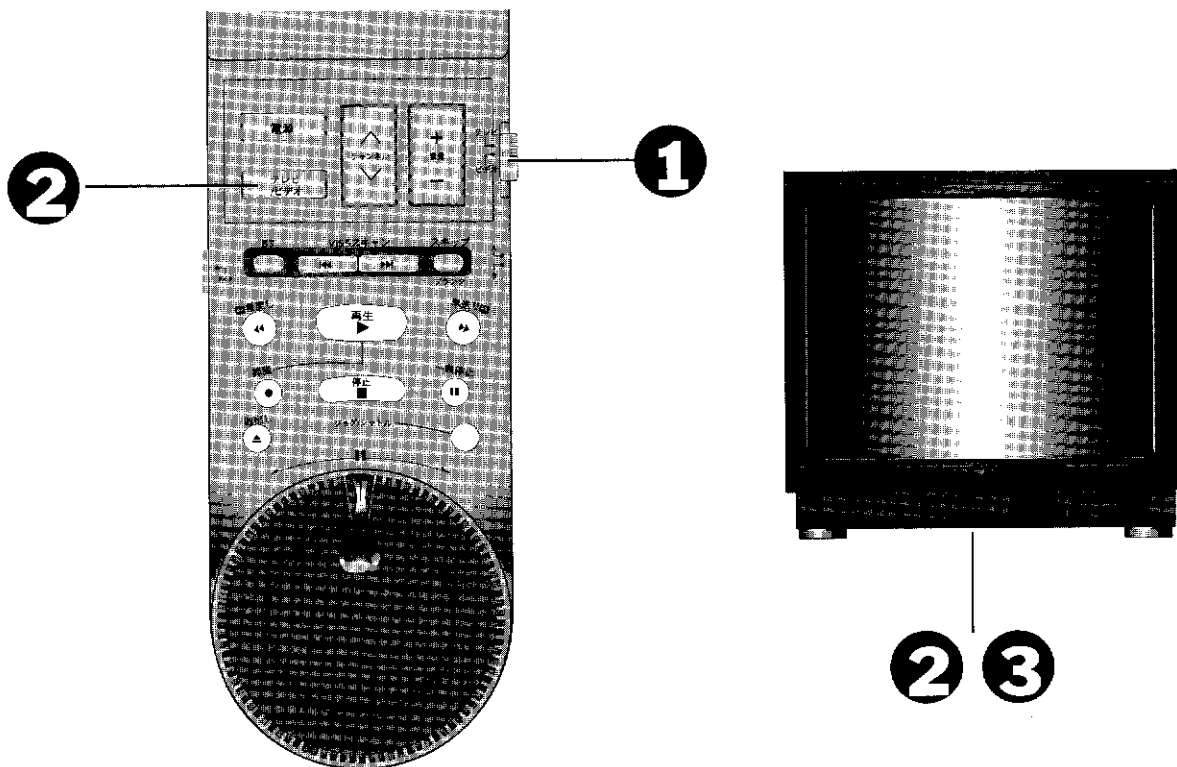
■**途中でやめるには、停止ボタンを押します。**

ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

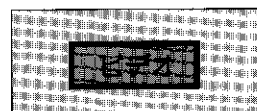
・録画時間を4時間以上または分刻みで合わせたいときは
(例) 録画時間を5時間15分にする
❶ワンタッチタイマー録画中に、送りボタンを押します。
(以後10秒以内に各操作を行います。)
❷合わせボタンで5(時間)にします。
❸送りボタンを押します。
❹合わせボタンで15(分)にします。
❺送りボタンを押します。(設定完了)
・最大9時間59分まで設定できます。

録画中に別の番組を見る（ウラ番組録画）

録画しながらテレビ番組を見る

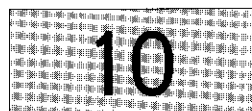
❶ テレビ/ビデオ切換スイッチを ビデオにする

（表示例）

テレビ画面　本体表示窓

❷ テレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を消す

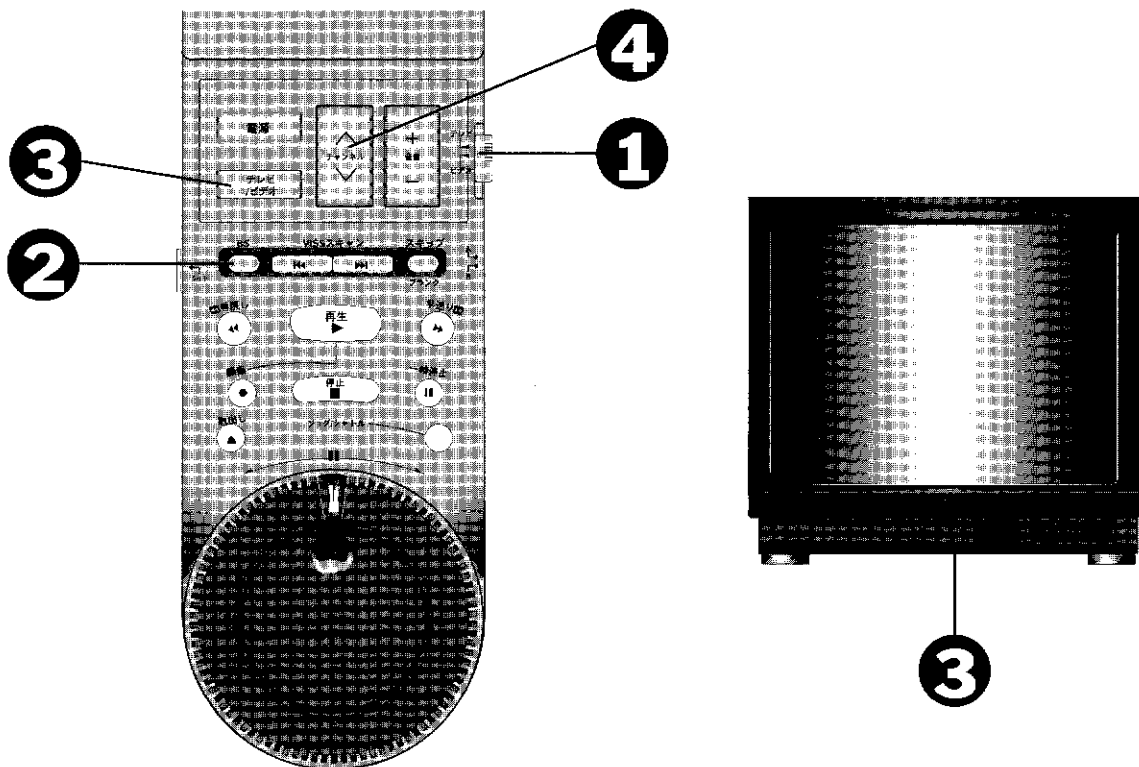
・ＡＶ接続の場合は、テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にします。

・**AV**接続でない場合

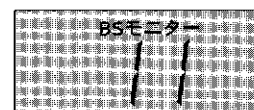
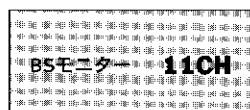
❸ テレビ側のチャンネル切換で、見たい番組にする

・録画には影響しません。

・ＡＶ接続とは
付属のビデオ、オーディオコードを使って、テレビとビデオを接続する方法です。
（ ページ参照）

テレビ番組を録画しながらBS番組を見る

❶ テレビ/ビデオ切換スイッチを ビデオにする

（表示例）

テレビ画面　本体表示窓

❷ テレビ番組を録画中に、 **BS**オレンジボタンを押す

❸ テレビ/ビデオボタンで、ビデオ 表示を点灯する

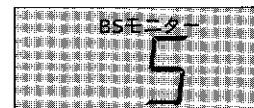
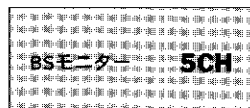
・ＡＶ接続の場合は、テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

ビデオ1

・**AV**接続の場合

ビデオ

・**AV**接続でない場合

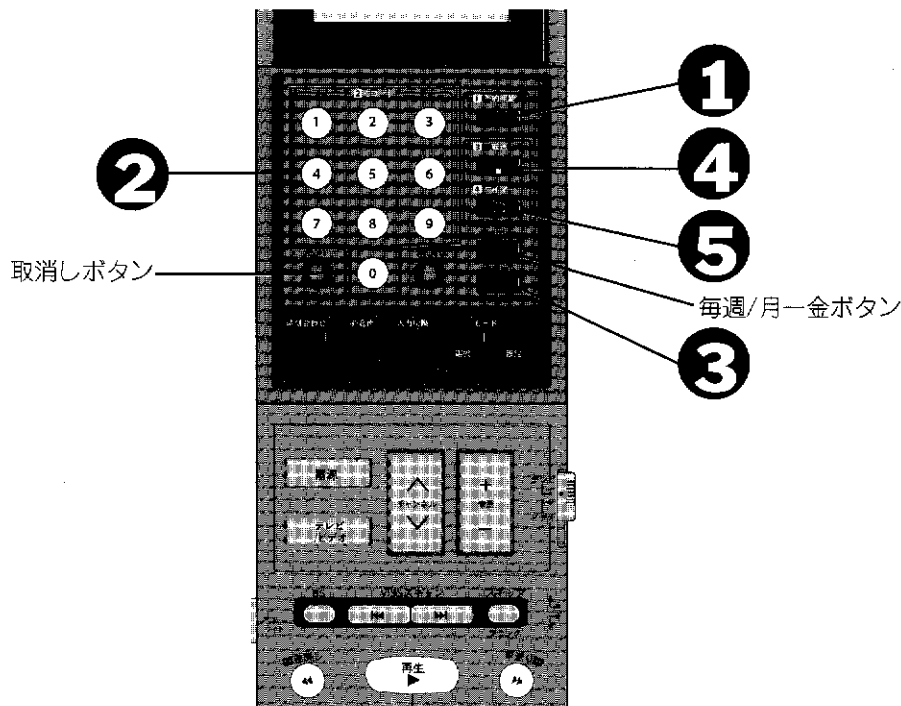
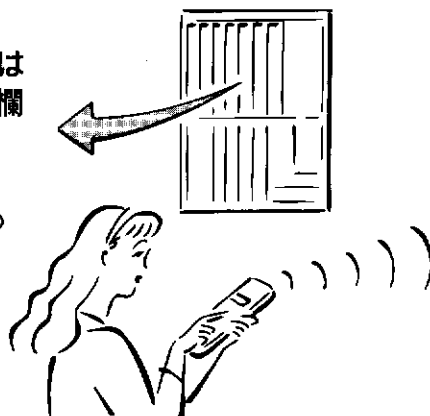
❹ ビデオのチャンネルボタンで 見たい**BS**番組にする

テレビが**BS**チューナー内蔵でない場合は、**BS**番組を録画しながら、別の**BS**番組を見ることはできません。

・ＶＨＦ／ＵＨＦ放送番組を、テレビ番組と説明しています。
・衛星放送番組を、ＢＳ番組と説明しています。BSモニター中は、主音声(日本語など)/副音声(外国語)の切り換えはできません。

タイマー予約〔リモコン〕

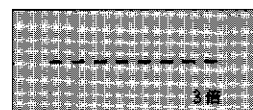
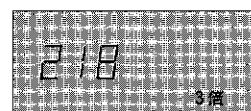
ビデオ・プラス

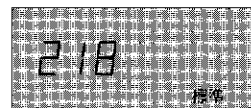
Gコードを使ってタイマー予約する

リモコンにGコードを入れ、本体へ転送します。本体では2週間先まで8つの番組が予約できます。

番組予約番号Gコードは
新聞・雑誌等のテレビ欄
に掲載されています。

上のテレビ欄の午後7時から7時30分の番組を標準モードで予約する場合

準備
❶つめのついたカセットを入れます。
❷本体の時刻合わせをします。（44ページ参照）
❸本体のガイドチャンネル設定をします。（38ページ参照）
❹リモコンの時刻合わせをします。（43ページ参照）
❺新聞や雑誌などを用意してください。

リモコン表示窓

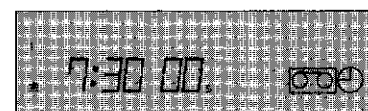
予約開始
予約開始ボタンを押す

Gコード（番組予約番号）の入力
数字ボタンを押す

・Gコードの入力をまちがえたときは、取消しボタンを押し、再度数字ボタンで入力してください。
取消しボタンを押すごとに、右から1つずつ取り消されます。

録画スピード
標準/3倍ボタンを押す

本体表示窓

予約内容を本体へ転送する
転送ボタンを押す
・本体が正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、予約内容を5秒間表示します。

・リモコンには1番組しか入力できません。
・2つ以上予約するときは、❷〜❹の操作をくり返します。

設定が終わったら

タイマースタンバイにする
タイマーボタンを押す
・⏲表示が点灯し、電源が切れます。
・⏲表示が点滅するときは 103 ページをご覧下さい。

これで準備OKです。

本体へ転送した予約内容を確認するには
65 ページをご覧ください。

野球などで番組の延長が予想されるときは
67 ページをご覧ください。

本体へ転送した予約内容を取り消すには
66 ページをご覧ください。

毎週または月〜金曜日の同じ時間の番組を予約するには
❷ の操作後、
毎週/月ー金ボタンを1回押す→毎週予約
毎週/月ー金ボタンを2回押す→月〜金曜日の予約
毎週/月ー金ボタンを3回押す→もとに戻ります

・リモコン表示窓に“Error”を表示したら
❶番組の開始時刻が過ぎている
❷現在から2週間より先の予約をしたとき
❸Gコードの入力が正しくないとき
このような場合は、数字ボタンで再度Gコードを入力してください。

・Gコードによる予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
・外部入力の予約はリモコンではできません。本体側で予約します。（次ページ参照）

本体でタイマー予約する

2週間先まで**8**つの番組が予約できます。

本体表示窓

入力切換ボタン

取消しボタン

❶❼ 予約開始

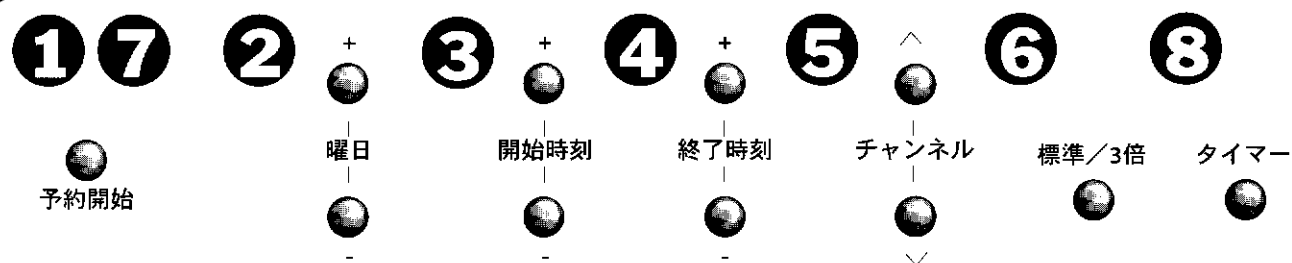
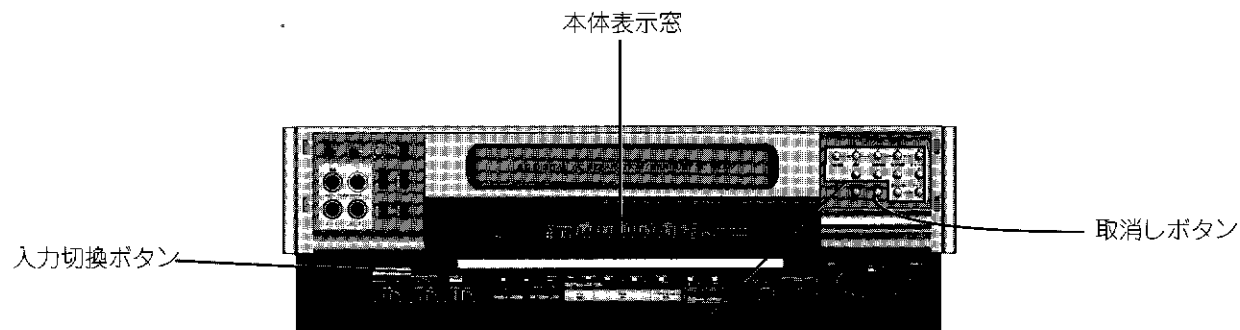
❷ 曜日 + / -

❸ 開始時刻 + / -

❹ 終了時刻 + / -

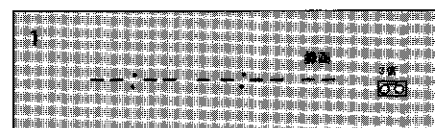
❺ チャンネル ∧ / ∨

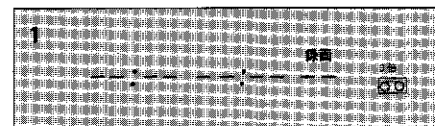
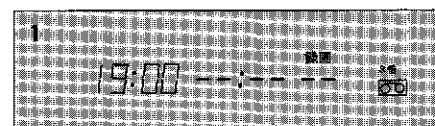
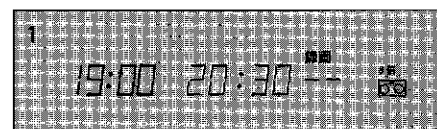
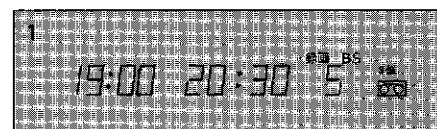
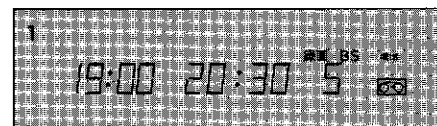
❻ 標準／3倍

❽ タイマー

（例）今日、午後**7**時から**8**時**30**分まで、**BS5**チャンネルを標準モードで予約します。

準備
❶ つめのついたカセットを入れます。
❷ 本体の時刻合わせをします。（44 ページ参照）

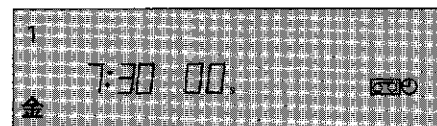
本体表示窓

❶ 予約開始
予約開始ボタンを押す

快速本日予約
本日または深夜予約
（開始時刻が現在時刻から２４時間以内）の場合❸へ進みます。

曜日
曜日ボタンを押す
・毎日または毎週予約をする場合、－ボタンを押し続けると早く呼び出せます。（66 ページ参照）

開始時刻
開始時刻ボタンを押す
・押し続けると、３０分刻みで変わります。
・１回づつ押すと、１分刻みで変わります。

終了時刻
終了時刻ボタンを押す
・押し続けると、３０分刻みで変わります。
・１回づつ押すと、１分刻みで変わります。

チャンネル
チャンネルボタンを押す
・ＢＳ番組を予約するときは、チャンネル▽ボタンを押します。
・外部入力を予約するときは、入力切換ボタンでＬ１（または Ｌ２、Ｌ３）にします。

録画スピード
標準/3倍ボタンを押す

・まちがえたときは、変更したい項目に対応するボタンを押して変更してください。

予約開始ボタンで表示を戻す
・さらに予約したいときは、❶〜❼の操作をくり返します。

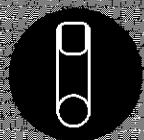
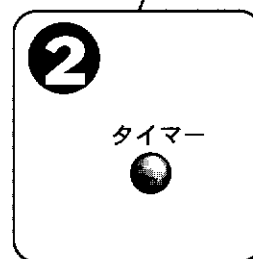
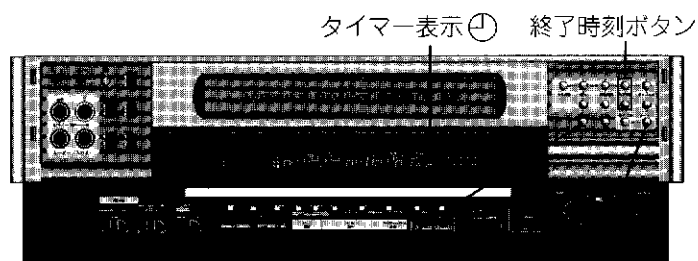
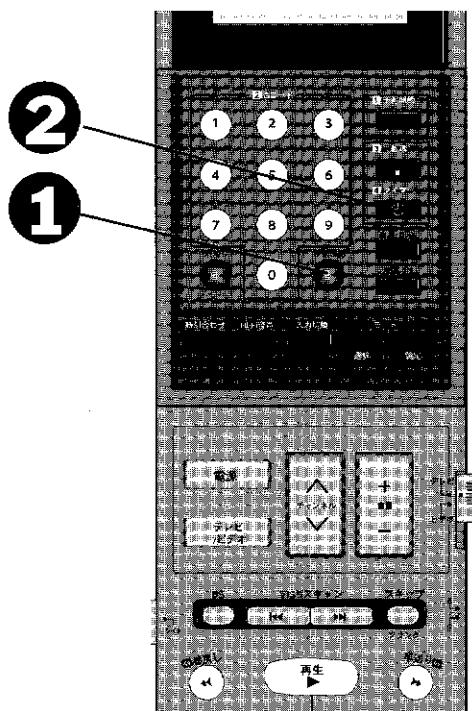
設定が終わったら

タイマースタンバイにする
タイマーボタンを押す
・表示が点灯し、電源が切れます。
・表示が点滅するときは 103 ページをご覧下さい。

これで準備OKです。

予約の確認/取消しをするには
66 68 ページをご覧ください。

予約操作で困ったときは
103 ページをご覧ください。

予約の確認をする

準備

❶本体表示窓に◷が表示しているときは、タイマーボタンで◷表示を消し、電源を入れます。
❷テレビの電源を入れ、ビデオチャンネル（**1**か**2**、ビデオ）にします。（20 ページ参照）

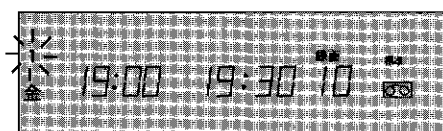
❶ 予約確認ボタンで予約内容を確認する

・本体表示窓の2番目以降を確認するときは、予約確認ボタンを押して予約番号を選びます。

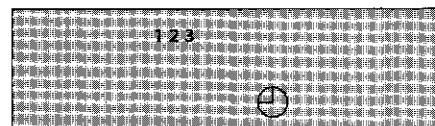
現在時刻を金曜日午前7：30とします。

予約の開始時刻が明朝5時までの録画時間の合計を出します。

標準モードに換算してトータル時間を表示します。

本体表示窓

本体表示窓ではトータル時間を表示しません。

❷ タイマーボタンを押す

・本体表示窓に◷表示が点灯し、タイマースタンバイになります。

・深夜0：00～朝4：59の間に予約確認リスト画面を表示すると、“本日”と表示されるものの合計録画時間を計算し、“本日トータル時間 ◯ 分”と表示します。

予約確認リスト画面ではこんなこともできます。

野球などで番組の延長が予想され、予約の終了時刻を延長したい

❶本体表示窓に ⏲ が表示しているときは、タイマーボタンで ⏲ 表示を消し、電源を入れます。

❷予約確認ボタンを押します。
・予約確認画面を表示します。

❸予約確認ボタンで、終了時刻を変更したい予約番号に点滅を合わせます。

❹本体の終了時刻ボタンで変更します。

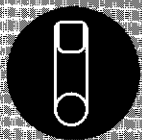
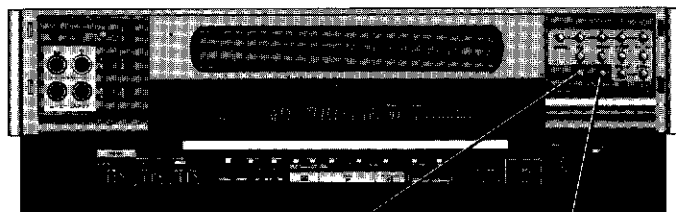
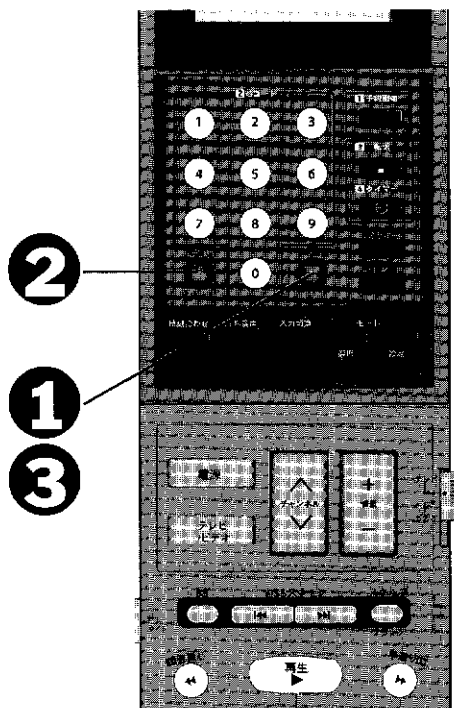
❺タイマーボタンでタイマースタンバイにします。
・本体表示窓に ⏲ が表示します。

明朝5時以降の予約もあり、すべての合計録画時間を知りたいときは

❶本体表示窓に ⏲ が表示しているときは、タイマーボタンで ⏲ 表示を消し、電源を入れます。

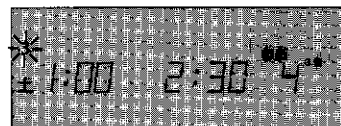
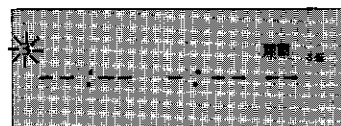
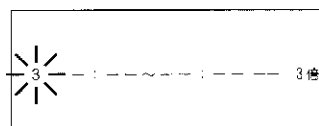
❷予約確認ボタンを押します。
・予約確認画面を表示します。

❸予約確認ボタンを押して、一番下の予約番号に点滅を合わせます。
・すべての合計録画時間を表示します。

❹タイマーボタンでタイマースタンバイにします。
・本体表示窓に ⏲ が表示します。

予約を取消す

・本体表示窓に ⏲ が表示しているときは、タイマーボタンで ⏲ 表示を消し、電源を入れます。

テレビ画面　本体表示窓

1 予約確認ボタンで予約内容を表示する

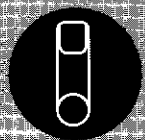
・予約確認ボタンで取り消したい予約番号を点滅させます。

2 取消しボタンで予約を取り消す

3 テレビ画面に戻すには予約確認リスト画面が消えるまで予約確認ボタンを押す

・タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンで本体表示窓に ⏲ を表示させてください。

・リモコンで予約を取り消すときは、リモコン表示窓に時計が表示されているときに行ってください。Gコード番号が表示されているときは、予約開始ボタンを押して、時計表示に戻してから取り消してください。

本体のタイマー予約で毎週、毎日予約をするには

タイマー予約〔本体〕（[illegible]ページ参照）の曜日設定で、曜日ボタンを押すごとに、
毎週、毎日予約などの設定ができます。
・毎日予約をするときは、曜日（ー）ボタンを押し続けると早く呼び出せます。

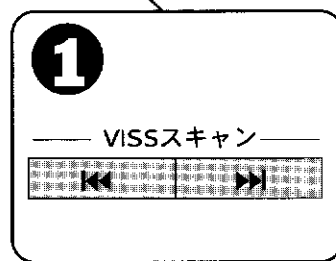
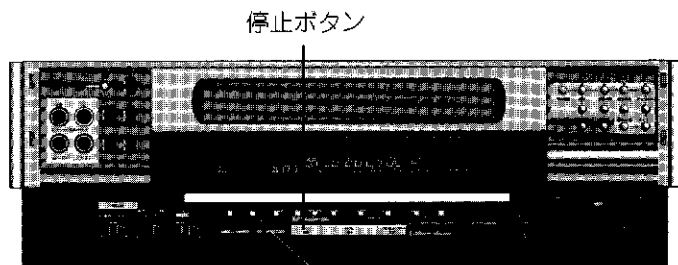
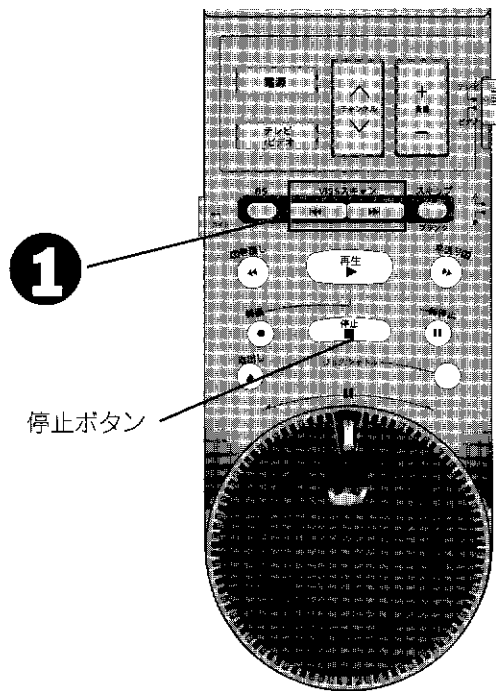
予約する曜日		曜日（ー）ボタンで設定します。
月～木曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	本体表示窓 月火　毎週 水木
月～金曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月火　毎週 水木金
月～土曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月火　毎週 水木金土
毎日予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火　毎週 水木金土
毎週予約 ・毎週金曜日の番組を録画したい	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	毎週 金
2週目予約 ・来週の水曜日の番組を録画したい	今日→ 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 ー1週目 7 8 9 10 11 12 13 ー2週目 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	2. 水

番組の頭出し

番組の頭出しをして再生する　VISSスキャン

VISS（VHS Index Search System）（インデックス サーチ システム）は、録画やタイマー録画の開始点に自動的にマークをつけ、それを目印に番組を探すシステムです。

停止ボタン

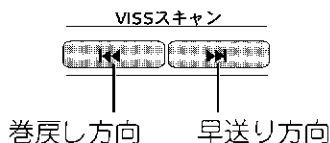
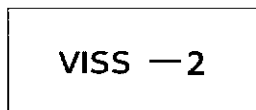
停止ボタン

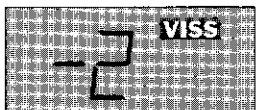
❶

VISSスキャン

❶ 停止または再生中に**VISSスキャンボタン**で番地を選ぶ

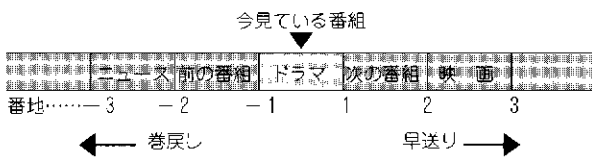
巻戻し方向　早送り方向

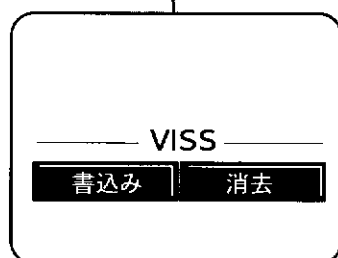
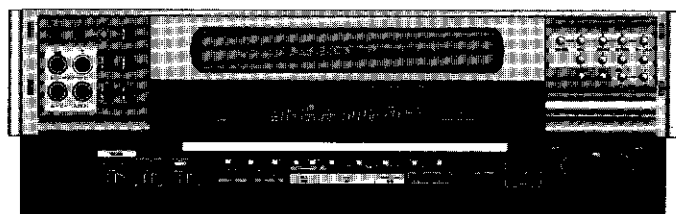
テレビ画面

VISS −2

・2つ前の番地を選ぶ

本体表示窓

・ＶＩＳＳスキャンボタンを押すと、希望の番地をさがし自動的に再生します。
・押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと、数字が減ります。
・最高９番地まで指定できます。

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

番地のかぞえかた

〔例〕・前の番組の頭出しをする場合
ＶＩＳＳスキャン⏮ボタンを２回押します。
・次の番組の頭出しをする場合
ＶＩＳＳスキャン⏭ボタンを１回押します。

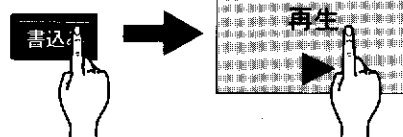
頭出し信号の書込み／消去

頭出し信号の書込み

録画およびタイマー録画の開始部分には自動的にインデックスが書き込まれます。

録画中または再生中に書き込むには

書込みボタンを押す

録画一時停止または静止画再生させてから書き込むには

書込みボタンを押してから再生ボタンを押す

こんなときは書き込めません

●誤消去防止の「つめ」が折れているカセット
●何も記録されていないところ（未録画部分）

頭出し信号の消去

❶ 取り消したいインデックスの数秒前からテープを再生または静止画再生にする

❷ 消去ボタンを押す
自動的にテープを送り、書き込まれているインデックスを消去します。

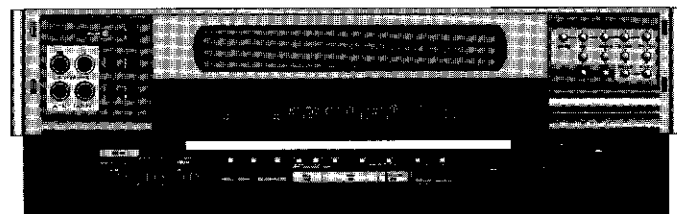
❸ VISS 表示が消えると取り消し終了
テープはそのまま再生を続けます。

・記録済みテープにインデックスを書き込むときは、再生状態で行ってください。録画状態では前の画像、音声が消されます。
・となりのインデックスとは多少離して書込んでください。
近すぎると誤動作することがあります。

・VISS 表示が点灯、点滅しているときは、他のボタン操作はしないでください。
・インデックスのそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、インデックスの書込みや消去をしたあとで画像が乱れることがあります。

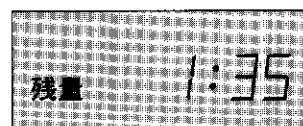
テープ残量の確認

テープの残り時間を調べる　テープ残量

録画または再生中、テープの残り時間を調べたいときに便利です。

テレビ画面　本体表示窓

残量ボタンを押す

・表示している録画スピード（標準／３倍）で計算します。
・表示を戻すときは、残量ボタンを押します。ボタンを押すごとに
テープ残量表示→時計表示→カウンター表示

3倍
残量　1：35

■カセットを入れると、自動的に残量計算を始めます。

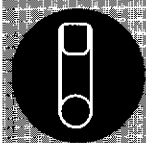
テープの残り時間を早く知りたいときは

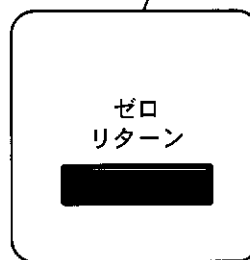
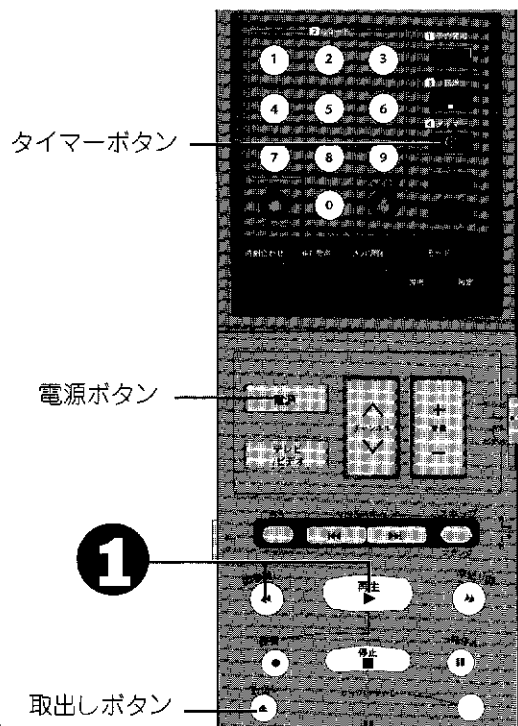
カセットを入れる前に、モード選択画面のテープ選択の位置を、使用するテープの長さに合わせてください。
（操作方法は [illegible] ページをご覧ください）

～Ｔ１２０……１２０分以下のテープを使用するとき
Ｔ１４０～……１４０分以上のテープを使用するとき

・通常はオートにしてください。

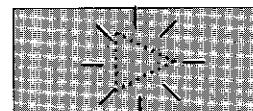
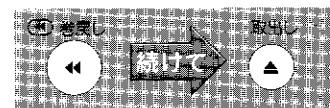
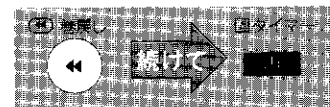
テレビ画面

・残量時間は目安です。
・使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。
・残量計算中は、"－－：－－" 表示または残量表示が点滅することがあります。

テープの始めから自動的に再生する　ネクストファンクションメモリー

タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときなどに便利です。

1 **巻戻しボタン**を押したあとすぐに、**再生ボタン**を押す

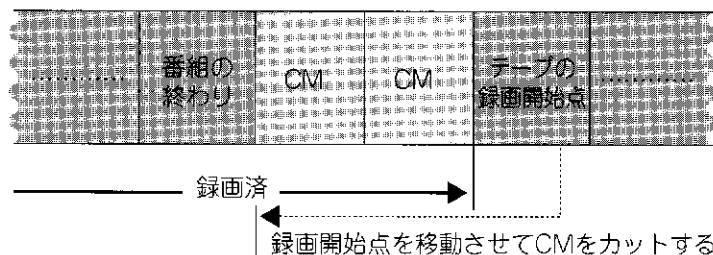
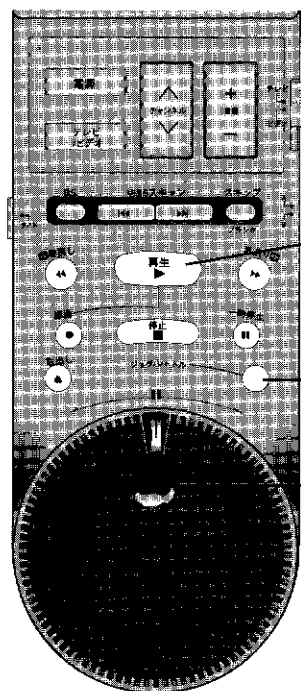
・テープの始めから自動的に再生します。

テレビ画面

本体表示窓

テープの始めで自動的にカセットを出すには	巻戻しボタンを押したあとに取出しボタンを押します。	
テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには	巻戻しボタンを押したあとにタイマーボタンを押します。	
テープの始めで自動的に電源を切るには	巻戻しボタンを押したあとに電源ボタンを押します。	

・カウンター０Ｈ００Ｍ００Ｓの位置で上の動作をさせたいときは、巻戻しボタンのかわりに本体のゼロリターンボタンを押します。

不要な場面を入れずに録画する

録画中に不要な部分をカットし、続けて録画する　リテイク機能

録画一時停止中に、録画してしまった**CM**などをカットし、番組の終わりから続きをピタリ録画できます。

・CM中に録画一時停止にします。

❶ **ジョグ/シャトルボタン**を押す

・ランプが点灯します。
・本体のジョグダイヤル/シャトルリングで操作するときは ❷ へ進みます。

❷ 録画一時停止状態から、**ジョグダイヤル**で番組の終わりをさがす

・シャトルリングも使用できます。

❸ 終わりが見つかったら、手を離す

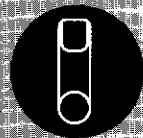
・静止画再生の後、録画一時停止状態になります。

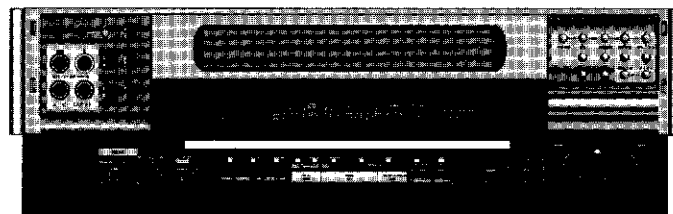
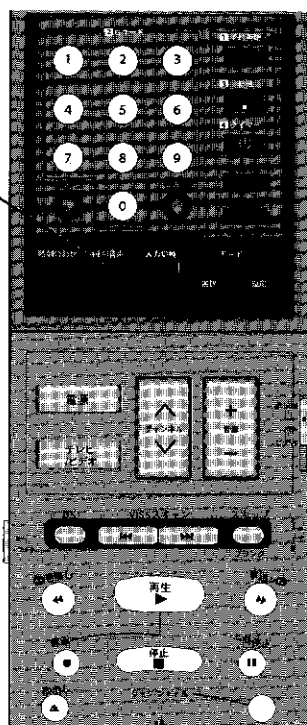
録画したい場面で**再生ボタン**を押す

・録画を開始します。

巻戻し(または早送り)ボタンでも操作できます。

❶録画一時停止状態から、巻戻し(または早送り)ボタンを押し続けると、正逆1倍速でテープを再生します。
❷頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
❸録画したい場面で再生ボタンを押します。
録画を開始します。

・リテイク中にノイズが出ることがあります。

聞きたい音声を選ぶ

Hi - Fi音声
ボタン

音声出力切換
・Hi-Fi
・ノーマル
・ミックス

Hi-Fi音声
・ステレオ
・L
・R

日本語と外国語が同時に聞こえたら

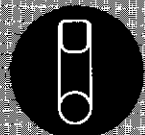
Hi-Fi音声ボタンを押すごとに、下のように表示が変わります。

	主音声＋副音声	主音声（日本語など）	副音声（外国語）
テレビ画面	左　右 →	左 →	右
本体表示窓	Hi-Fi L R →	Hi-Fi L →	Hi-Fi R

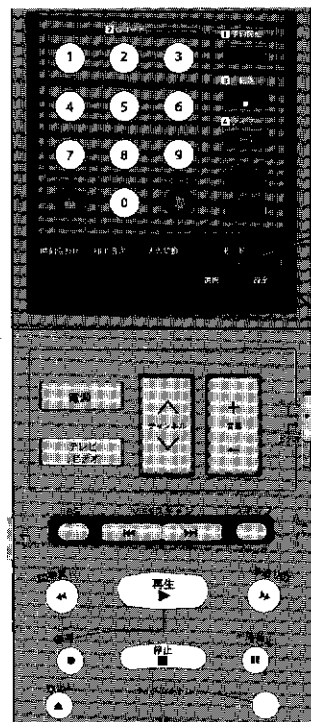
インサート編集やアフレコ編集したテープを聞く

音声出力切換ボタンを押すごとに、下のように表示が変わります。

	Hi-Fi音声	ノーマル音声	ミックス音声
テレビ画面	左　右 →	ノーマル →	ミックス
本体表示窓	Hi-Fi L R →	ノーマル →	Hi-Fi L ノーマル R

・リモコンでHi-Fi/ノーマル/ミックス音声を切り換えるときは、テレビ画面にモード選択画面を表示して聞きたい音声を選びます。
（ 65 ページ参照）
・Hi-Fi録音されていないテープはノーマル音声を再生します。

録音音声の調節

二ヶ国語放送（日本語と外国語）を録音する

ご購入時、二ヶ国語放送を録音すると、主音声（日本語など）だけを録音します。外国語放送を録音したい方は、録音音声をあらかじめ選んでください。テレビ画面に出る表示項目を見ながら設定します。

テレビ画面

❶ モード選択ボタンで、モード選択画面を表示する

＊ モード選択 ＊

☞オンスクリーン	[オート]	切	
ブルーバック	[入]	切	
オーディオ	[HIFI]	ノーマル	ミックス
S-VHS記録	[オート]	切	
二ヶ国語音声録音	[主]	主＊副	
テープ選択	[オート]	～T120	T140～

❷ モード選択ボタンで、二ヶ国語音声録音を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、下の項目へ進みます。

＊ モード選択 ＊

オンスクリーン	[オート]	切	
ブルーバック	[入]	切	
オーディオ	[HIFI]	ノーマル	ミックス
S-VHS記録	[オート]	切	
☞二ヶ国語音声録音	[主]	主＊副	
テープ選択	[オート]	～T120	T140～

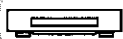
❸ モード設定ボタンで、主＊副にする

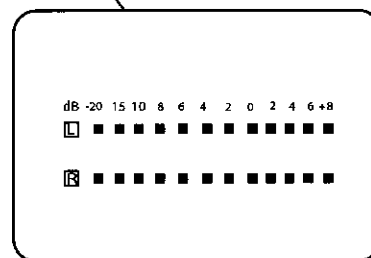
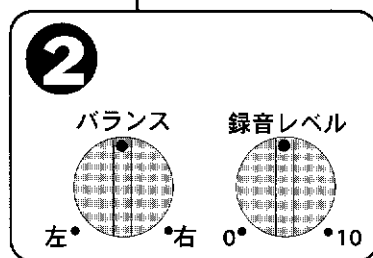
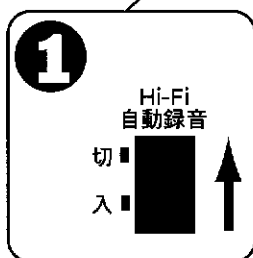
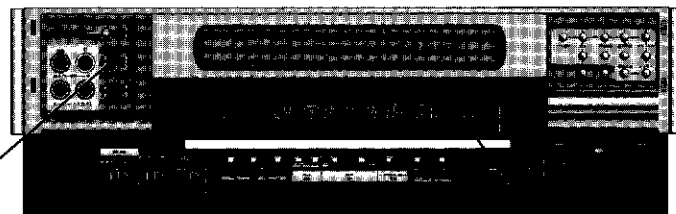
・日本語と外国語を録音します。

＊ モード選択 ＊

オンスクリーン	[オート]	切	
ブルーバック	[入]	切	
オーディオ	[HIFI]	ノーマル	ミックス
S-VHS記録	[オート]	切	
☞二ヶ国語音声録音	主	[主＊副]	
テープ選択	[オート]	～T120	T140～

■テレビ画面に戻すには、モード選択画面が消えるまでモード選択ボタンを押します。

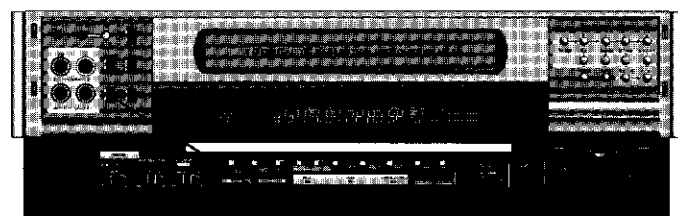
・日本語と外国語の両方を録音したテープを聞くときには、Hi－Fi音声ボタンで聞きたい音声を選びます。
録画中に切り換えても大丈夫です。
・主＊副の位置で二ヶ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには主音声が録音されます。
・停電などがあり、時計表示が０：００で点滅しているときは、主のポジションに戻りますので、主＊副にしたい方は、もう一度設定し直してください。

Hi-Fi録音レベルを手動調節する

大きな音から小さな音までのレベル差（ダイナミックレンジ）が大きい音声は、手動調節したほうが迫力のある音で録音できます。クラシックなどでシーンと静かな演奏からいきなり大きな演奏曲に変わったり、逆にシンバルやドラムの大きな音から静かな演奏にと、変化の激しい音声のときに効果的です。
通常は、**Hi-Fi**自動録音スイッチを入にしてください。自動的に適正なレベルに調節します。

Hi-Fi自動録音スイッチを切にする

録音レベルつまみとバランスつまみで調節する

・レベルメーターを見ながら、最大録音レベルのときに赤いランプが点灯するように調節します。

・手動調節するとき、録音レベルが低過ぎるとノイズが多くなり、高過ぎるとひずみが多くなりますのでご注意ください。

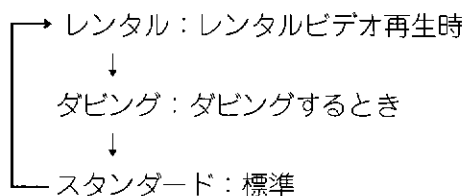
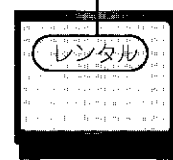
再生画面の調節

映像ポジション

3倍専用
ヘッド
切
入

テープに合わせた画質調節　映像ポジション

映像ポジションボタンで画質を選びます。

・ボタンを押すごとに、現在の状態をテレビ画面に表示します。

→ レンタル：レンタルビデオ再生時
↓
ダビング：ダビングするとき
↓
スタンダード：標準

映像ポジション表示

・テレビ画面に映像ポジション表示がでないときは、モード選択画面のオンスクリーンをオートにしてください。
（[illegible]ページ参照）

3倍モード録画テープの画質を調節する　3倍専用ヘッド

3倍専用ヘッドスイッチで合わせます。

入：3倍モードが高画質で楽しめます。通常はこの位置で使用してください。
切：3倍で録画したテープを再生中、ざらつきがある場合や画面の上下にノイズが出るときは**切**にしてください。

・3倍モード録画時は、3倍専用ヘッドで録画します。

・S-VHSの3倍モードで録画したテープを再生中、ノイズが多いときや少しソフトな映像にしたいときは、3倍専用ヘッドスイッチを**切**にしてください。

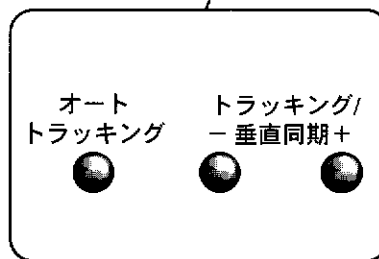
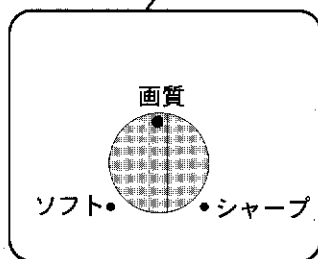
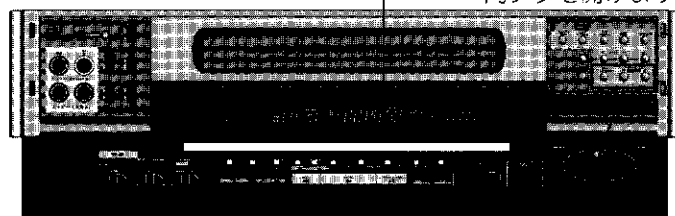
・3倍モード専用ヘッドで再生中、いろいろな速さに変えるときや再生に戻すときに、ノイズやゆれが出ることがあります。

オートトラッキング(AT)表示

内フタを開けます。

画質

ソフト・ ・シャープ

オート
トラッキング

トラッキング/
－ 垂直同期 ＋

ノイズで見づらいとき トラッキング調節

本機は、オートトラッキング機能付きです。
他のビデオで録画したテープを再生すると出る
ノイズを、自動的に消します。

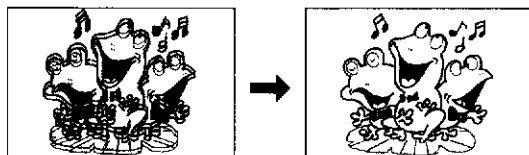
・調節中は、ＡＴ表示が点滅します。
・調節されないとき……
❶ オートトラッキングボタンを押し、ＡＴ表示を消します。
❷ トラッキング（－）または（＋）ボタンで調節します。

（トラッキングが合っていない場合）

・静止画再生またはスロー再生中にノイズがでるときは、一時停止ボタンを２秒以上押してスロー再生にし、トラッキング（－）または（＋）ボタンで調節します。

・録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調整できないことがあります。

静止画再生中に上下にゆれるとき 垂直同期調節

ゆれが止まるまで、垂直同期ボタンを押します。

・テレビの種類によっては、ゆれを止めることができない場合があります。

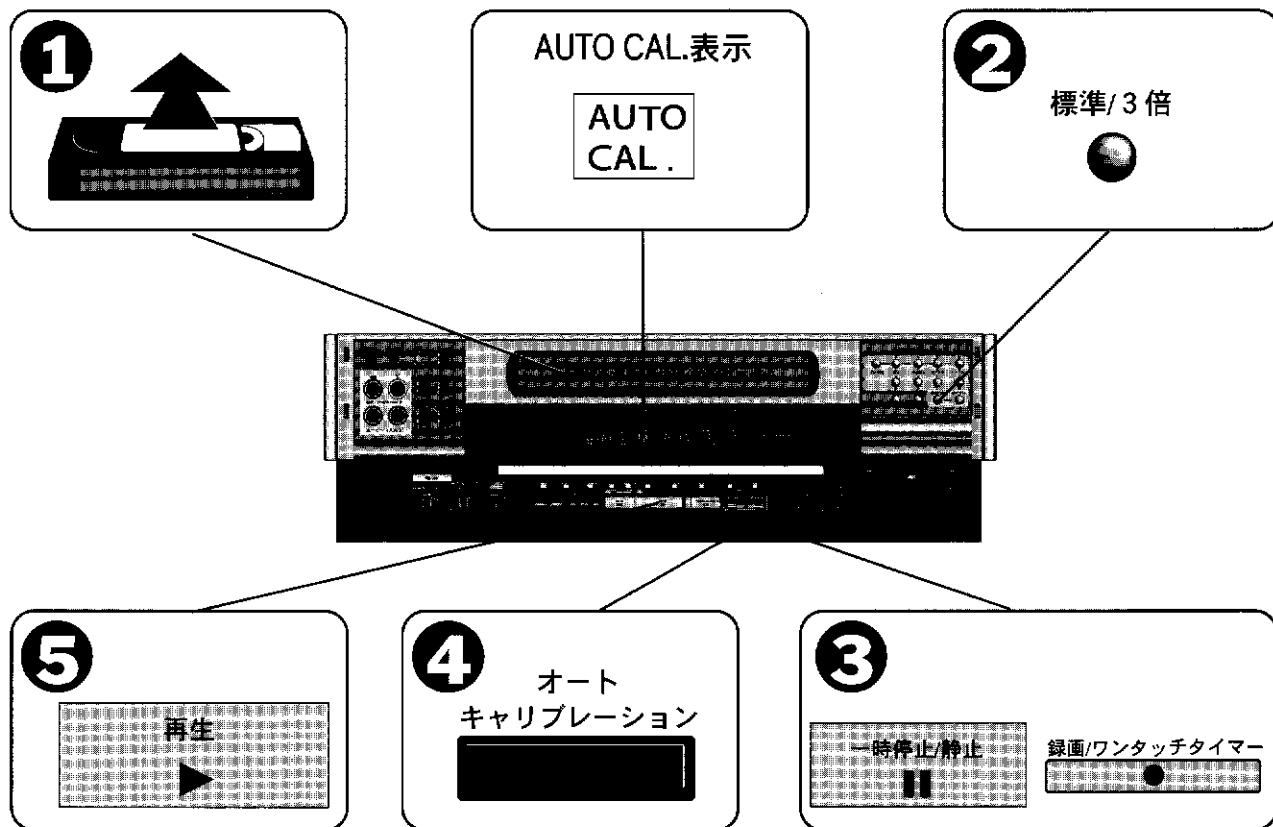
お好みの画質に合わせる

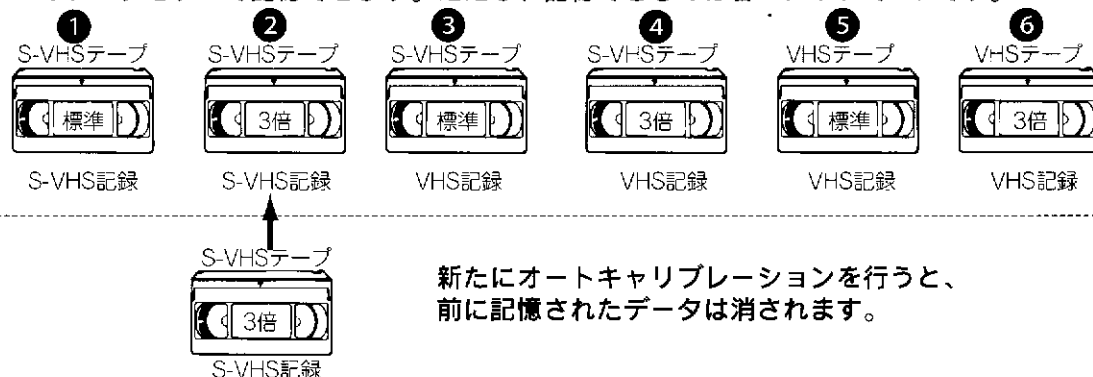
画質調整つまみでお好みの画質に合わせてください。

ソフト……ノイズの目立たないやわらかな画像
シャープ…鮮明な画像
・通常は中央の位置にしてください。

テープの特性に合わせて録画する

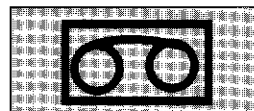
オートキャリブレーション

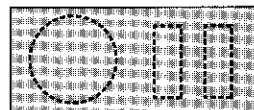
オートキャリブレーションとは
使用するテープの特性を調べて、記録レベルを最適状態に設定し録画します。
設定されたデータは本体に記憶され、ボタンひとつですぐに呼び出せます。
同じテープをよく使用するときに便利です。

■テープの録画方式と録画スピードの組み合わせには下の**6**通りがあります。この6通りのデータをすべて記憶できます。ただし、記憶できるのは各々について**1**つです。

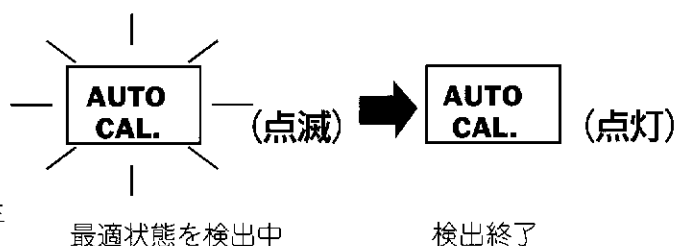
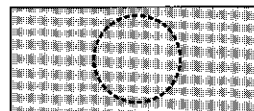
新たにオートキャリブレーションを行うと、
前に記憶されたデータは消されます。

・メーカーや、同じメーカーでもテープの種類が異なる場合は、再度オートキャリブレーションを行ってください。

・使用するテープがすでにオートキャリブレーションを行ったかどうか定かでない場合は、再度オートキャリブレーションを行ってください。

本体表示窓

テープを入れる
・つめがあることを確認します。

標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

AUTO CAL.表示が点滅するまでオートキャリブレーションボタンを押し続ける
・自動的にテープの特性を調べます。
（25秒ぐらいかかります）
動作内容：録画一時停止→録画→巻戻し→再生→巻戻し→録画一時停止

最適状態を検出中　　検出終了

録画するときは、再生ボタンを押す
・録画を始めます。

■1つのテープに「標準」、「3倍」両方のスピードで録画するときは、❷～❹の操作をくり返し、「標準」、「3倍」についてそれぞれオートキャリブレーションを行った後、録画やタイマー録画を行います。

■すでにオートキャリブレーションしたテープを使用するときは

❶ オートキャリブレーションしたテープを入れます。
❷ オートキャリブレーションボタンを1回押します。
・AUTO CAL.表示が点灯します。
❸ 録画をします。

■タイマー録画をするときは

❶ オートキャリブレーションしたテープを入れます。
❷ オートキャリブレーションボタンを1回押します。
AUTO CAL.表示が点灯します。
❸ タイマー予約を行います。
62 ～ 65 ページをご覧ください。

・オートキャリブレーションを行う場合は、テープの未録画部分または、消してもよい部分で行うことをおすすめします。
・つなぎ録りする場合は、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。
・AUTO CAL.表示が点滅中は、チャンネルの切り換えができません。
・テープの傷がある部分では、オートキャリブレーションが正しく動作しない場合があります。

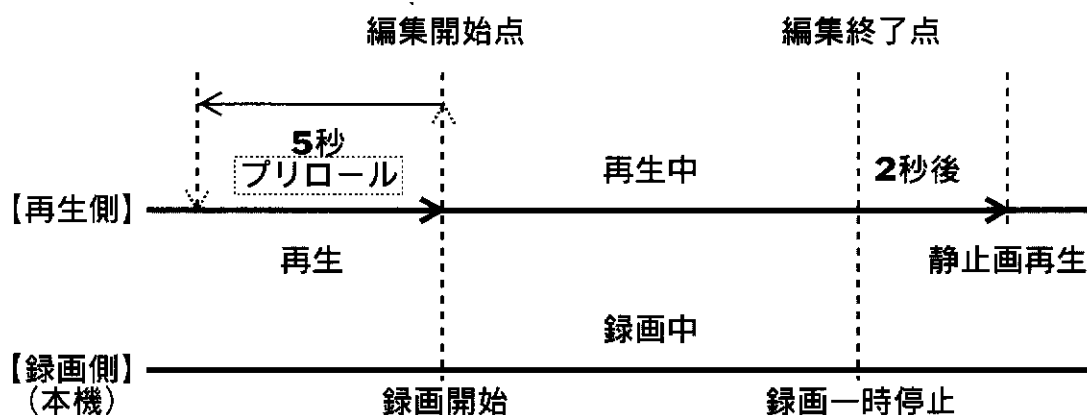
・テープを取り出すと、AUTO CAL.表示が消え、オートキャリブレーションモードは解除されます。

編集の種類

本機では次のような編集ができます。

編集名	こんなときに	本機をどちらに使用するか	参照ページ
ダビング	・同じ内容のテープをもう一本作りたいとき ・S-VHS方式で録画したテープをVHS方式のテープに録画し直したいとき	再生側/録画側どちらでもよい	83～85
マルチダビング	・不要な場面をカットしたり、順序を入れ換えて別のビデオにダビングしたいとき	再生側	86
プリロール編集	・編集精度の高いダビングをしたいとき	録画側	89
インサート編集	・タイトルを入れたいとき ・ビデオムービーを使って別の映像を入れたいとき ・編集精度の高いインサート編集をしたいときは 92 ページのプリロールインサート編集を行ってください。	録画側	90
アフレコ編集	・BGMを入れたいとき	録画側	93

■ プリロール編集
ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。
編集点の精度を高めるため、再生側テープの編集開始点より約5秒前まで戻り、安定した走行をさせます。

●プリロール編集時のテープの動き

・マルチダビングもプリロール編集と同じように、再生側（本機）のみ約5秒間のプリロールを行います。

テープのコピー〔ダビング〕

他のビデオで再生、本機で録画する場合

ビデオムービーからダビングするときは、前面入力端子をお使いください。
前面および背面入力端子ともS入力優先です。

➜ 信号の流れ

再生側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

再生側

S映像出力端子へ　S1入力端子へ　録画側（本機）

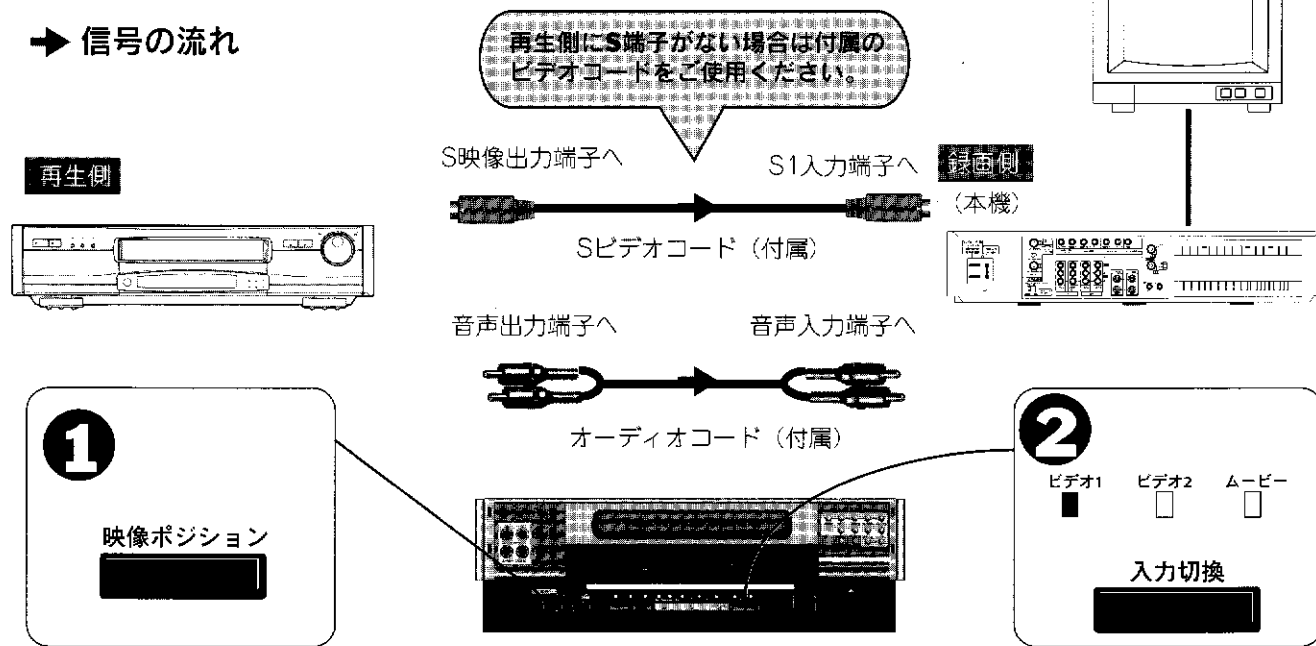
Sビデオコード（付属）

音声出力端子へ　音声入力端子へ

オーディオコード（付属）

❶ 映像ポジション

❷ ビデオ1　ビデオ2　ムービー　入力切換

本機

❶ **映像ポジションボタン**でダビングポジションにする
（78 ページ参照）

❷ **入力切換ボタン**でビデオ1ランプを点灯させる
・チャンネル表示はL 1（外部入力）になります。

❸ **一時停止ボタン**を押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

再生側

❹ ダビングしたい部分の少し前から再生する

本機

❺ ダビングしたい場面で**再生ボタン**を押す
・録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。
■終了するときは停止ボタンを押します。
・本機→再生側の順に停止してください。
■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

・ダビング終了後は、映像ポジションボタンでスタンダードポジションに戻してください。
・本機背面のビデオ2切換スイッチをBSデコーダ入力にすると、ビデオ2の入力端子はBSデコーダ入力専用となり、前面のビデオ2のランプは点灯しません。

・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で再生、他のビデオで録画する場合

➡ 信号の流れ

録画側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

再生側
（本機）

S1出力端子へ　　S映像入力端子へ

Sビデオコード（付属）

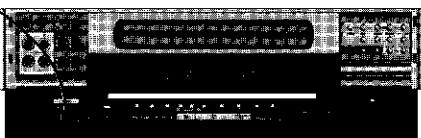
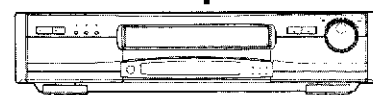
音声出力端子へ　　音声入力端子へ

オーディオコード（付属）

録画側

❶

映像ポジション

本機

❶ **映像ポジションボタン**でダビングポジションにする
（[illegible] ページ参照）

❷ モード選択画面のオンスクリーンを**切**にする
（[illegible] ページ参照）

録画側

❸ ❶外部入力にする
❷録画一時停止にする

本機

❹ ダビングしたい部分の少し前から再生する

録画側

❺ ダビングしたい場面で録画する

■終了するときは、停止ボタンを押します。

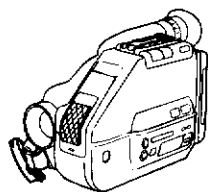
・録画側→本機の順に停止してください。

・ダビング終了後は、映像ポジションボタンでスタンダードポジションに戻してください。
また、モード選択画面のオンスクリーンをオートに戻してください。

ビデオムービーで再生、本機で録画する場合　マスターエディットコントロール

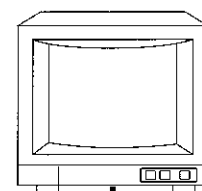
・マスターエディットコントロール機能とは
ダビング時、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。
・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。

➡ 信号の流れ

再生側
ビクタービデオムービー

ビデオムービーにS出力端子がある場合に接続します。

S出力端子へ　S1入力端子へ
Sビデオコード（付属）

録画側
（本機）

AV出力端子へ　映像/音声（左）入力端子へ
AV出力コード（ビデオムービー付属）
リモートポーズ端子へ

S入力優先です。

❶ 映像ポジション

❷ ビデオ1　ビデオ2　ムービー
入力切換

本機

❶ 映像ポジションボタンでダビングポジションにする
（78 ページ参照）

❷ 入力切換ボタンでムービーランプを点灯させる
・チャンネル表示は**L 3**（外部入力）になります。

❸ 一時停止ボタンを押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

❹ ダビングしたい場面で静止画再生にする

❺ ビデオムービーのエディットボタン**を押す**
・自動的に録画を始めます。

■**録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。**
・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

■**終了するときは、ビデオムービーの停止ボタンを押します。**
・本機は録画一時停止になります。

■**テレビ番組のチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。**

・ダビング終了後は、映像ポジションボタンでスタンダードポジションに戻してください。

・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

マルチダビング

不要な場面をカットしたり、順序を入れ替えて別のビデオにダビングするときに便利です。
最大8プログラムまで設定できます。
本機は再生側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

録画側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

➜ 信号の流れ

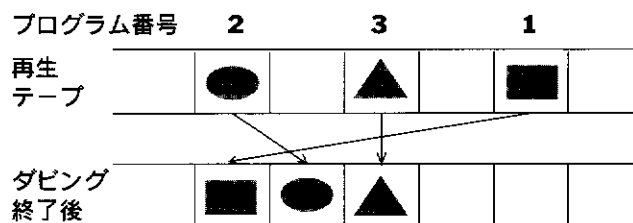
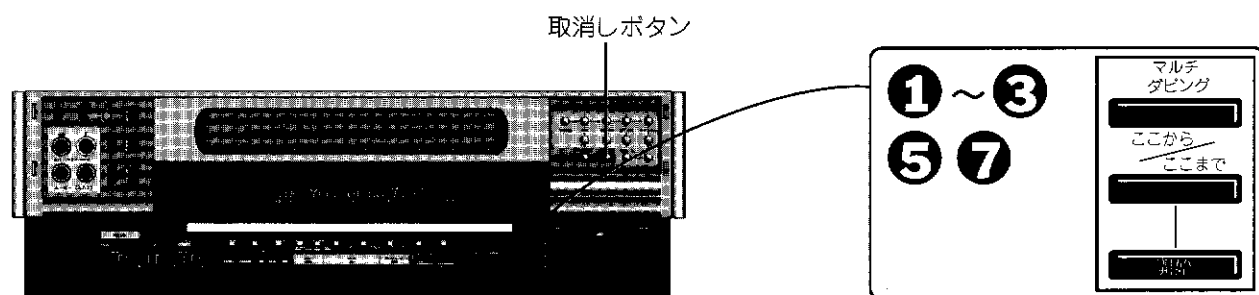
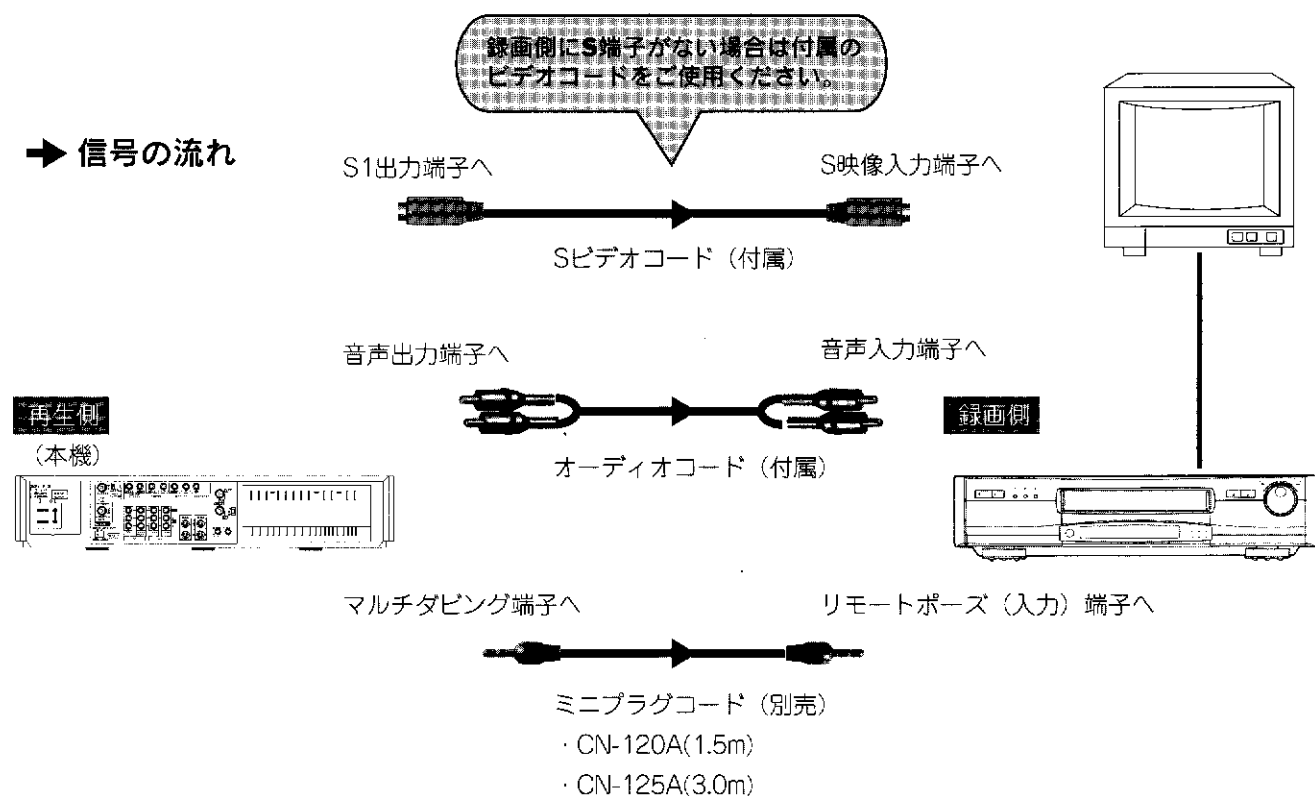
S1出力端子へ → S映像入力端子へ
Sビデオコード（付属）

音声出力端子へ → 音声入力端子へ
オーディオコード（付属）

再生側（本機）
録画側

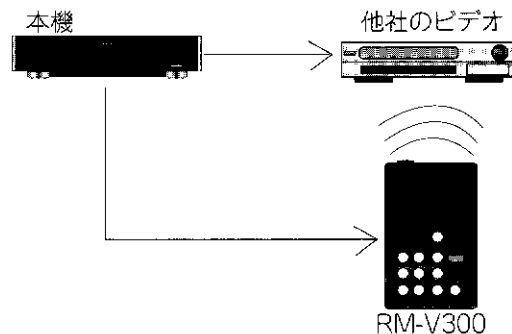
マルチダビング端子へ → リモートポーズ（入力）端子へ
ミニプラグコード（別売）
・CN-120A(1.5m)
・CN-125A(3.0m)

取消しボタン

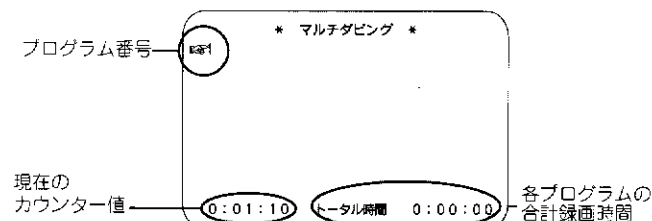
❶～❸
❺ ❼

マルチダビング
ここから／ここまで
取消

他社のビデオとマルチダビングする場合

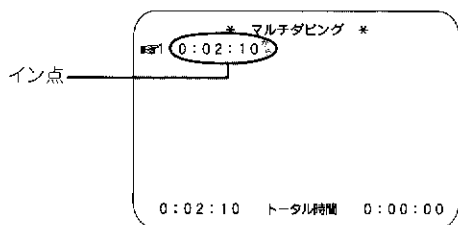
別売のマルチダビングリモコン**RM-V300**を使ってマルチダビングができます。
詳しくは、マルチダビングリモコンの取扱説明書をご覧ください。

本機
他社のビデオ
RM-V300

本機

マルチダビングボタンを押す

・マルチダビング画面を表示します。

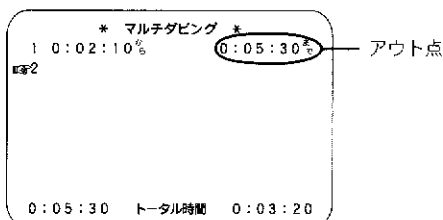
テレビ画面

編集開始点（イン点）を探す

テープを再生し、編集開始点でここから／ここまでボタンを押す

編集終了点（アウト点）を探す

編集終了点でここから／ここまでボタンを押す

・❷～❸のくり返しで、最大８つまで登録できます。

❶外部入力にする ❷録画一時停止にする

本機

編集開始

開始ボタンを押す

・プログラム番号順に編集が始まり、最後のアウト点まで自動的にダビングします。

・アウト点から次のイン点までは、早送り／巻戻し再生（サーチ）で探します。

・編集が終わると

本　機　→　停止状態

録画側　→　録画一時停止状態

編集終了

録画側ビデオを停止する

本機

❼ マルチダビングボタンを押す

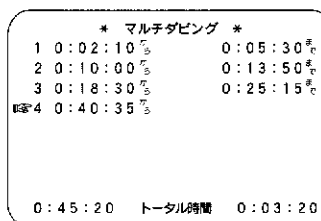
・マルチダビング画面が消えます。

（これでマルチダビング終了です）

イン点、アウト点を取消しまたは変更したいときは ❸の操作終了後

（1）取消しボタンを押します。

　・最後に登録したカウンター値が消えます。
　取消しボタンを押すごとに、最後から順に消えます。
　途中のカウンター値の取消しまたは変更はできません。

（2）変更するときは、❷～❸の操作を行ってください。

・アウト点のカウンター値は、イン点より大きい値でのみ設定できます。
・イン点、アウト点を設定するときに、早送り、巻戻し、VISSスキャンなどで探すと、設定した場面より多少ずれることがあります。なるべく、早送り／巻戻し再生（サーチ）で探すことをおすすめします。
・アウト点が設定されていないプログラムは実行しません。
・イン点からアウト点の間は、１秒以上離して設定することをおすすめします。
・イン点、アウト点のカウンター表示には、１秒以下の数値を表示しないため、各プログラムのカウンター表示の合計とトータル時間が合わないことがあります。
・アウト点から次のイン点までの早送り／巻戻し再生（サーチ）時間が５分以上かかると、録画側の録画一時停止が解除するため編集できません。
・テープの始めや終わりの部分では、マルチダビングができないことがあります。

プリロール編集

ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続し、編集精度の高いコピー〔ダビング〕を行います。
プリロール編集とは、ダビング時、自動的に再生側ビデオを編集点の数秒手前（約5秒）まで巻戻してから再生を開始させ、編集点で録画側ビデオの録画を開始させる機能です。
本機ともう一台のビデオが安定した編集を始めますので、つなぎ目のきれいなテープに仕上がります。
本機は録画側として使用します。

再生側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

→ 信号の流れ

S映像出力端子へ　S1入力端子へ

Sビデオコード（付属）

音声出力端子へ　音声入力端子へ

再生側　録画側（本機）

オーディオコード（付属）

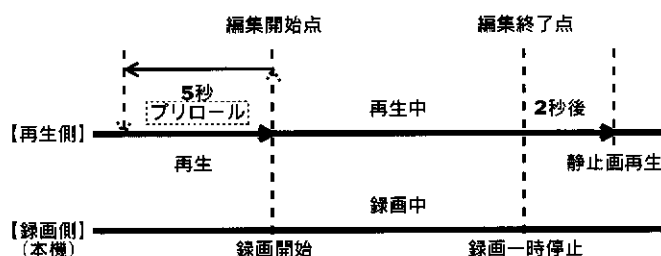
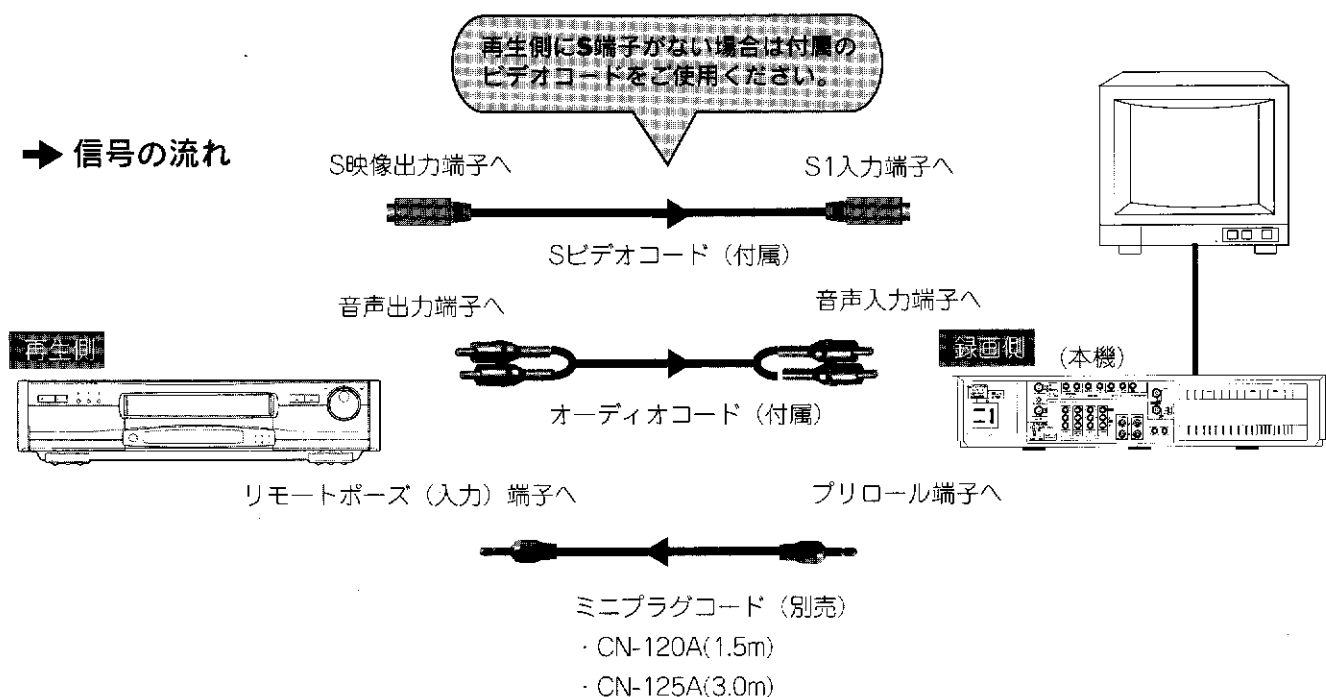
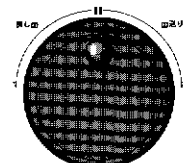
リモートポーズ（入力）端子へ　プリロール端子へ

ミニプラグコード（別売）
・CN-120A(1.5m)
・CN-125A(3.0m)

❶ 入力切換

❹ 録画/ワンタッチタイマー

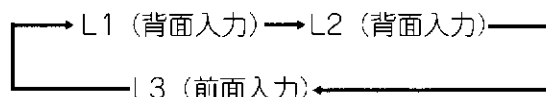
❺❻ プリロール編集
スタート
一時停止

❸

準備　**本　機：つめのついたカセットを入れます。**
再生側：編集したいカセットを入れます。

本機

❶ 入力切換ボタンで、接続した端子を選ぶ
・入力切換ボタンを押すごとに
→L1（背面入力）→L2（背面入力）→L3（前面入力）→
・BS デコーダ接続時、L2 は表示しません。

❷ 編集開始点を探す
テープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

本機

❸ 録画開始点を探す
テープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどで録画開始点を探し、静止画再生状態にする

❹ 録画ボタンを押す
・録画一時停止状態になります。

❺ 編集開始
プリロール編集のスタートボタンを押す
再生側ビデオ：約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。
録画側ビデオ：編集開始点で録画を始めます。
（本機）

❻ 編集終了
編集終了点で、プリロール編集の一時停止ボタンを押す
再生側ビデオ：押した位置から2秒後に静止画再生状態になります。
録画側ビデオ：録画一時停止状態になります。
（本機）

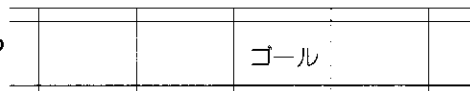
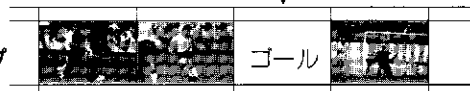
❼ さらに続けるときは
(1)再生側ビデオで編集開始点を探し、静止画再生状態にする
(2)❺ ❻ の操作をする

❽ プリロール編集をやめるときは
本機→再生側の順に停止ボタンを押す

❹の操作で、録画側ビデオの録画開始点を正確に合わせるときは
録画一時停止中にジョグダイヤル／シャトルリングを回して録画開始点を探し、録画を始めたい位置で手を離すと自動的に録画一時停止状態に戻ります。

・マルチダビングとは違い、2つ以上のプログラムを設定して編集することはできません。

インサート編集

録画済みテープの一部を他の映像とHi-Fi音声に入れ換えることをインサート編集といいます。ノーマル音声には、編集前の音声が残ります。本機は録画側として使用します。

●映像入力端子を使用する場合、S端子にはコードを接続しないでください。

ビデオムービーからインサートする

ビデオムービーにS端子がある場合に接続します。

再生側
ビデオムービー

Sビデオコード（付属）
S出力端子へ
S1入力端子へ

録画側
（本機）

AV出力端子へ
映像入力端子へ
音声（左）入力端子へ
AV出力コード
（ムービー付属）

入力切換ボタン
インサートボタン

➡ 信号の流れ

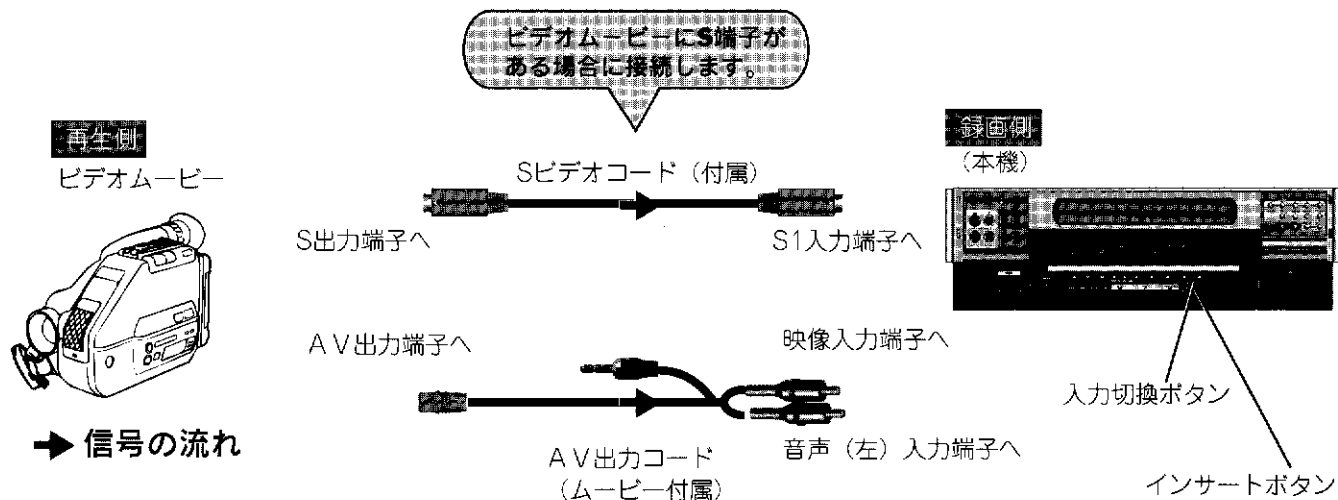
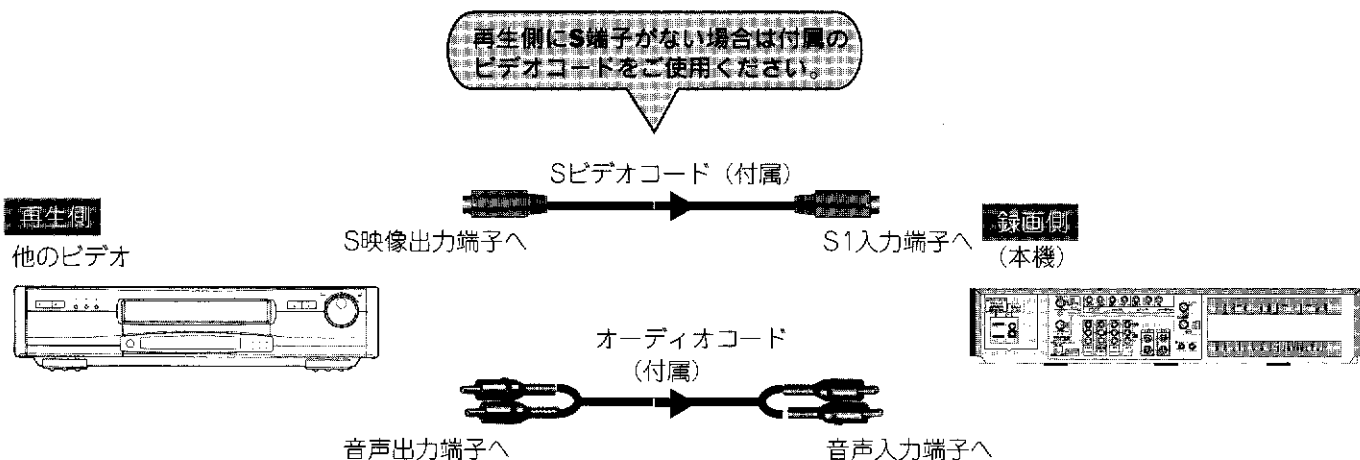
他のビデオからインサートする

再生側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

再生側
他のビデオ

Sビデオコード（付属）
S映像出力端子へ
S1入力端子へ

録画側
（本機）

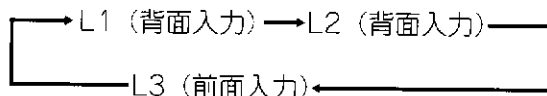
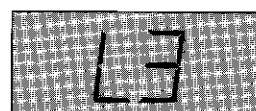
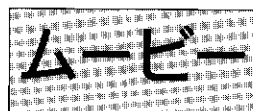
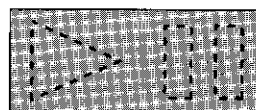
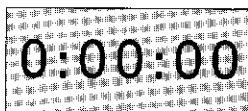
オーディオコード
（付属）
音声出力端子へ
音声入力端子へ

- 他のビデオ機器の映像をインサート編集する場合は、インサートする再生画像が安定してから行ってください。
- インサート編集中に無記録部分になっても、インサート編集は続行します。
- インサート編集とは、録画済みカセットにあとから映像とHi-Fi音声を挿入する手法です。そのため、インサート編集する部分に無記録部分があると、編集終了点がずれますのでご注意ください。
- 「つめ」のついていないカセットではインサート編集ができません。「つめ」の部分にセロハンテープを貼ってからご使用ください。
- インサート編集部分の途中で録画スピード（標準／3倍）が変わっている場合は、インサートする場面が乱れますのでご注意ください。

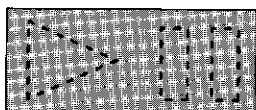
準備　本機につめのついたカセットを入れます。

テレビ画面　本体表示窓

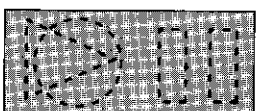
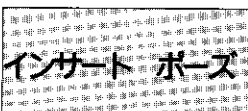
❶ **入力切換ボタンで、接続した端子を選ぶ**

・入力切換ボタンを押すごとに

→L1（背面入力）→L2（背面入力）→L3（前面入力）→

・BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

❷ **テープを再生し、インサートの終了点で一時停止ボタンを押す**

❸ **カウンターリセットボタンを押す**

❹ **ジョグダイヤル／シャトルリングでインサートの開始点を探し、手を離す**

・静止画再生状態になります。

❺ **インサートボタンを押す**

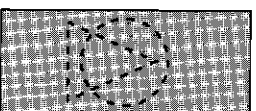
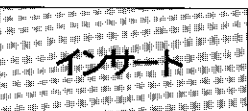
・インサートの一時停止になります。

❻ **インサートしたい映像、音声を準備し、再生する**

❼ **インサートしたい場面で、再生ボタンを押す**

・インサート編集が始まります。

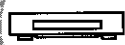
カウンターが 0.00.00. になると、自動的に編集を終了し、再生状態になります。

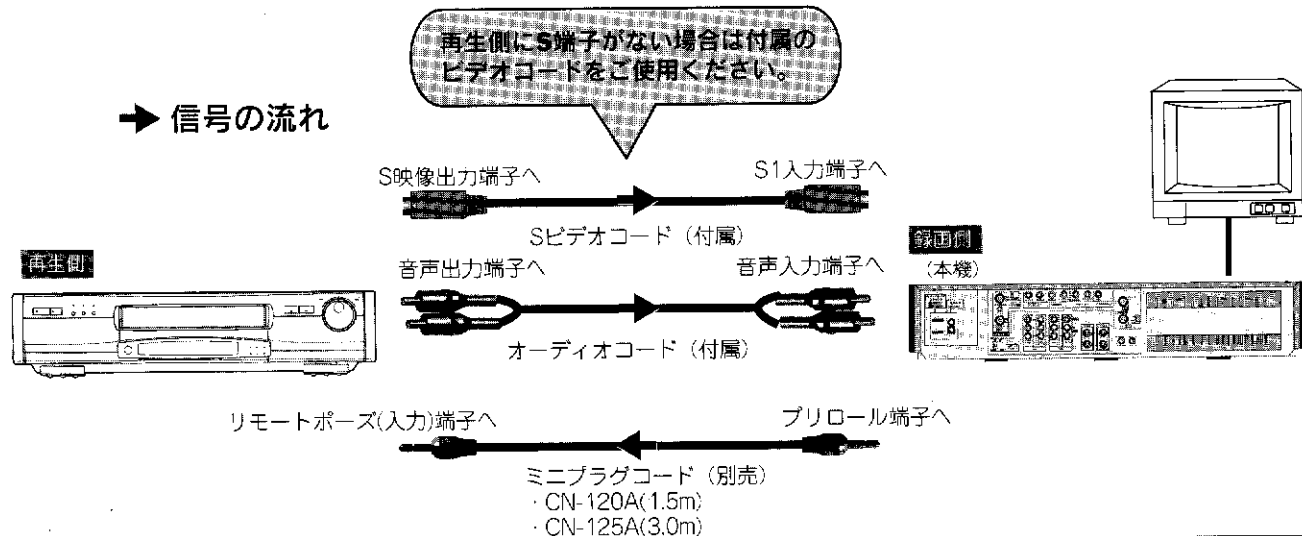
本機

本機

■途中でインサート編集をやめるときは

カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し再生状態になります。

■インサート編集時、ノーマル音声にHi-Fi音声と同じ音声を入れたいときは

❺のインサートボタンを押した後に、アフレコボタンを押します。
（本体表示窓は ▷ ▯▯ → ▷ ▯▯ 表示へと変わります。）

編集精度の高いインサート編集をする　プリロールインサート編集

プリロール編集（88ページ参照）を利用してインサート編集を行います。
再生側ビデオのみ、編集開始点で約5秒間のプリロール動作を行います。
本機は録画側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

再生側にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

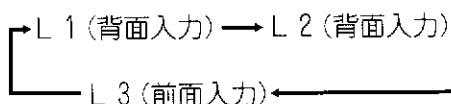
→ 信号の流れ

S映像出力端子へ
S1入力端子へ
Sビデオコード（付属）
再生側
録画側
（本機）
音声出力端子へ
音声入力端子へ
オーディオコード（付属）
リモートポーズ(入力)端子へ
プリロール端子へ
ミニプラグコード（別売）
・CN-120A(1.5m)
・CN-125A(3.0m)

準備　本機につめのついたカセットを入れます。

❶ 入力切換ボタンで、接続した端子を選ぶ

・入力切換ボタンを押すごとに

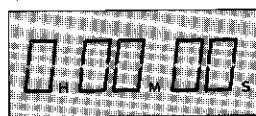
L 1（背面入力）→ L 2（背面入力）→ L 3（前面入力）→ L 1

・BSデコーダ接続時、L2 は表示しません。

❷ インサートの終了点を探す

テープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサートの終了点を探し、手を離す

・静止画再生状態になります。

❸ カウンターリセットボタンを押す

本体表示窓

❹ インサートの開始点を探す

ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサートの開始点を探し、手を離す

・静止画再生状態になります。

❺ インサートボタンを押す

・インサートの一時停止になります。

本体表示窓

❻ 編集開始点を探す

テープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

❼ 編集開始

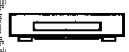
プリロール編集のスタートボタンを押す

再生側ビデオ：約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。

録画側ビデオ（本機）：編集開始点でインサート編集を始めます。

カウンターが 0.00.00 になると、自動的に編集を終了し、再生状態になります。

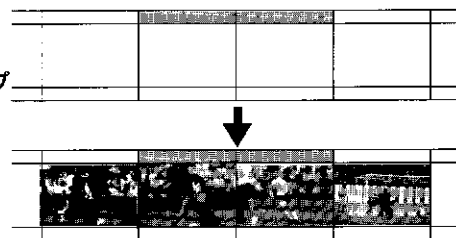
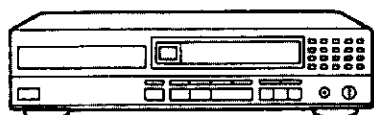
■途中でプリロールインサート編集をやめるときは

カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し再生状態になります。

アフレコ編集

録画済みテープに音声のみをあとから録音することをアフレコ（アフターレコーディング）編集といいます。**Hi-Fi**音声にはアフレコできませんので、**Hi-Fi**音声はアフレコ編集する前の音声が残ります。
本機は録画側として使用します。

➔ 信号の流れ

CDプレーヤー

または

他のビデオ

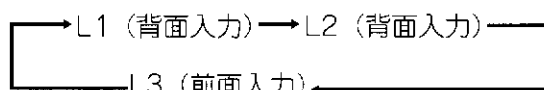
音声出力端子へ　音声入力端子へ

オーディオコード（付属）

録画側
（本機）

準備　本機につめのついたカセットを入れます。

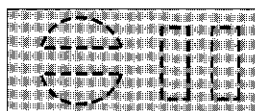
❶ 入力切換ボタンで、接続した端子を選ぶ
・入力切換ボタンを押すごとに
L1（背面入力）→L2（背面入力）→L3（前面入力）→L1…
・BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

❷ テープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでアフレコの開始点を探し、手を離す
・静止画再生状態になります。

❸ アフレコボタンを押す
・アフレコの一時停止になります。

本体表示窓

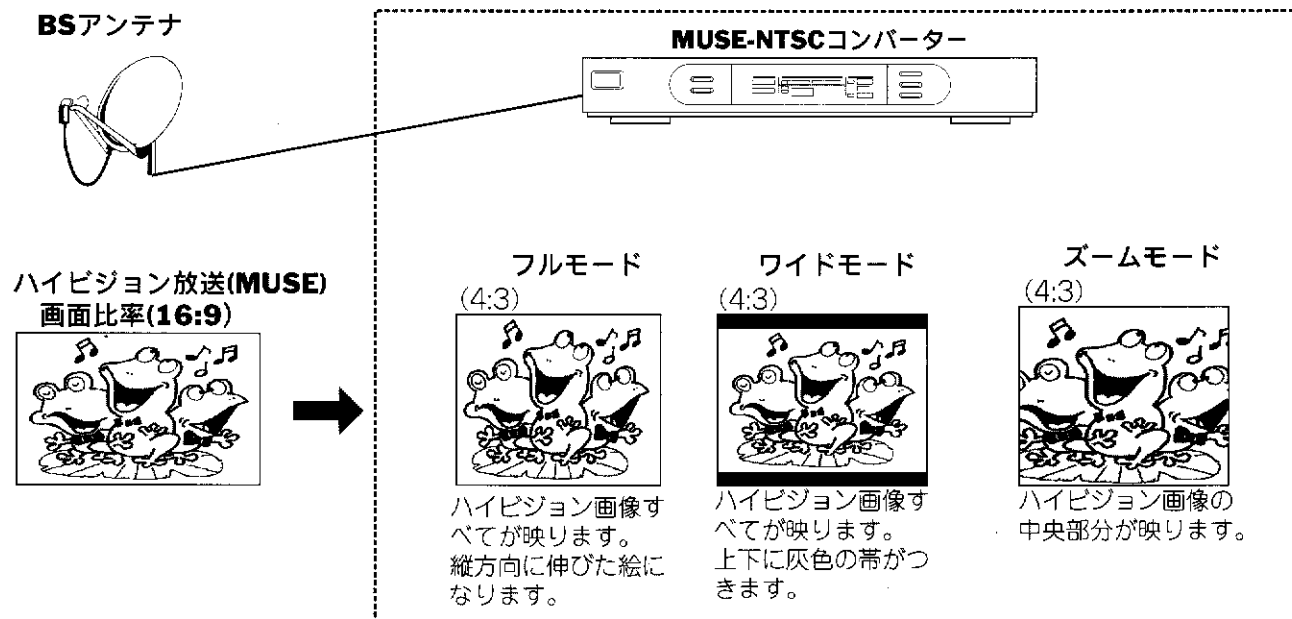
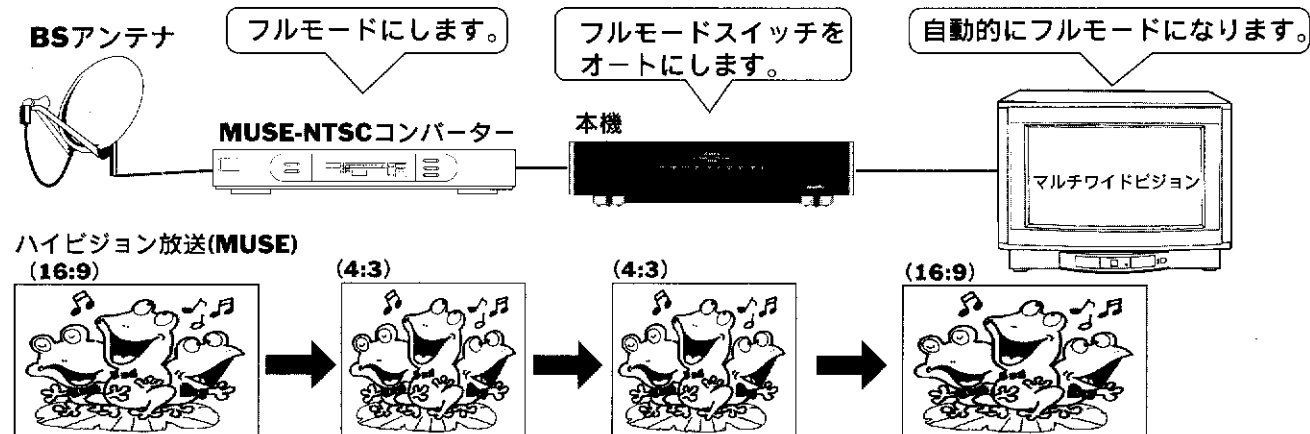
❹ アフレコしたい音声を準備する

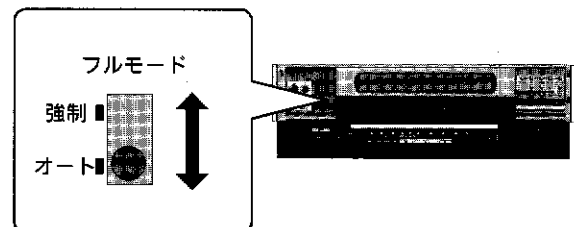
❺ アフレコしたいところで、再生ボタンを押す
・アフレコ編集が始まります。

❻ アフレコ編集をやめるときは、停止ボタンを押す

・編集終了点でカウンターを0.00.00.にすると、ページのインサート編集と同じようにカウンターが0.00.00.になると自動的にアフレコ編集を終了し、再生状態になります。
・アフレコ編集したテープを聞くときはページをご覧ください。

・「つめ」のついていないカセットでは、アフレコできません。「つめ」がない場合はセロハンテープを貼ってからご使用ください。
・アフレコ編集終了後はノーマル音声になっているので、本体の音声出力切換ボタンでHi-Fi音声に戻しておいてください。

ハイビジョン放送を横長画面で楽しむ

MUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン放送を受信すると、**MUSE-NTSC**コンバーター側で次の**3**つの画面に変換することができます。

マルチワイドビジョンテレビ（画面比率16:9）で見る場合（接続は 28 、29 ページをご覧ください）

現行方式（画面比率4:3）テレビで見る場合（接続は 28 、29 ページをご覧ください）

本機のフルモードスイッチの位置に関係なく、MUSE-NTSCコンバーター側で選んだ画面が映ります。

フルモードスイッチ
オート：通常は**オート**にします。
強　制：アナモフィックレンズを使ったビデオムービーから本機で録画したものをマルチワイドビジョンテレビで見るときは強制にします。（右ページ参照）

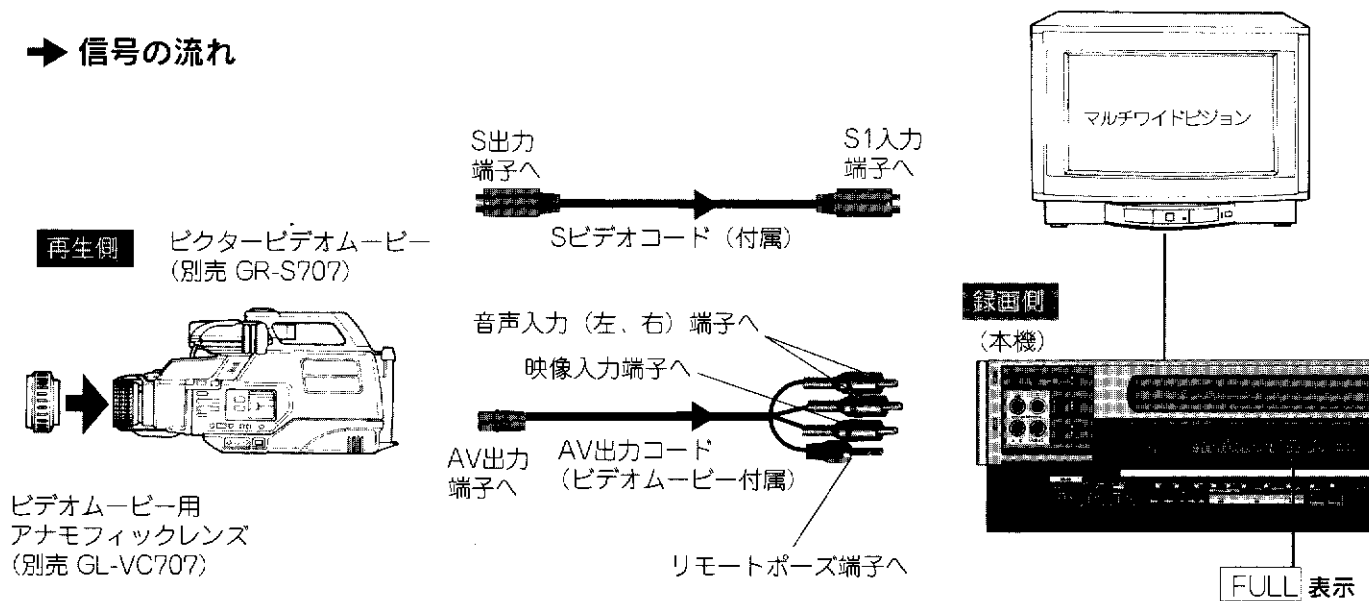
・S1入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると本体表示窓の FULL 表示が点灯します。
・接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
・MUSE-NTSCコンバーター、マルチワイドビジョンテレビとの接続は 29 ページをご覧ください。

アナモフィックレンズを使ったビデオムービーからの横長画面記録

本機では、ビクターのビデオムービー**GR-S707**にアナモフィックレンズ(**GL-VC707**)を取り付けて撮影した映像に横長信号を追加して記録します。マルチワイドビジョンと接続すると映画館と同じようにワイドな画面でお楽しみいただけます。

➡ 信号の流れ

再生側 ビクタービデオムービー (別売 GR-S707)

ビデオムービー用 アナモフィックレンズ (別売 GL-VC707)

❶ フルモードスイッチを強制にする

・FULL 表示が点灯します。

❷ 入力切換ボタンでムービーランプを点灯させる

・チャンネル表示部はL3になります。

❸ 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

❹ ダビングしたい場面で静止画再生にする

❺ ビデオムービーのエディットボタンを押す

・自動的に録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。

・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

■終了するときは、ビデオムービーの停止ボタンを押します。

・本機は録画一時停止になります。

■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

本機

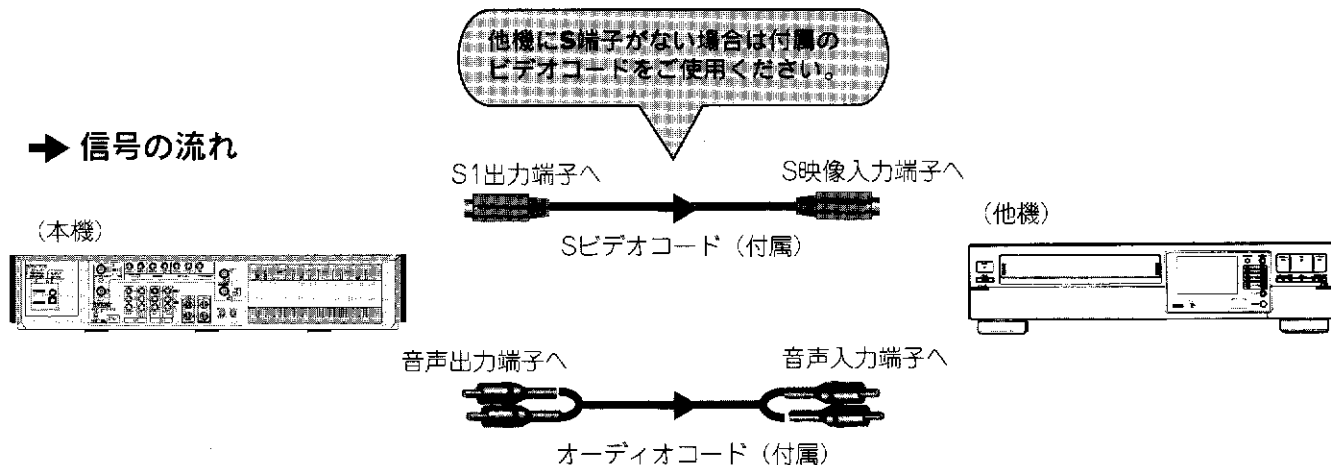
・横長信号の出力は本機のS1出力端子からのみ出力します。
・横長画面を楽しむには、各機器間の映像端子をSビデオコードで接続してください。
・上記の接続で録画中にBSオレンジボタンを押すと、ハイビジョン放送以外のBS番組の画像が横方向に伸びることがあります。

長時間のBS番組をタイマー録画する　BSリレーREC

BSチューナーを独立に使用し、長時間の**BS**番組を**2**台のビデオでリレー録画します。

他機にS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

➡ 信号の流れ

オーディオコード（付属）

❶ 本機のタイマー予約を設定する

・番組の終わりの時刻をタイマー終了時刻にします。

❷ 他機のタイマー予約を設定する

・本機のテープがなくなる時刻から番組終了時刻までを設定します。
・外部入力にします。

❸ 本機、他機ともタイマースタンバイにする

BSリレーRECのしくみ

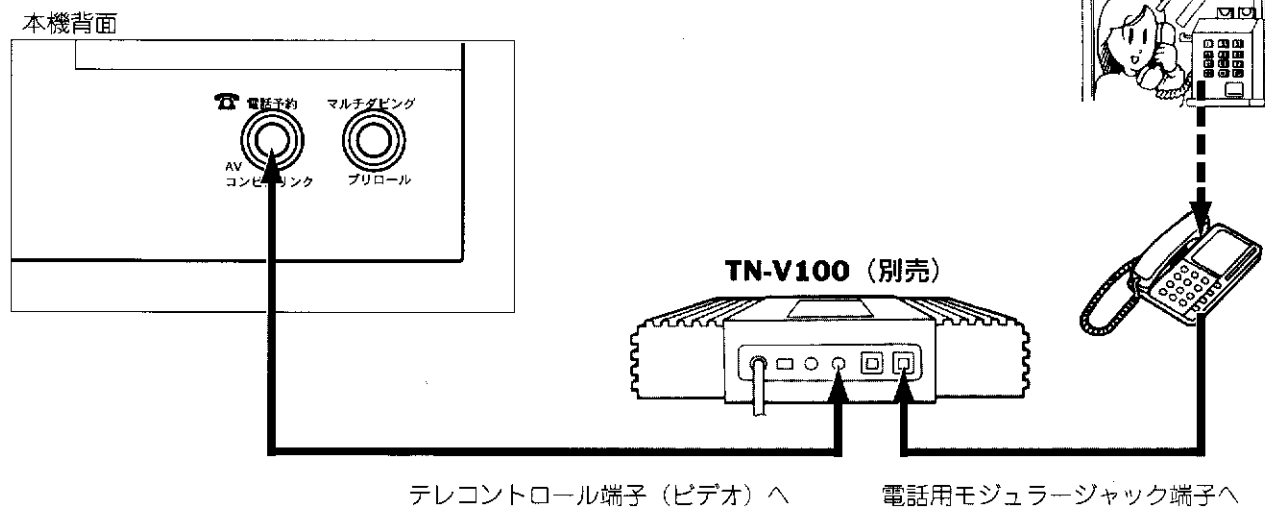
〈例〉120分テープを2本使用して衛星放送の番組を3倍モードで12時間録画する場合

チャンネル：BS 11
開始時刻：12:00
終了時刻：0:00

ご注意

・他機で録画中に本機を操作しないでください。
・他機のタイマー録画のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。
・本機のタイマー録画が終了すると、⏲表示とBSモニター表示が点滅し、カセットが出てきます。
・番組の終わり（終了時刻）になると、本機の⏲表示と[ōō]表示が点滅します。タイマーボタンを押すと点滅は解除します。

外出先から電話でタイマー予約

別売のAVテレホンコントローラーTN-V100と組み合わせて、電話で録画予約、録画スタート、予約取消し、テープの巻戻し、電源ON/OFF、停止、カセット有無の確認、在宅者コールが外出先からできます。

AVテレホンコントローラーを準備する

・TN-V100の「取扱説明書」をよく読んで初期設定を行ってください。

❷ ビデオ（本機）を準備する

❶ つめのついたカセットを入れます。
❷ 本体のリモコンコード切換スイッチを**Aコード**にします。（　ページ参照）
❸ 電源を切ります。

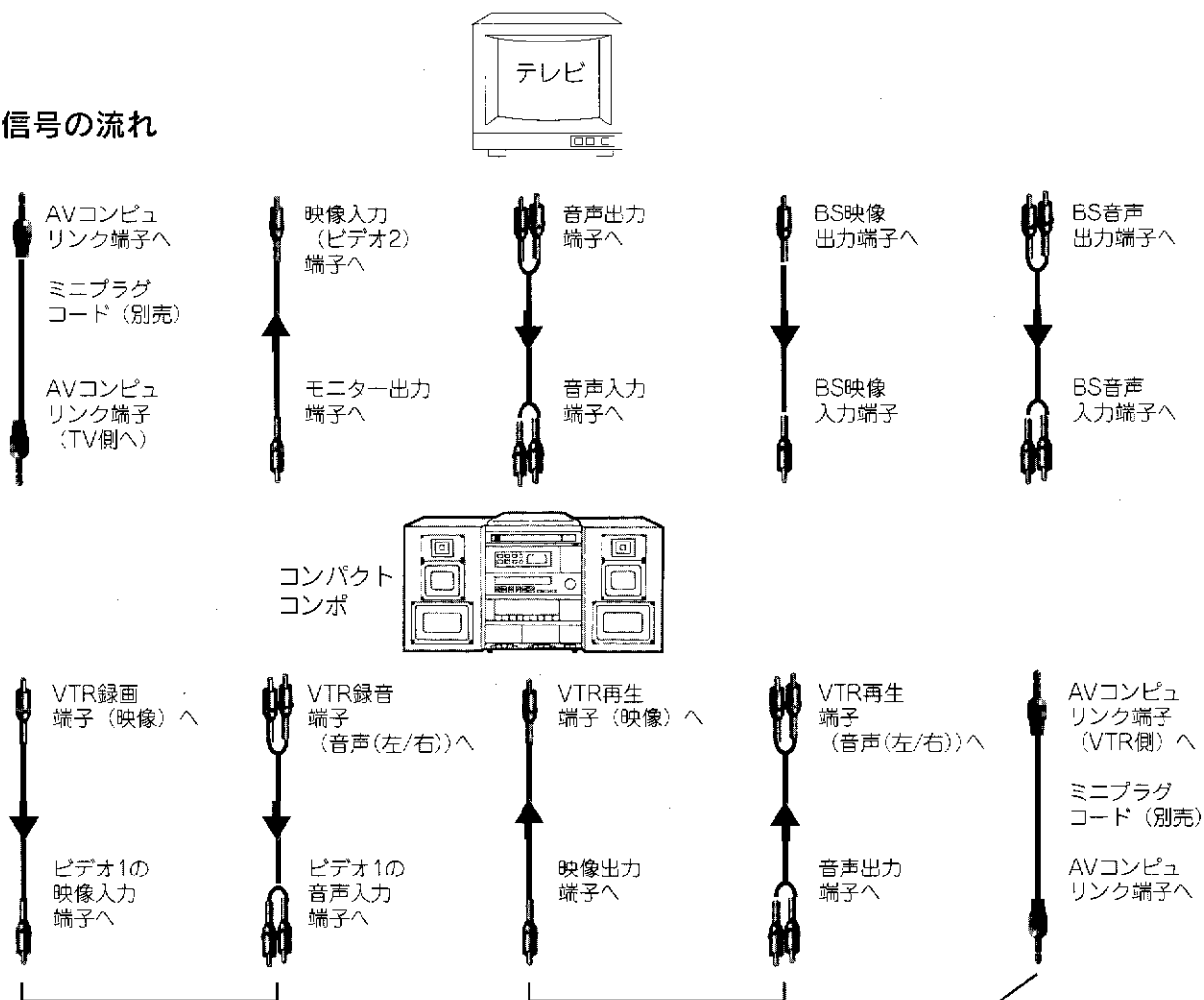
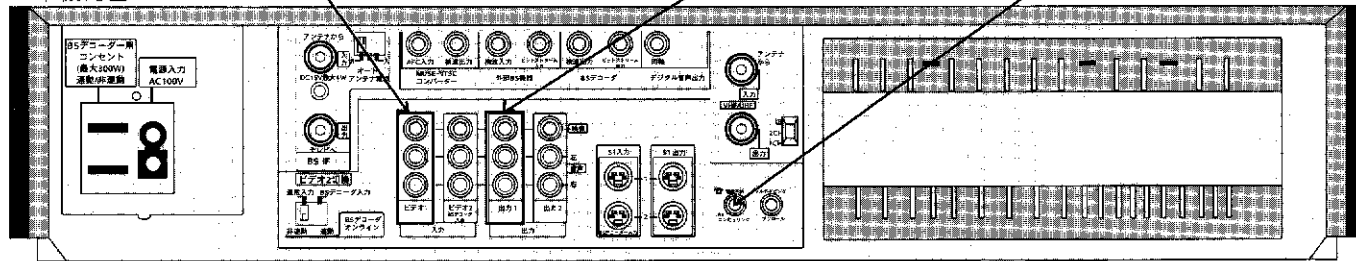
電話予約する

・TN-V100（別売）の「取扱説明書」をよくお読みください。
　また、同機はオーディオ機器の電話での操作もできます。

・詳しくは、AVテレホンコントローラーの取扱説明書をお読みください。
・BS番組の予約はできません。

テレビ、コンパクトコンポとの連携プレー　AVコンピュリンク

当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。
（例）ワンタッチ再生
録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと
コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
テレビ　　　　　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

➔ 信号の流れ

本機背面

・ミニプラグコードは下記の当社製品をご使用ください。
　・CN-120A（1.5m）
　・CN-125A（3.0m）
・詳しくは、コンパクトコンポの取扱説明書をお読みください。

保証とアフターサービス

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い
この商品には保証書を別途添付しています。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービスについて

保証期間経過後の修理
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間
当社はこのビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは
102～[illegible]ページをよくお読みの上、故障かどうかお調べください。

ビデオが異常なときは
ビデオから異常な音や煙が出るとき、また画像が映らなくなったときなどは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくために

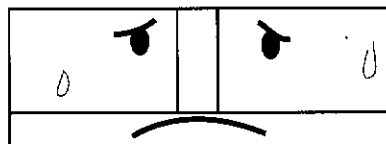
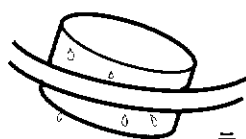
ビデオテープレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめします。

使用上のご注意

このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

つゆつきにご注意

「つゆつき」とは
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

「つゆつき」がおきると
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴がつくとテープが貼りついて、テープやビデオをいためてしまいます。

ヘッドドラム

テープ

こんなときは「つゆつき」にご注意
- 寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接あたるところ
- 湿気の多いところ

「つゆつき」をおこしそうなときは
あらかじめビデオの電源を入れておくと、「つゆつき」がおきにくくなります。

「つゆつき」がおきてしまったら
ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

故障の原因となりますので、こんなところでは使用しないでください。

湿気やほこりの多いところ	直射日光が当るところ ストーブの近くなど暑いところ	磁気の発生するところ 振動のあるところ
極端に寒いところ	湯気や油煙の当るところ	じゅうたんなどのやわらかいところ でこぼこしたところ

ビデオの上にものをのせない
ビデオの上にものをのせたり、近くに水の入った容器などを置かないでください。故障の原因になります。

雷にご注意
雷が近いときは早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対触れないようにしてください。感電の危険があります。

通風孔をふさがないで
ビデオにテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置かないでください。故障の原因となります。

キャビネットをあけないで
キャビネットは絶対にはずさないでください。
内部に手を触れると感電の危険があります。

ビデオに手やものを入れない
カセット挿入口や通風孔に手やものを入れないでください。万一異物が入ったときは、電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。けがをする場合があります。

長時間使用しないときは
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグは、停止状態にしてカセットを取り出してから抜いてください。

電源コードを大切に
電源プラグをコンセントから抜くとき、コードをひっぱらずにプラグを持って抜いてください。
電源コードの上に重いものなどを乗せないでください。

持ち運ぶときは
持ち運びや運送時に、衝撃を与えないでください。
カセットを取り出し、製品の入っていた段ボールで梱包してください。

アンテナについて
- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してたててください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検、交換することをおすすめします。
- アンテナ線には良好な画像を得るため、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

きれいな画面でご覧いただくために
（クリーニングカセットの使い方）

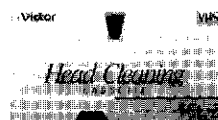
・本機にはオートクリーニング機構がついていますが、長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。

こんな症状になったら

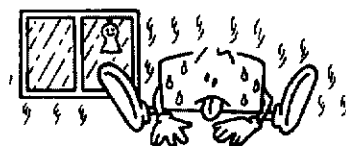
・テープを再生するとザラザラした画面になる
・映像が不鮮明または映らない（青い画面になることがあります）

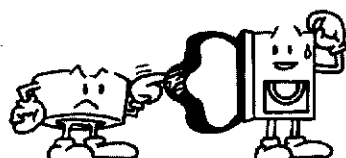
初期 ――――――→末期

こんなときには

乾式のクリーニングカセットTCL-2（別売）を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。
クリーニングカセットを約10秒間再生するだけです。

●ヘッド汚れの原因

ヘッドは次のようなことが原因で汚れます。

・高温、多湿
（梅雨時期など）

・空気中のほこり

・テープの傷、汚れ

・長時間の使用

●クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げしてください。ご使用の際は、その注意書きに従ってください。

シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
・キャビネットが痛んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。
ゴムやビニール製品などに長時間接触させないでください。

ビデオカセットについて

- ビデオカセットはS-VHS、VHSタイプをお使いください。
- 録画済テープに新しく録画するときは、前に録画されたものは自動的に消されます。
- カセットはうらがえしでは使えません。
- テープを走行させないで、カセットを何度も出し入れしないでください。
- テープ使用後は、始めまで巻き戻しておいてください。

カセットの保管は

- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところはさけてください。
- 直射日光が当るところやストーブの近くはさけてください。
- 磁気の発生するところはさけてください。
- 落としたり衝撃を与えないでください。
- むらのある巻き取り状態はテープをいためます。きれいに巻きなおしてください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	・電源が入らない	・電源コードがコンセントからはずれていませんか？ ・タイマー表示 ⊕ が点灯していませんか？	—
	・引っ越し先でも使えるか	・日本国内は大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。 海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	・カセットが入らない	・正しい向きで入れてください。	—
	・カセットが出ない	・録画中またはタイマー表示 ⊕ が点灯していませんか？	—
	・コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	・別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。	[illegible]
再生	・テレビに再生画が出ない	・本体表示窓に ビデオ が表示されていますか？ ・テレビはビデオチャンネルになっていますか？ 映像／音声入力端子付テレビ（AVテレビ）と接続しているときはテレビの入力切換を**ビデオ**にします。 アンテナコードだけの接続では**1**か**2**チャンネルにします。	26 [illegible]
	・画面の一部にノイズが出る	・本体表示窓に**AT**（トラッキングの自動調節）が表示されていますか？ ・AT表示中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行います。 ・長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚なくなることがあります。別売のクリーニングテープTCL-2で掃除してください。	73 101
	・**Hi-Fi**音声が出ない	・本体表示窓に Hi-Fi LR が表示されていますか？ 本体の音声出力切換ボタンで Hi-Fi LR を表示させてください。 ・Hi-Fiでないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。	75
	・日本語と外国語が同時に聞こえる	・Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	[illegible]
	・シャトルサーチ、静止画にノイズが出る	・再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。 故障ではありません。	—
	・カウンター表示が点滅する	・早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	—
放送受信	・希望の番組が映らない	・映したいチャンネルを記憶してください。本体で操作します。 ❶チャンネル合わせボタンを押す。 ❷合わせボタンで、復帰したいチャンネルに合わせる。 ❸記憶ボタンを押す。 ❹チャンネル合わせボタンで表示を戻す。	[illegible]
録画	・録画できない	・カセットの**つめ**が付いていますか？	[illegible]
	・希望の番組が録画できない	・ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ・ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか？	[illegible]
	・録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	・Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	75
	・日本語だけ録音したいのだが	・モード選択画面の二ヶ国語音声録音を**主**にします。	76
	・テレビ番組録画中に**BS**番組を見たい	・録画中にBSオレンジボタンを押します。チャンネルボタンで見たい番組を選びます。	61

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
タイマー録画	・Gコード予約ができない	・リモコンの時刻合わせと本体の時刻合わせ、ガイドチャンネル設定はしましたか？	36～43
	・タイマー録画ができない	・現在時刻は合っていますか？ ・カセットの**つめ**が付いていますか？ ・タイマー表示 ◴ は点灯していますか？ ・予約内容を確認してください。 ・停電があったときは正しく動作しません。	62～65
	・本体表示窓の ◴ が点滅する	・タイマー予約の設定にまちがいがあるので、予約内容を確認し、正しく設定をやり直してください。	66
	・本体表示窓の◴と ▭ が点滅する	・カセットが入っていません。**つめ**の付いたカセットを入れてください。	48
	・本体表示窓に0:00が点滅している	・停電がありました。もう一度時刻合わせをしてください。	44
	・タイマー録画が始まるまでの間、テープを見たい	・タイマーボタンを押して ◴ 表示を消してから操作します。操作終了後は、タイマーボタンを押して ◴ 表示を点灯させます。	—
	・タイマー録画中に停止するには	・タイマーボタンを押して ◴ 表示を消してから停止ボタンを押します。	—
	・リモコンからGコードを転送後、本体で終了時刻の変更ができない	・タイマー表示 ◴ が点灯していませんか？ ・タイマーボタンを押して ◴ 表示を消してから操作してください。	67
	・本体予約で、深夜0時をまたぐタイマー予約では （例）月曜日、午後11時から翌日（火曜日）午前1時まで予約する場合	・開始時刻の曜日（月曜日）にします。	64
	・タイマー予約設定中に予約表示が消えた	・予約設定中に約1分間放置すると表示内容は消えます。もう一度やり直してください。	—
	・タイマー録画中にカセットが出て、◴ と ▭ 表示が点滅している	・テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 ・タイマーボタンを押すと、◴と ▭ 表示は消えます。 ・タイマー録画するときは、トータル時間を確認し、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	66
	・予約が重なったら	・録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 20:00　21:00　22:00 予約1 → ドラマ 予約2 → 録画されない → ニュース番組 録画されるのは → ドラマ　ニュース番組 ・電話予約した録画を終了するまで、他のタイマー録画はしません。 20:00　21:00　22:00 予約1 → アニメ ← 録画されない 予約2（電話予約）→ 映画 録画されるのは → 映画	—

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
タイマー録画	・**夜10:00～翌朝4:59の時間で、タイマー録画中にテープ残量を確認したあと、本体表示窓が明るいままで、暗くすることができない**	・本体の残量ボタンを押して、カウンター表示などに戻してください。	[illegible] [illegible]
	・**電話予約を取り消すには**	❶ タイマーボタンを押して ⌚ 表示を消す。 ❷ 予約確認ボタンを押して、本体表示窓に電話予約を表示する。 ❸ 予約取消しボタンを押す。 ❹ カウンターボタンを押して、通常の表示に戻す。	[illegible]
リモコン	・**リモコンが働かない**	・本体とリモコンのコード**(A/B)**が合っていますか？ 本体のリモコンコード切換スイッチが**切**のときは、働きません。 ・電池が消耗していませんか？	[illegible]
	・**テレビが操作できない**	・電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビに合わせてください。	[illegible]
	・**本体への予約転送ができない**	・本体に近づけて転送してください。	—
衛星放送	・**BS番組が映らない**	・アンテナ電源スイッチが**切**になっていませんか？ 使用状況により、**オート**または**入**にします。 （共同受信している場合は、他から電源が供給されているので**切**のままです。） ・**BS**デコーダを接続していますか？ ・スクランブル放送を受信していませんか？	[illegible] [illegible]
	・**BSオレンジボタンが働かない**	・**VISS**スキャン中または**L2**（外部入力）チャンネルを録画中はチャンネルを変えられません。	70
	・**BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される**	・不要な**BS**チャンネルを飛ばしてください。	32
	・**BSデコーダを接続しているのにスクランブルが解除されない**	・本体背面のビデオ**2**切換スイッチが**BSデコーダ入力**になっていますか？ ・**BS**デコーダの電源は入っていますか？	31 32
	・**Aモード音声放送受信中にテレビ音声が出ない**	・**BS**音声スイッチが**テレビ**になっていますか？ ・スクランブル放送中は、**BS**デコーダの音声選択を**テレビ**にしてください。	[illegible]
編集	・**ダビングできない**	・前面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルを**L3**にします。 ・背面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルを**L1**（または**L2**）にします。	[illegible] [illegible]
	・**ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される**	・モード選択画面のオンスクリーンを**切**にしてください。	[illegible]

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

仕様

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- ●電源……………………………AC100V　50/60Hz
- ●消費電力………………………34W（BSアンテナ電源使用時39W／電源「切」時　6W）
- ●電源出力………………………AC100V　50/60Hz　連動/非連動
BSデコーダ用電源コンセント
最大300W以下
- ●外形寸法………………………466（幅）×112（高さ）×402（奥行き）mm
- ●重量……………………………8.7kg
- ●許容動作温度…………………+5℃～+40℃
- ●許容相対湿度…………………35%～80%
- ●許容保存温度…………………-20℃～+60℃

ビデオ（映像）

- ●録画・再生方式………………S-VHS方式
回転2ヘッドヘリカルスキャン
輝度信号　FM方式
色信号　低域変換直接記録方式
- ●映像信号………………………NTSC日米標準信号

Hi-Fiオーディオ（音声）

- ●録音方式………………………VHSステレオハイファイ方式
- ●周波数特性……………………20Hz～20kHz
- ●ダイナミックレンジ…………90dB以上
- ●ワウ・フラッター……………0.005%以下
- ●チャンネルセパレーション…60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

- ●録音方式………………………リニアトラック
- ●音声トラック…………………1チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

■VHF/UHFチューナー部
- ●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
- ●音声多重受信方式……………インターキャリア方式
- ●受信チャンネル………………VHF　1～12チャンネル
UHF　13～62チャンネル

■BSチューナー部
- ●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
- ●受信チャンネル………………BS1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル

■CATVチューナー部
- ●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
- ●受信チャンネル………………C13（63）～C41（91）チャンネル
- ●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63
C14	64
C15	65
C16	66
C17	67
C18	68
C19	69
C20	70
C21	71
C22	72
C23	73
C24	74
C25	75
C26	76
C27	77

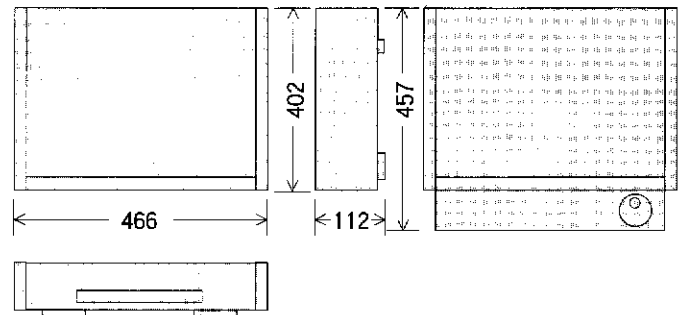
送信チャンネル	チャンネル表示
C28	78
C29	79
C30	80
C31	81
C32	82
C33	83
C34	84
C35	85
C36	86
C37	87
C38	88
C39	89
C40	90
C41	91

- ●ビデオチャンネル……………1または2チャンネル（切モード付き）

タイマー（タイマー予約・時計）

- ●タイマー予約…………………2週間8番組予約
- ●時計……………………………24時間方式
- ●停電補償時間…………………約30分

接続端子

- ●アンテナ………………………75Ω　F型コネクター
VHF/UHF一軸
- ●BSアンテナ……………………75Ω　F型コネクター
アンテナ電源出力　DC15V　最大4W
- ●BS-IF出力………………………75Ω　F型コネクター
- ●S映像……………………………入力　Y:0.8～1.2Vp-p　75Ω
C:0.2～0.4Vp-p　75Ω
出力　Y:1.0Vp-p　75Ω
C:0.29Vp-p　75Ω
- ●映像……………………………入力　0.5～2.0Vp-p　75Ω（ピンジャック）
出力　1.0Vp-p　75Ω（ピンジャック）
- ●音声……………………………入力　-8dBs　50kΩ（ピンジャック）
モノ（左）対応
出力　-8dBs　1kΩ（ピンジャック）
- ●検波入/出力……………………0.67Vp-p　75Ω（ピンジャック）
- ●ビットストリーム入/出力……0.5Vp-p　75Ω（ピンジャック）
- ●デジタル音声出力（同軸）…0.5Vp-p　75Ω（ピンジャック）
- ●AFC入力…………………………0.5Vp-p　75Ω（ピンジャック）
- ●リモートポーズ………………ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
- ●電話予約………………………3.5φ　AVコンピュリンク兼用
- ●マルチダビング/プリロール…3.5φ
- ●ヘッドホン……………………3.5φ　8Ω～1kΩ

用語解説 [　　]内の数字が参照ページです。

ア

■オンスクリーン [illegible]～[illegible]

録画・再生などの動作状態や、時計・カウンターなどをテレビ画面に表示します。
また、タイマー予約の確認や、時刻合わせ、チャンネル合わせなどの設定も、テレビ画面を見ながら操作できます。

■オートトラッキング [illegible]

再生時に出るノイズを、自動的に消します。自動調整でノイズが出るときは、手動で調節してください。

カ

■ガイドチャンネル [illegible] [illegible]

Gコードでタイマー録画するために、地域ごとの各放送局に割り当てられた番号です。
Gコードを使ってタイマー録画するためには、ガイドチャンネルの設定が必要です。
[illegible] ページのガイドチャンネル一覧表をご覧ください。

■外部入力 [illegible] [illegible]

本機を録画側にしてダビングする場合、接続した端子に合わせて、入力切換ボタンを押してランプを点灯させます。外部入力表示が、本体表示窓、テレビ画面上で、下表のように異なります。

	表示内容		
本体表示窓	L1	L2	L3
テレビ画面	ビデオ1	ビデオ2	ムービー
予約確認リスト画面	入力1	入力2	入力3

サ

■スクランブル放送 [illegible] [illegible]

テレビの映像、音声などの信号を暗号化（スクランブル）して送信する放送です。この放送を受信するためには、放送局と受信契約を結び、BSデコーダが必要です。

タ

■トータル時間 [illegible]

タイマー予約した録画時間の合計を表示します。

■トラッキング調節 [illegible]

再生画面にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞっていないためです。正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。

ハ

■ハイビジョン放送 [illegible]

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本（現行525本）、縦横比9:16（現行3:4）で、約5倍の情報量の精密な画像を放送します。すでに、衛星放送で試験放送が始まっています。

■ぴったりクロック [illegible]

自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。

■ビデオチャンネル 20

映像・音声入力端子がないテレビをご使用のかたは、テレビを1または2チャンネルのうち、放送のないチャンネルをビデオチャンネルとして選びます。
ビデオ背面のビデオチャンネルスイッチも、ビデオチャンネルに合わせて切り換えます。

マ

■マスターエディットコントロール [illegible]

本機を録画側にしてビクタービデオムービーからダビングするとき、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。

ワ

■ワンタッチタイマー録画 [illegible]

録画中に録画時間を設定し、録画が終了すると自動的に電源が切れる機能です。

アルファベット

■AVテレビ [illegible]

アンテナ入力端子の他に、映像・音声入力端子のあるテレビをいいます。

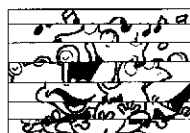
■BSデコーダ [illegible]

テレビの映像、音声などの信号を暗号化したものを解読し、正常な信号に戻す装置です。

原画像

スクランブル画像

復元画像

■BSモニター [illegible] [illegible]

本機をBSチューナーとして使用するときや、テレビ番組録画中にBS番組を見るときに、BSオレンジボタンを押すと衛星放送を受信できます。このとき、本体表示窓にBSモニターを表示します。

■CATV [illegible] [illegible]

地域で独自に放送されている有線テレビ放送です。CATVをご覧になるときは、CATV会社と受信契約が必要です。
本機は、C13(63)～C41(91)の29のCATVチャンネルが受信できます。

■Gコード [illegible]

ジェムスターコードの略です。
番組予約を簡単にするために、各番組につけた番組予約番号です。8桁までの番号で、新聞・雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

■MUSE-NTSCコンバーター [illegible]

ハイビジョン放送を現行テレビ（NTSC方式）で見られるように変換する装置です。

■VISSスキャン [illegible]

録画やタイマー録画の開始点に記録された頭出し信号を利用して、テープの頭出しをする機能です。

お買い上げいただきありがとうございます。

後日のために記入しておいてください。

型番	HR-X3	お買い上げの販売店
		電話（　　）　―
お買い上げ日	年　月　日	お近くのビクターサービス窓口
		電話（　　）　―

アフターサービスのお問合せ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。

お客様ご相談センター

東京…☎ (03) 5684−9311（代表）
〒113 東京都文京区本郷3丁目14−7 ビクター本郷ビル

大阪…☎ (06) 765−4161（代表）
〒543 大阪市天王寺区小松町10−16 大阪ビクタービル

私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

＊Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

ビデオ事業部
〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話 (045) 453−1111（代表）

JUN93 PU30424-401-3(VP)